

議案第79号 指定管理者の指定について説明資料

施設の名称 国分寺市立第二西町学童保育所  
国分寺市立第三西町学童保育所

1	指定管理者候補者選定委員会評価集計表・・・・・・・・・・	1
2	募集要項・・・・・・・・・・	2
3	事業計画書及び企画提案書・・・・・・・・・・	8
4	収支計算書・・・・・・・・・・	85
5	人員配置計画書・・・・・・・・・・	93

## 指定管理者候補者選定委員会評価集計表

件名 国分寺市立第二・第三西町学童保育所指定管理者候補者の選定（公募）

申請団体	1次総合得点	2次総合得点	1次+2次 総計	順位
株式会社こどもの森	144.6	23.0	167.6	1
A者	139.4	22.6	162.0	2
B者	138.2	21.8	160.0	3
C者	124.8			
D者	122.4			

\* 総合得点とは、まず各選定委員の得点を全て合算し、そこから各選定委員の得点のうち、最高得点及び最低得点を減じた値を、出席委員数から2を減じた数で除したものである。

\* 最高設定数値とは、5点（評価点の最高値）×係数合計である。

1次審査で決定した係数の合計	37
1次審査での最高設定数値	185
1次審査における70%以上の総合得点	129.5

\* 2次審査は、1次審査において7割以上の評価を得た応募者のみ実施。

**国分寺市立第二・第三西町学童保育所  
指定管理者募集要項**

**令和7年11月  
国分寺市**

## 国分寺市立第二・第三西町学童保育所指定管理者募集要項

国分寺市では、経費削減等を図るとともに、住民サービスの向上を図ることを目的として、国分寺市立第二・第三西町学童保育所を令和8年12月から開所することとし、その管理に指定管理者制度を導入することといたしました。指定管理業務を希望される法人その他の団体（以下「団体」という。）を下記のとおり募集しますので、本要項に基づき申請してください。なお、申請に当たっては、必ず、「指定管理者制度の運用指針」（市ホームページに掲載）をよくお読みください。

### 1. 対象施設の名称、所在地、設置目的、規模等その他施設に係わる概要

#### (1) 施設の名称、所在地

施設の名称：国分寺市立第二・第三西町学童保育所

施設の所在地：国分寺市西町五丁目6番16

#### (2) 国分寺市立第二・第三西町学童保育所の設置目的

学童保育所は、児童福祉法第21条の10の規定に基づき、保護者が労働等により監護できない児童に対し、健全な育成を図るための施設です。国分寺市立学童保育所条例（平成10年条例第34号。以下「学童保育所条例」という。）の規定により、設置されています。

#### (3) 規模等その他施設に関わる概要

別紙国分寺市立第二・第三西町学童保育所指定管理業務仕様書（以下「仕様書」という。）を参照。

#### (4) 指定管理費

指定期間中に市が負担する額の上限額は、下記のとおりとします。応募の際は、この上限額以内で収支計算書における指定管理費を設定してください。

令和8年度から3年分総額の上限額	117,550,000円（消費税及び地方消費税は非課税）
------------------	------------------------------

※指定管理費は仕様書を参照の上、積算してください。

### 2. 指定管理者が管理する業務の範囲

指定管理者は、本施設の運営及び維持管理に係る次の業務を実施します。具体的な内容は仕様書を参照してください。

#### (1) 業務の範囲

- ① 学童保育所条例第3条に規定する児童の健全な育成を図る事業の実施に関する業務に關すること。
- ② 本施設の使用に伴う使用者へのサービスの提供に關すること。
- ③ 本施設、設備及び物品等の維持管理及び安全に關すること。
- ④ 本施設の簡易修繕に關する業務に關すること。
- ⑤ 本施設の管理運営に關して、市長が必要と認めること。

#### (2) 業務に係る条件

学童保育所の開所日・保育時間

【開所日】 月曜日から土曜日まで（国民の祝日、12月29日から翌年1月3日までを除く）

【保育時間】

〔月曜日から金曜日まで〕 小学校の児童の下校時から午後7時まで

〔土曜日、学校休業日〕 午前8時から午後7時まで

※ただし、市又は指定管理者が必要と認めるときは、市と指定管理者の協議により変更することができる。

### 3. 自主事業の提案

- (1) 「自主事業」とは、施設の設置目的に沿って指定管理者が独自に企画し、行う事業です。市民サービスの向上に効果的で、かつ効率的な「自主事業」の提案をしていただきます。なお、事業にかかる経費については、原則として指定管理者の自己財源（講座等の参加者負担金などを含む。）で賄うものとします。
- (2) 自主事業の提案は、提出書類の事業計画及び企画提案書により提案してください。また、自主事業収支計算書（書式任意）を提出してください。
- (3) 提案された自主事業等の内容や実施については、基本的には全て実施することを前提として提案していただきますが、指定期間開始前の市と協議において行わない、又は内容の一部修正する等で決定します。

### 4. 利用料金制に関する事項



本施設では、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第8項の「利用料金制」は採用しません。

## 5. 指定期間

令和8年12月1日から令和11年3月31日までの2年4箇月間とします。

## 6. 応募資格

- (1) 当施設の管理運営を、安全かつ円滑に行える団体。
- (2) 団体又は代表者が、次の事項に該当しないこと。
  - ① 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4（一般競争入札の参加者の資格）の規定に該当するもの。
  - ② 申請期間において、国分寺市から指名停止措置を受けているもの。
  - ③ 法人の場合は、最新の営業年度の法人税、消費税及び地方消費税、法人事業税、法人住民税を滞納しているもの。法人以外の団体の場合は、代表者の最新の所得税、個人住民税、個人事業税、消費税及び地方消費税を滞納しているもの。（申請者の所在地が東京都特別区にある場合は、法人市民税は法人都民税、市民税は特別区民税となります。）
  - ④ 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等により更生又は再生手続を開始している法人。
  - ⑤ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条に掲げる暴力団又は国分寺市暴力団排除条例（平成24年条例第21号）第2条に掲げる暴力団員等及びそれらの利益となる活動を行う団体。
  - ⑥ 国分寺市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成17年条例第31号）第3条第2項から第4項までに規定するもの。
- (3) 当施設に、別紙仕様書の範囲で、資格を有する人員を配置できること。
- (4) 当施設に、防火管理者の資格を有する人員が配置できること。又は令和8年12月1日までに配置が可能な団体であること。

## 7. 申請手続

- (1) 募集要項の配布
  - ① 配布日時：令和7年11月15日（土）から令和7年11月28日（金）まで  
午前8時30分から正午、午後1時から午後5時まで  
※ただし、土・日曜日・祝日を除く。
  - ② 配布場所：国分寺市役所2階子ども子育て支援課  
※国分寺市ホームページからもダウンロードできます
- (2) 提出書類  
「別紙 提出書類一覧表」を参照
- (3) 現場説明会
  - ① 日 時：令和7年12月4日（木）午後2時から
  - ② 場 所：国分寺市役所2階201会議室（国分寺市泉町2-2-18）
  - ③ 注意事項：1団体2名まで。原則参加いただくことを前提とします。  
参加できない場合は、11月26日（水）までに電話、FAX又はEメールで担当課までご連絡ください。
- (4) 質疑及び回答  
質問は、下記受付期間内に文書により行うこととします。持参、郵送、FAX、Eメールいずれの方法でも受け付けます。回答は、質問をした団体に、FAX又はEメールで送付します。また、寄せられた質問をとりまとめ、国分寺市ホームページに随時回答を掲載します。  
質問受付期間 令和7年11月15日（土）から令和7年12月4日（木）まで
- (5) 申請書等の提出
  - ① 提出期間：令和7年12月12日（金）から令和7年12月26日（金）まで  
午前8時30分から正午、午後1時から午後5時まで  
※ただし、土・日曜日を除く
  - ② 提出先：国分寺市役所2階子ども子育て支援課  
必要書類を整えて、上記窓口まで持参してください。郵送等の提出や提出期限を過ぎた場合は受け付けません。（提出いただいた書類については、返却いたしませんのであらかじめご了承ください。）  
また、市が必要と認める場合は、市が追加の資料提出を求める場合もございます。

原則として、一度提出し受け付けたものの訂正や差替え等はできませんので、注意の上、作成処理をお願いします。

※申請に要する経費は、申請者の負担とします。

(6) 申請書類・審査に関する情報公開等

提出された書類等は、指定管理者制度の運用指針に記載のとおり、国分寺市情報公開条例（平成11年条例第33号）の規定に基づく情報公開対象文書、市ホームページ及びオープンナーにおける公表文書並びに市議会の委員会審査における提出資料となります。

## 8. 指定管理者候補者の選定等

(1) 資格審査

次に該当する申請は、資格がないものとします。

- ① 資格要件を欠くもの、又は提出書類に不備があるもの。
- ② 提出書類に虚偽の記載があったもの。
- ③ その他選定に係る不正行為があったもの。

(2) 選定委員会による審議

市が設置する指定管理者候補者選定委員会で下記の事項について評価基準に基づき評価を行います。選定の際の評価の基準としては、次のとおりとします。

- ① 団体の理念・姿勢
- ② 団体の安定性
- ③ 団体の継続性
- ④ 団体運営の透明性・公平性
- ⑤ 団体運営における法令等の遵守状況
- ⑥ 運営実績
- ◎⑦ 効率・効果的運営への取組状況
- ◎⑧ 受託への熱意・意欲
- ⑨ 事業運営の独創性
- ◎⑩ 施設管理の安全性への配慮
- ◎⑪ 利用者への対応状況（接遇・苦情対応）
- ⑫ 社員等の育成状況
- ⑬ 個人情報保護対策状況
- ⑭ 自主事業などの提案
- ⑮ 障害者の雇用状況
- ⑯ 高齢者の雇用状況
- ⑰ 管理運営に必要な提案金額
- ⑱ 環境への配慮
- ⑲ 地域雇用の状況（現状及びこれからの計画）
- ⑳ 災害時の対応
- ◎㉑ 学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について
- ◎㉒ 配慮を要する児童への対応について

(3) プレゼンテーション

2次審査として、プレゼンテーションを実施します。プレゼンテーションは、書類審査による1次審査で7割以上の評価を得た応募者を対象に非公開で実施します。

なお、プレゼンテーションにおいては、(2)の①～㉒の事項のうち「◎」の表示がある事項についてプレゼンテーションを行っていただきます。

(4) 選定結果の通知

選定結果は、申請者に書面で通知します。審査内容、選定理由についての問合せには、お答えできません。

## 9. 選定後の手続等

(1) 仮協定書の締結

指定管理者の候補者を決定後、速やかに仮の協定書を締結します。

(2) 市議会の議決

指定管理者の候補者を選定後、指定に係る議案を市議会に提出し、市議会の議決を得ます。ただし、議決を得るまでの間に、指定管理者の候補者を指定管理者に指定することが著しく不適当と認められる事情が生じたときには、指定管理者の候補者の選定を取り消すことがあります。

なお、議決を得ることができなかった場合において指定管理者の候補者が支出した費用等については、補償しないことをご了承ください。

- (3) 本協定の締結  
指定管理者の指定及び本協定締結は、議会の議決後に行います。
- (4) 指定管理業務の準備  
指定管理者は、指定期間の初日に円滑に業務を開始するため、指定期間の初日以前に必要な準備を開始していただきます。

## 10. 仮協定書、本協定書で締結する事項

- (1) 市の条例・方針等の遵守に関する事項
- (2) 指定期間に関する事項
- (3) 事業及び管理業務の実施内容に関する事項
- (4) 施設の安全対策に関する事項
- (5) 災害等の緊急時の対応に関する事項
- (6) 苦情対応に関する事項
- (7) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (8) 業務実施状況等の確認に関する事項
- (9) モニタリング・評価に関する事項（利用者アンケート調査実施及び事業実施状況自己評価）
- (10) 指定管理者に支払うべき管理費用に関する事項
- (11) 事故等に係る損害賠償請求に関する事項
  - ・ 指定管理者と利用者との間に生じた損害賠償に関する事項
  - ・ 指定管理者と市との間に生じた損害賠償に関する事項
  - ・ 期間の途中で相手から解約の申し出があった場合の損害賠償に関する事項
- (12) 指定の取消しや指定期間満了により指定管理者が変更になる場合に従来の指定管理者に対して、新指定管理者に管理運営に必要な事項等について引継ぎを行う義務を課すための事項
- (13) 原状回復に関する事項
- (14) 指定の取消し及び管理業務の停止に関する事項
- (15) 権利・義務の譲渡の禁止等に関する事項
- (16) 個人情報の保護に関する事項
- (17) 情報公開に関する事項
- (18) 文書の管理・保存の徹底に関する事項
- (19) 監査委員による監査に関する事項
- (20) その他特に必要な事項（具体化したサービス水準等）

## 11. 指定管理者に係る基本事項

- (1) 関係法令の遵守  
指定管理業務の実施に当たっては、地方自治法、児童福祉法等関係法令、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、学童保育所条例、国分寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例（平成26年条例第26号）、国分寺市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例、国分寺市情報公開条例、国分寺市オンブズパーソン条例（平成14年条例第50号）、国分寺市暴力団排除条例その他関係法令を遵守するとともに、公平性の保持、安全確保に努めていただきます。
- (2) 管理人員 仕様書を参照
- (3) 指定管理に係る経費  
業務を実施するために必要な経費額をもとに、指定管理費、支払時期、支払方法等を協定により定めます。
- (4) 業務の委託  
包括的な業務の第三者への委託については認められません。個別の業務（清掃、保守点検業務等）の委託については、事前に本市との協議が必要です。
- (5) 障害者差別解消法等に基づく対応  
指定管理者制度導入施設は、市が設置した公の施設であることから、指定管理者においても、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成25年法律第65号）及び「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」（平成30年条例第86号）に基づき、不当な差別的扱いの禁止と合理的配慮の提供について、適切に対応する必要があります。
- (6) 責任者氏名の公開

指定管理者の指定後、施設管理者等の責任者氏名は公開となります。

(7) その他

指定管理者が行う施設の管理の適正を期するために、本市が行う指示に従わないとき、その他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、地方自治法第244条の2第11項に基づき、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じることがあります。

**12. その他特に必要な事項**

(1) 事前準備等

指定管理者となる団体は、令和8年11月30日までの間に、必要な準備業務を行ってください。準備業務には、市職との協議及び指定管理者の職員の教育・訓練を含みます。準備業務に係る経費は、指定管理者の負担となります。

(2) 地域雇用の推進

新たに人員を雇用する際は、市内在住者の雇用を促進してください。

(3) 接触の禁止

本件業務に関係する本市職員との接触により、申込み及び選定についての情報を不正に入手する等の事実が認められた場合、失格や指定の取消しとなります。

(4) 学童クラブ費に関する事項

学童クラブ費の徴収事務は、学童保育所条例に基づき市が行います。指定管理者は必要に応じ市と保護者間の書類等の引き継ぎを行うなど、連絡調整に努めていただきます。

**13. 担当課**

〒185-8501

東京都国分寺市泉町二丁目2番18号

国分寺市 子ども家庭部 子ども子育て支援課 電話 042-312-8650、042-312-8651

FAX 042-312-8714 Eメール [koshien@city.kokubunji.tokyo.jp](mailto:koshien@city.kokubunji.tokyo.jp)

# 2

## 事業計画及び企画提案書

# 国分寺市第二・第三西町学童保育所指定管理に関する 事業計画及び企画提案書

令和7年12月26日

団体名称 株式会社こどもの森

## (1) 団体等の基本理念・姿勢について

\*施設の設置目的に対する理解や公共性・平等利用についての考え方

### ■法人理念

当法人は国分寺市に本社を構える地元法人として、30年以上児童福祉専一で事業を展開してまいりました。国分寺市民である法人代表の生まれ育った国分寺の子育て支援拠点として、これからも継続して運営に携わっていきたいと考えております。

法人の理念と貴市の第二次国分寺市総合ビジョンに下記の通り共通する部分があり、今回応募させていただきました。

#### 法人理念

- ◆子どもの最善の利益を考慮する
- ◆利用者・子ども・保護者・地域の方々及び住民に対して福祉の増進を図る
- ◆多様性を認め合うインクルージョンの実現を目指す

共通

#### 国分寺市総合ビジョン

- ◆子どもを育み 学びがつながるまち  
子育て・子育てを通じて大人も一緒に成長していくことができるまちを目指します。
- ◆分らしく いきいき暮らせるまち  
みんなが自分らしくいきいきと暮らせるまちを目指します。
- ◆安全・安心で 快適なまち  
すべての人が安全・安心で快適に生活できるまちを目指します。

共通

共通

### 基本方針

1. 業務委託者として貴市の方針や公的機関との連携を重視し運営を行います。
2. 利用者からのご要望・ご意見を参考に、利用者の視点に立った運営を行います。
3. これまでの施設運営と当法人のノウハウを活かした運営を行い、より児童・保護者・地域の方に愛される施設運営を行います。

認証された福祉評価専門機関による第三者評価

#### 第三者評価機関の総評





## ■学童保育所の設置目的と役割への理解

学童保育所は、子どもたちの放課後の安全管理・健康管理や情緒の安定を担いながら、遊びと生活を通して健全育成を図る施設です。私たちはその役割を深く理解し、実践することで、子ども・保護者・地域から信頼される心のこもった運営を心がけています。

### 子どもの健やかな育ちを支援

(＝新しい時代を担う子どもが成長できる)

学童保育所に通う子どもたちが、健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることで、健全な心身の発達を図ります。また、子どもたちが自発的に育とうという意思を尊重し、**子どもがいきいきをと健やかに育つ環境**を整え、内面からの育ちを見守り・寄り添いながら支援します。

### 保護者の就労と子育ての両立 及び保育ニーズを支援

(＝子育てに喜びや楽しみを感じながら安心して産み育てられる環境作り)

家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力のもとに家庭養育の補完を行います。そのためには、安心して子どもを預けられるのはもちろんのこと、保護者の多様な就労形態にあわせ柔軟に対応し、**利用しやすい施設運営**(※1)を目指します。

また、それらを基本としたうえで、地域の実情を踏まえた就労支援を行い、『子育てによる時間的制約』『子育ての肉体的・経済的負担』『子ども本人に関する心配事』といった不安や悩みに対して特段の配慮を持った運営を行います。

### 地域での子育てを支援

(＝子育て支援活動を基盤とした地域コミュニティの形成)

地域における子育て支援ネットワークを構築するため、子育ての悩み相談に応じるなど社会的役割を果たします。また、地域の非子育て家庭とのコミュニケーションも大切にし、**“地域に関わられた学童保育所”**(※2)として、様々な情報発信や交流の場としての役割も果たします。

#### (※1 フレキシブルな施設運営)

様々な雇用形態で働く保護者の都合を考え、柔軟な施設運営を行い、子育てと就労の両立を支援します。

##### ① 保護者との信頼関係の構築

密接なコミュニケーションを図り、ICTも含めた様々なツールや機会を設けて、保護者との双方向のやりとりでより一層の理解と信頼を深めます。

##### ② 柔軟な対応

保護者の就労をしっかりと支援できるように柔軟に対応します。具体的な例としては、保護者参加型行事の休日実施や急な残業時の延長保育への対応等です。

##### ③ アドバイザリー機能

保護者の子育てを支援できるようなアドバイザリー機能を包括した運営を行います。

##### ④ 時間的、労力的負担の軽減

**長期休暇中の配食弁当導入**など、利用者のニーズに応じた様々なサービスを導入し、保護者に労力的負担をかけません。

#### (※2 透明性のある施設運営)

保護者や地域と信頼関係を築くため、施設や運営の状況等の一般的な情報公開の他に下記内容についても公開します。

- ・おたよりやホームページ等による詳細な情報提供・公開を行います。
- ・事故報告書により事故が起こった時間、場所、状況等の報告を保護者にします。
- ・クレームや苦情の公開を行うほか、応答についても公開します。

など

## ■学童保育所の運営理念

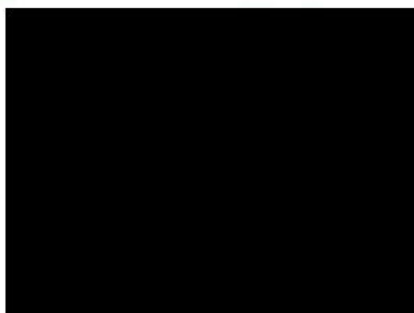
- ❖ 自分の子どもを入りたい学童保育所にする
- ❖ 子どもの十全なる発達と健全育成を通して家庭をサポートする
- ❖ 心豊かな子どもが生き生きと育つまちづくりに貢献する

### 保育方針

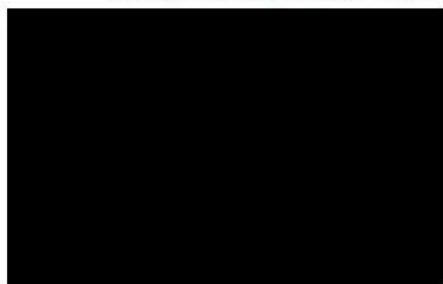
- ・子どもたちの豊かな放課後生活を保障し、多種多様な体験を通して子どもたちの健やかなる成長を援助する。
- ・学童期に身につけておくべき**基本的な生活習慣・行動規範を日常生活の中で確立**する。
- ・大人の見守りのもとで**自己肯定感を育み、自ら考え行動に移すことのできる子を育てる**。
- ・様々な活動を通して**地域との絆を深め**、次世代を担う子どもたちの健全育成を実現させる。

### 保育目標

- ・基本的な生活習慣と**生活スキルの体得を支援**し、一人ひとりの自立を助ける。
- ・一人ひとりの子どもに目標達成の喜びを体験させ、生活意欲を高め、また自分の思いを相手に伝え、**自立に向けての力を育む**。
- ・異年齢集団を生かした遊びや活動・生活体験を通して、より広い人間関係を作り、**社会性の発達を養う**。
- ・多種多様な活動の中で協力することの大切さを知り、**相手を思いやる心を育てる**。



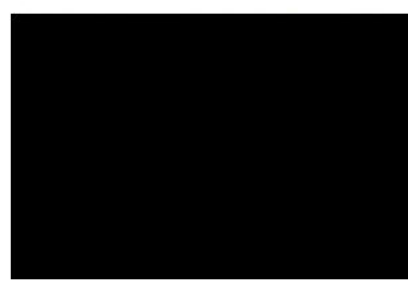
降所時間を自分で管理するための  
降所マグネットボード



リクエストおやつや手作りおやつ  
などの食に関するイベント



ドッジボールや JUMP-JAM  
などの体力増進活動



自然探検や卒所遠足などの  
異学年で交流を深める所外保育



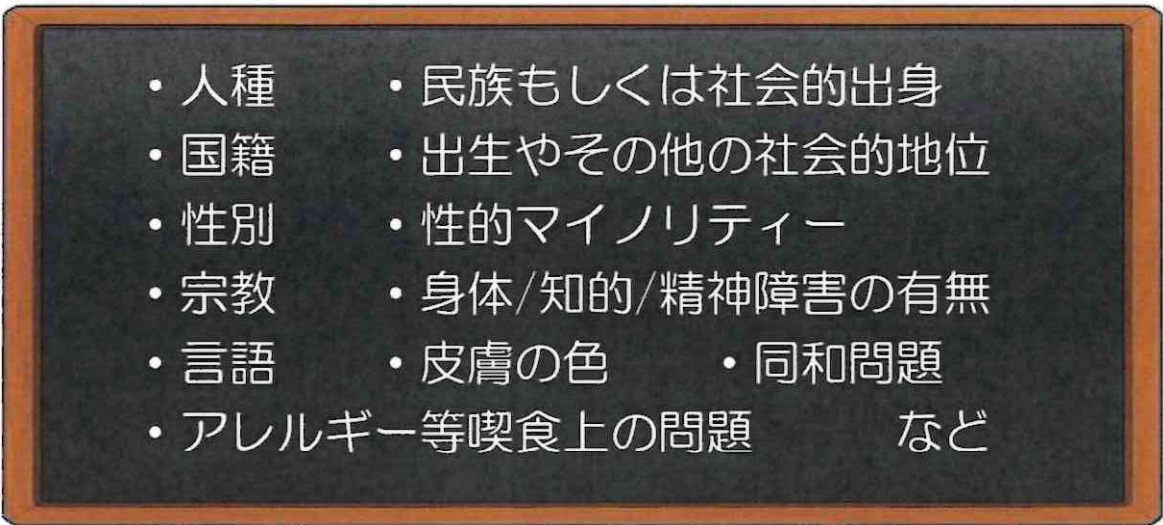
## ■公共性・平等利用における考え方

私たちは、前述した理念・方針を実現するために、以下のルールに則った施設運営を行います。

- ① すべての利用者に平等公正な運営を行う。
- ② 地域に根差した運営を行う。
- ③ 健全育成理念の実現に向けた活動を行う。
- ④ 個人情報保護と適切な管理運用を行う。
- ⑤ 積極的かつ迅速な苦情処理体制を構築する。
- ⑥ 防犯や防災、その他緊急時に迅速に対応できる危機管理体制を構築する。
- ⑦ 適切な施設・設備の保全及び管理を行う。
- ⑧ 効率・効果的な管理を行う。
- ⑨ 利用者本位の柔軟なサービスを提供する。
- ⑩ 法令を遵守する。

### 施設の公平性・平等利用について

- ・当法人では、施設を利用しようとする全ての住民に対し、法令の遵守はもちろん、市の定める各種条例等に則った公平・平等な施設運営を心掛けています。
- ・本施設は「広く一般の市民が自由かつ平等に偏りなく利益を受けることができるもの」になるようにしていきます。
- ・「施設を利用するにあたり、不当な差別的取扱いをしない、正当な理由なく施設の利用を拒んではならない。」ということを職員に周知しております。

- 
- |               |                |       |
|---------------|----------------|-------|
| ・人種           | ・民族もしくは社会的出身   |       |
| ・国籍           | ・出生やその他の社会的地位  |       |
| ・性別           | ・性的マイノリティー     |       |
| ・宗教           | ・身体/知的/精神障害の有無 |       |
| ・言語           | ・皮膚の色          | ・同和問題 |
| ・アレルギー等喫食上の問題 | など             |       |

上記の理由で全ての利用者が施設の利用を拒まれたり、不当な差別的取扱いを受けず  
平等な施設の利用が受けられるよう尽力します。

## (2) 団体の安定性について

＊団体等の経営状況の安定性

### ■健全な財務状況

法人設立より30年、保育所を中心に児童館・学童保育所など児童福祉事業専一で事業展開しているため、事業形態においても多角経営を進め、新規参入している事業者にありがちな資金繰りのショートによる事業運営への危険性が非常に低いと考えられます。また、下記内容に記載した運営内容から、今後も引き続き利用者の方々はもちろん、自治体及び地域の方々にも安心して頂けると確信しております。

グループ事業売上高 約 **270** 億円

自己資本率 **59%**以上【理想値 40%】

流動比率 **1633%** 【理想値：200%】

豊富な現預金、国債等があり、  
流動性・安定性が高い

銀行からの信用格付け **10** 段階中 **1**  
【区分 10：(深刻な経営難)～1：(財務状況が非常に優れている)】

学童・保育業界で  
トップクラスの  
健全な財務内容

※次ページには当法人の経営状況を税理士が評価した客観的資料を添付させていただきます。

## 経営状況評価書

【法人名： 株式会社こどもの森 】

### 1. 総合評価

(1) 過去1年間の財務状況については、下記の通り判断される。

- ① 問題点がない。
- ② ほぼ問題ない。
- ③ 問題点がある。

(2) 開設後の事業運営に関しては、下記の通り判断される。

- ① 適切に計画されていると認められる。
- ② おおむね適切に計画されていると認められる。
- ③ 問題がある。

### 2. 評価理由

#### (1) 収益性

法人としての令和6年9月決算における売上高利益率は、営業利益において36.5%、経常利益において37.4%と、高い収益性を示しており、認可保育園を中心に子育て支援事業に特化した事業を行うことにより、安定した収益性を維持しています。

#### (2) 財務内容

令和6年9月決算における自己資本比率は、59.7%と大変高い水準にあり、安定した財務内容といえる40%を大きく超えており、大変優良な財務内容と考えます。

#### (3) 支払能力

令和6年9月決算における流動比率は、1633%と大変高く、理想とされる200%を大きく超えており、十分な支払能力を示しています。

#### (4) 総評

収益性、財務内容、支払能力すべてにおいて高い水準となっており、財務状況については全く問題ないと評価できます。また、事業運営についても、収支状況や証憑書類を見る限り、適正に運営されていると考えます。

上記の通り評価いたしました。

2025年8月4日

(印 書) 税理士

川崎市中原区上新城二丁目11番20号  
氏名 税理士法人野口会計事務所  
代表 野口隆一



### (3) 団体の継続性について

\* 団体等の設立から何年経過しているか

#### ■ 法人設立からのあゆみ

法人名： 株式会社こどもの森  
 設立： 平成4年1月22日  
 所在地： 〒185-0034 東京都国分寺市光町2-5-1  
 代表者： 代表取締役 久芳 敬裕  
 職員数： 約3,000名  
 事業内容： 保育所・児童館・学童保育所の運営  
 法人の沿革：

児童福祉事業専一で  
**30 年以上**  
 継続して運営

学童保育運営  
**平成 15 年**  
 より参入

年 月 日	経 歴
平成 4 年 1 月	会社設立 千葉県松戸市に保育室を開設
平成 9 年 7 月	長津田園 横浜保育室認定
平成 13 年 9 月	東京都東村山市に多摩地区初の企業立認可保育園『わくわく保育園』を開園
平成 15 年 3 月	東京都国分寺市に認証保育所『国分寺プチ・クレイシュ』を開園
4 月	東京都葛飾区に「道上こどもの森学童クラブ」を開所
平成 16 年 4 月	東京都国分寺市に認証保育所『西国分寺プチ・クレイシュ』を開園
平成 21 年 4 月	東京都『国分寺市しんまち児童館・第一第二新町学童保育所』を指定管理者として運営開始
	東京都国分寺市に認可保育所『ぶんじっこ保育園』を開園
7 月	東京都国分寺市に認可保育所『ぶんじっこ保育園分園』を開園
平成 23 年 4 月	東京都『西東京市立下保谷児童センター・下保谷学童クラブ』の運営を開始（運営委託）
平成 26 年 4 月	東京都『国分寺市しんまち児童館・第一第二新町学童保育所』を指定期間満了後、 <u>再受託</u> また追加で『国分寺市立戸倉学童保育所』を指定管理者として運営開始
	東京都『国分寺市にしまち児童館・西町学童保育所・西町地域センター・生きがいセンター西町』を指定管理者として運営開始
平成 27 年 4 月	東京都国分寺市に認可保育所『まなびの森保育園』を開園
平成 30 年 4 月	国家戦略特区（品川区）において初の企業立公園内認可保育所『まなびの森保育園西大井』を開園
	東京都『狛江市立北部児童館・こまっこ小学生クラブ』を指定管理者として運営開始
平成 31 年 4 月	東京都『国分寺市しんまち児童館・第一第二新町学童保育所、国分寺市立戸倉学童保育所』を指定期間満了後、 <u>再受託</u> 東京都『国分寺市にしまち児童館・西町学童保育所・西町地域センター・生きがいセンター西町』を指定管理期間満了後、 <u>再受託</u>
令和 2 年 4 月	東京都目黒区に日本初民設民営保育園・児童館・学童の複合施設『まなびの森保育園学芸大学前・こどもの森児童館・こどもの森学童保育クラブ』を開所
令和 4 年 4 月	東京都国分寺市に認可保育所『まなびの森保育園国分寺』を開園 東京都『東大和市立学童クラブ（四小内育成室）』運営を開始（業務委託）
	神奈川県横浜市に認可保育所併設型児童発達支援事業所『まなびの森キラリ十日市場』を開設
5 月	東京都国分寺市に認可保育所『ヴィラまなびの森保育園』を開園
	神奈川県横浜市に認可保育所一体型児童発達支援事業所『まなびの森キラリ星川』を開設
7 月	千葉県市川市に認可保育所併設型児童発達支援事業所『まなびの森キラリ本八幡』を開設
8 月	神奈川県大和市に認可保育所一体型児童発達支援事業所『まなびの森キラリ中央林間』を開設
	東京都江東区に認可保育所一体型児童発達支援事業所『まなびの森キラリ亀戸』を開設
令和 6 年 4 月	東京都『国分寺市にしまち児童館・西町学童保育所・西町地域センター・生きがいセンター西町』を指定管理期間満了後、 <u>再受託</u> 東京都『国分寺市しんまち児童館・第一第二新町学童保育所、国分寺市立戸倉学童保育所』を指定期間満了後、 <u>再受託</u> 現在に至る

その他首都圏を中心に複数の認可・認可外保育所及び児童館、学童保育所、児童発達支援事業所等を運営

## (4) 団体等運営の透明性・公平性

\*進んで団体等の情報等を公表しているか

### ■情報の公開による透明性

情報公開は情報を提供するだけでなく、保護者や地域との信頼のかけ橋です。当法人では社内において**情報公開規定**を作成し情報の公開を行い、また一方で**個人情報保護規程**も作成し、情報の取り扱いには慎重に行っております。

また、施設や運営の状況等の一般的な情報公開の他に以下の内容を公開します。

- ・ おたよりやホームページ等による詳細な情報提供・公開を行います。
- ・ 事故報告書により事故が起こった時間、場所、状況等の報告を保護者にします。
- ・ クレームや苦情の公開を行うほか、応答についても公開します。

### 運営内容の公開

HP 等において、団体の運営内容を積極的に公表しております。

#### ① ホームページでの公開

当法人の事業内容、施設状況等についても HP において会社案内という形で公開しております。また**個人情報保護方針**も作成しHPで公開し、情報の取扱いは慎重に扱っております。





## ② 情報公開規定

当法人では、社内においても**情報公開規定**を作成し情報公開を行い、また一方で個人情報保護規定（プライバシーポリシーもHPで公開）も作成し、情報の取扱いは慎重にしております。

法人系列保育園ではホームページ上で苦情の公開もしております。

## ③ 利用者アンケート改善案の公開

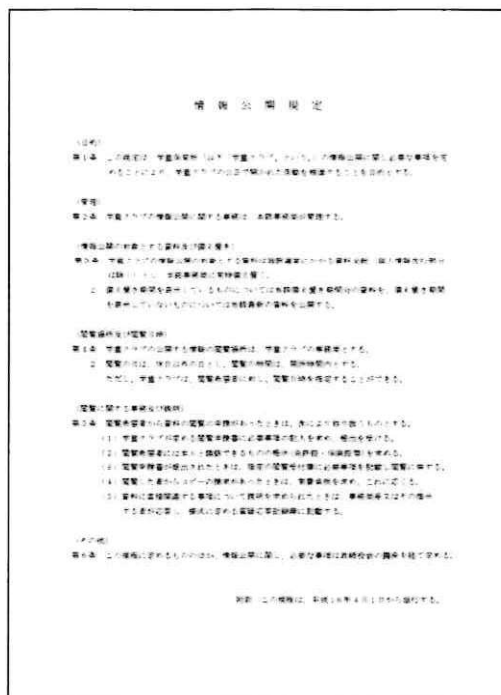
毎年法人内部で無記名による利用者アンケートを実施しています。その中で頂いた**ご意見は改善案と共に玄関に掲示**し、施設運営の透明化と改善に努めています。

## ④ 食に関する情報の公開

おやつや児童館の調理イベントの際、添加物を使用しないといった食に関する事項を、保護者への配布や施設内での掲示などを通して情報公開しています。

## ⑤ 苦情に関する情報公開

法人本部にいただいたご意見ハガキや、お電話にていただいた苦情などには即座に対応策を協議し、苦情内容とそれに対するお答えを掲示にて公開しております。



西町学童保育所  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて  
「法令遵守」評価 **S** 達成

大項目の総評					【法令や仕様書を満たしていない点】 なし
I 基本事項	S	3.4	S	3.6	
		事業者		評価機関	
①基本方針・事業計画	S	3.7	S	4.0	
②法令遵守	S	3	S	3.5	
③公正平等な利用	S	3.3	S	3.3	
④組織体制・自治体との協働	S	3.3	S	3.7	
⑤経理	S	3.3	S	3.7	
【中項目の総評】 月1回常勤ミーティングを開催し、事業計画の進捗状況や振り返りを行い、その後議事録を掲示してパート・アルバイト含め全員に共有しています。聴覚障がいのある個人や団体が、定期的に利用しています。リレー電話を活用したり、筆談で対応しながらご不便なくご利用頂いています。公正平等な配慮が行き届いています。館長は、学童の施設長も兼務していますが、学童にも担当の責任者を配置しています。シフトは館長が最終的に集約しています。連休を取得しやすいように配慮し、ワークライフバランスに十分配慮しています。					

第三者評価を  
受審した**全施設にて**  
当該項目の評価  
**S 達成**  
(Sが最上級評価となります)

※4点満点

## 第三者評価の受審と公表

当法人では第三者評価を導入し、第三者からの客観的な視点を利用して施設運営の改善に努めています。令和4年度に受審し、下記のように活用しております。

第三者評価結果  
WEB 上にて  
公表しております。

### ① 運営の質の向上に役立てます！

第三者評価の利用は、施設の提供するサービスの内容を改めて見直し、改善に取り組む好契機と捉え、評価を「受ける」のではなく、「主体的に活用」します。このため、評価を受ける前に、第三者評価基準に照らし合わせてまず自己評価を行い、弱点、欠点を把握し、改善に努めます。結果については専門的、客観的な立場からのものとして真摯に受け止めます。また、当法人の施設長は評価者としての資格も取得することとなり、日々評価者としての視点から施設の内容をチェックし、質の向上を図ります。

### ② 運営内容の透明性を高める手段として活用します！

保護者から見えにくく評価しにくい保育内容について、中立機関による客観的な事実に基づいた第三者評価を利用することで運営内容の透明性を高めます。

### ③ 情報公開の一手法として利用します！

評価結果がネット等に掲載されることから、情報公開の見地からも保護者（将来の利用者も含む）の利便に役立つと考えます。評価結果には利用者アンケート概要も含まれるため、閲覧者は通常は外部にでにくい利用者の意見を目にすることが可能です。情報公開を進めることは、利用者はもちろん、地域からの信頼獲得にもつながると考えます。

実績については（6）運営実績に記載しています。

第三者評価を国が実施していた当初より取り入れており、当時は受審園全て「a」評価を頂いておりました。現在東京都では「あり」・「なし」の二択評価となっておりますが、全て「あり」の評価を頂いています。神奈川県やその他の行政の評価は a・b・c 評価となっており、受審園全てが9割近いa評価を頂いています。

平成31年4月より、第三者評価 評価事業が改定となりました。判断水準（a,b,c）の検討判断水準（a,b,c）について定義が明確に示されていない、又「a」評価でなければ適切なサービスが提供されていないとの誤解を招くとの意見等を踏まえ、最低基準を満たしていることを前提として、「a 評価」（よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態）、「b 評価」（a に至らない状況、多くの施設・事業所の状態、「a」に向けた取り組みの余地がある状態）、「c 評価」（b 以上の取り組みとすることを期待する状態）と位置付けを改訂。また、評価機関が公正・中立な評価をしていないと第三者評価機構が判断するため、オール a の評価はつきません。

#### 1. 法人系列認可保育園・認証園（東京都）

全園・・・すべて「あり」評価！！

#### 2. 法人系列認可保育園（横浜市他）

受審園・・・9割のA評価を獲得！！





## ■公平性の確保

外部の専門機関による客観的視点からの評価を積極的に導入し、運営の見直し・改善に努めております。具体的には、**第三者評価や利用者アンケートを実施**し、結果を公表しております。また、日常運営の中で判断基準を明確にし、記録、情報共有を徹底し、職員や保護者の声の大小に左右されない運営体制を構築します。

### 外部監査の活用

定期的を実施される行政からの監査やモニタリングも、**運営の見直し・改善の機会として有効に活用**し、運営の適正化を図っていきます。

- ・毎年、利用者（学童保護者）に対して貴市全施設共通のアンケートを実施しております。頂いた様々なご意見から必要な改善点を洗い出し、改善案とともに配架・掲示して結果を公表しております。

### 内部監査の実施

利用者や専門機関といった外部からだけでなく、施設職員及び法人内においても常に「見直し→改善」の流れを意識し、より良い保育、より良い施設運営を行っております。

- ・監査計画表やスキルチャートを使い、内部監査を実施することで施設の運営改善を図ります。また、系列施設の職員同士がお互いの施設見学を行うなどし、**評価する意見交換の場**も設けています。
- ・日頃働いている中ではなかなか出てきにくい意見や不満を、アンケートや個別面談にてヒアリングします。改善に利用するとともに、お互いが話し合い、意見を聞くことで不安や不満を解消します。

西町学童保育所  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて  
「公正平等な利用」評価 **S** 達成

大項目の総評				
I 基本事項	S	3.4	S	3.6
①基本方針・事業計画	S	3.7	S	4.0
②法令遵守	S	3.5	S	3.3
③公正平等な利用	S	3.3	S	3.3
④組織体制・関係機関との連携	S	3.3	S	3.7
⑤総括	S	3.3	S	3.7

【法令や仕様書を満たしていない】

【中項目の総評】  
月1回常勤ミーティングを開催し、事業計画の進捗状況や振り返りを行い、その後議事録を掲示してパート・アルバイト職員に共有しています。聴覚障がいのある個人や団体が、定期的に利用しています。リレー電話を活用したり、筆談で対応らご不便なくご利用頂いています。公正平等な配慮が行き届いています。館長は、学童の施設長も兼務していますが、学童担当の責任者を配置しています。シフトは館長が最終的に集約しています。連休を取得しやすいように配慮し、ワークバランスに十分配慮しています。

第三者評価を  
受審した全施設にて  
当該項目の評価  
**S** 達成  
(Sが最上級評価となります)

※4点満点



## (5) 団体等運営における法令等の遵守状況

\*個人情報保護に関する法律、労働基準法等が遵守されているか

### ■法令遵守の徹底

当団体は、**児童福祉法、こども基本法をはじめとする関係法令および国分寺市条例・仕様書を遵守**し、子どもの最善の利益を最優先とした運営を行います。また、**子ども性暴力防止法の趣旨を踏まえ**た職員の行動ルールを周知し、児童の権利と尊厳を守り安全な規制支援に努めています。そのうえで職員の労働環境の適正化、個人情報の厳正管理、合理的配慮の提供を通じて公平性・透明性の高い施設運営を徹底します。

#### 個人情報保護に関する法律の遵守

インターネットの普及による個人情報の利用機会の拡大と、それに伴うリスクによるトラブルの可能性が飛躍的に高まっていることを認識し、個人情報の管理・取り扱いについては毎年研修に参加するなど知識のアップデートに鋭意努めております。

##### ① 規定の整備

- ・個人情報保護に関する方針を館内に掲示し、利用者へ対応を周知します。
- ・個人情報保護規定の整備：職員への周知として、上記方針のほか、規定を整備することで個人情報保護に対する認識を高めます。

##### ② 具体的な個人情報保護に関する取組み

施設における個人情報保護対策については、下記の通り**人的安全管理措置、物理的安全管理措置、技術的安全管理措置**の3つの観点を中心に適切な管理に努めてまいります。

※個人情報についての詳細は(13)個人情報保護対策状況にて記載しております。

西町学童保育所  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて  
「個人情報保護」評価 **S** 達成

V 危機管理	S	3.5	S	3.7	【法令や仕様書を満たしていない点】
		指定管理者		評価機関	なし
①日常業務における危機管理	S	3.7	S	4.0	
②緊急時に備えた準備	S	3.7	S	3.7	
③危機管理対策	S	3.3	S	3.7	
④危機管理対応	S	3.3	S	3.7	
⑤個人情報保護	S	3.3	S	3	

【中項目の総評】  
換気・消火・ソーシャルディスタンス等の感染症対策を適切に実施しています。児童館利用登録制は、毎年行うことになっており、災害時には、無線の電話番号をキーとして災害伝言板（WE8171）に状況を書き込み保護者と連携する体制が構築されています。様々な危機を想定したマニュアルを作成し、フローチャートを事務室に掲示しています。特に小児救急対応マニュアルは、詳細に記載されており他施設の参考になります。学童では、小倉井警察署指導のもと、防犯訓練を実施しています。個人情報の取扱いについては、個人情報保護・情報セキュリティハンドブック（国分寺市）を活用し、常勤は、セルフチェックを年1回実施しています。パート・アルバイトは、業務の中で徹底注意喚起をしています。実施等の記録があるとより良いでしょう。

第三者評価を受審した**全施設にて**  
当該項目の評価  
**S 達成**  
(S が最上級評価となります)

※4点満点

## 労働基準法の遵守

### ① 就業規則の整備

就業規則を作成し、良好な労働環境の維持に努めています。

### ② 産休・育休制度の整備とその利用促進

産休・育休制度も整備しており、今までも多くの職員が制度を利用し、職場復帰を果たしております。

さらに年度途中の産休取得に備えて本部配属の予備有資格者を採用することで、産休を取得しやすい体制を整備しております。

### ③ 有給休暇・夏期休暇等の整備とその取得促進

職員がリフレッシュできるように、有給休暇を始め、夏期休暇等、長期休暇が取れるように促進しております。

### ④ 労働基準法等による各種保険への加入

健康保険・厚生年金・労災保険、雇用保険等の各種保険へ加入し、職員が安心して働ける環境としております。

### ⑤ 職員に対する関連研修・勉強会の実施

オンライン研修や法人主催または施設長主催の研修・勉強会にて、職員の職責に応じた内容の知識・対応スキルを学んでおります。

施設長の産休・育休

取得率

100%

## その他法令等の遵守

- ・「児童福祉法」や国分寺市条例・施行規則等児童福祉に関わる法令等の遵守
- ・「児童虐待防止法」「障害者差別解消法」等の遵守
- ・「子ども基本法」を活用した勉強会の実施

経営者や役員だけでなく一般社員にも、最低限の法的知識を学んでもらい、各人の倫理観を磨いてもらう必要があります。どんなケースがコンプライアンス違反に該当するのか、各種の研修をもって職員の法令遵守、コンプライアンス意識を高めることに努めています。

そして行動規範・行動基準を経営計画書として明文化し職員育成に活用しております。

※詳細は（11）利用者への対応状況（接遇・苦情対応）にて記載しております。

## 西町学童保育所

認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて

「法令遵守」評価 **S** 達成

大項目の総評				【法令や仕様書を満たしていない点】 なし
I 基本事項	S	3.4	S	
		事業者	評価機関	
①基本方針・事業計画	S	3.7	S	4.0
②法令遵守	S	3.0	S	3.0
③組織体制・自治体との協働	S	3.3	S	3.7
⑤総理	S	3.3	S	3.7
【中項目の総評】				
月1回常勤ミーティングを開催し、事業計画の進捗状況や振り返りを行い、その後議事録を掲示してパート・アルバイト含め全員に共有しています。聴覚障がいのある個人や団体が、定期的に利用しています。リレー電話を活用したり、筆談で対応しながらご不便なくご利用頂いています。公正平等な配慮が行き届いています。館長は、学童の施設長も兼務していますが、学童にも担当の責任者を配置しています。シフトは館長が最終的に集約しています。産休を取得しやすいように配慮し、ワークライフバランスに十分配慮しています。				

第三者評価を  
受審した全施設にて  
当該項目の評価  
**S** 達成  
(Sが最上級評価となります)

※4点満点



## (6) 運営実績

※同様な施設での運営実績（契約書等の添付のこと）

### ■首都圏における30年以上同様な施設での受託運営実績

当法人は約30年間児童福祉事業を専業として事業展開を行い、子どもたちが健康で豊かな心を持ち、保護者が子育てに伴う喜びを実感でき、安心して子どもを生み育てることができる社会づくりに貢献してまいりました。

私たちは“利用者にとって良い施設”を作ることが少子化対策につながる＝子育てしやすい社会にするという理念のもと、児童福祉施設を250施設以上（うち指定管理及び業務委託で50施設）、学童保育所においても東京都を中心に約50施設運営しております。

国分寺市内でも認可及び認証保育園を7園運営しており、また当法人系列保育園は各自治体にある全ての認可及び認証保育所を対象にした保護者の評判が高い保育園ランキングにおいて都内8自治体で1位を獲得する等良好な評価を頂いています。

首都圏にて  
**30年**近い  
運営実績

児童福祉施設  
**250施設**  
以上運営

指定管理及び  
運営業務委託で  
**50施設**  
運営

児童館を  
**8施設**  
運営



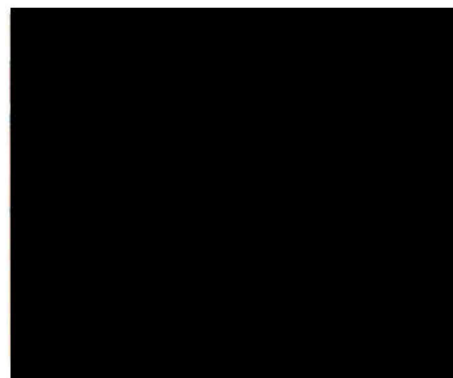
### 「西町学童保育所」及び「西町プラザ」における運営実績

今当法人は「国分寺市立西町学童保育所」「国分寺市立にしまち児童館」及び「国分寺市立西町地域センター」「国分寺市立生きがいセンターにしまち」を平成26年度より継続して運営しております。

これまで運営してきた**12年間の実績**をもとに、安定した施設運営をしていきます。

#### ① 西町学童保育所

育成室の狭隘状況もあり、第八小学校と連携し**家庭教室を借用**して分散保育を実施しています。今後も**Z**を実施していきます。また**放課後プランのプラン室とも連携**し、プラン室参加希望の児童を連れて行きプラン室の先生方とも子どもたちの特性などを共有しています。学校のない長期休業中には保護者のお弁当作りの負担軽減のため、職員による**昼食作り**や**レトルトの日**などを実施し、子どもからも、保護者からも好評です。保護者からの相談等には、学童職員だけでなく児童館の職員全員で協力体制のもと対応しております。



## ② にしまち児童館

来館者UPをしており、中学生の来館も増加しております。乳幼児のイベントも定着して、月一回のベビーマッサージは当法人の系列保育園の園長が実施しており、人気のイベントとなっています。にしまち児童館では料理企画が人気で、市内児童館の中で最初に再開し、今はファイヤー企画を含め月2回の実施を目指しています。

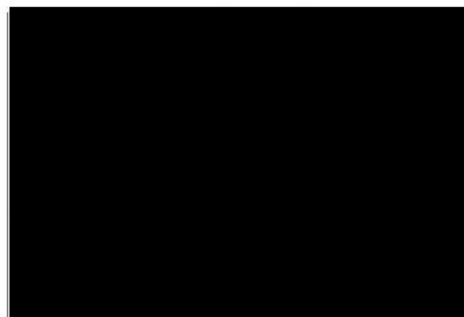
## ③ 西町地域センター

平成31年度より公共予約システムが導入され利用者の皆様にはパソコンでの抽選予約が始まりました。キヨスク端末での入力作業のお手伝いやサポートをはじめ、利用者の皆様に寄り添って施設運営をしてまいりました。利用者主体の利用者協議会による様々なロビー活動のサポートや、資源回収のお手伝いも行ってきました。



## ④ 生きがいセンターにしまち

地域生きがい交流事業を4講座実施し、中には自主グループとして活動を続けている団体もあります。入浴施設の改修後にできた多目的室は、囲碁等が楽しめる部屋と、貸室利用のできる部屋があります。多目的室は、地域センターで活動していた団体で予約が取れず活動ができなくなっていた団体にお声をかけて、生きがいセンターの多目的室の利用を促し、現在も継続して活動を続けられています。



### 【同様な施設での運営実績】

#### 「第一第二新町学童保育所」及び「第一第二戸倉学童保育所」

平成21年4月より当法人が指定管理者として運営を引継ぎ、**本年度17年目**を迎えました。

第一第二新町学童保育所が併設されたにしまち児童館の中にあり、基本的な生活習慣や遊びの支援など家庭的な雰囲気の中で保育を行っています。鉄筋2階建てで、窓が多く外階段とバルコニーやアーチ型天井の遊戯室、アルコーブ等があり、そのデザインは建築専門誌に掲載さ



れるほどの独特のデザインとなっています。外遊びのできる館庭は、普段の遊びでもファイヤー企画でも大にぎわいで、夏に設置する幼児用プールは多くの親子に利用されています。児童館併設のため多くのイベントに参加できるメリットや、ランドセル来館の対応等子どもたちの切れ目ない支援ができるよう運営しています。

戸倉学童保育所は平成26年度より当法人が指定管理者として運営しております。令和7年度からは戸倉学童保育所改め第一・第二戸倉学童を運営しております。西町学童保育所同様学校敷地内にあり、第十小学校との連携や放課後プランとの連携を行っています。



## ■高い定着率

当法人では職員の雇用の安定を重視した運営を心がけており、保育士不足の昨今においてもしっかりとした職員配置ができております。また、職員の資質の向上を図るため、法人のスケールメリットを活かした様々な取り組みを行っております。

### 職員配置における方針

#### ① 職員の安定を重視した配置

職員配置において、運営の中心となる幹の部分は法人の理念・文化を理解している経験ある職員とします。パート職員は、出来るだけ固定的に配置し、勤務地によって職員の能力差に著しい偏りを出さないようにするのが円滑な組織を作る上で大切だと考えております。

さらに職員配置において、職員間の人間関係は職員定着の重要な要因になるため、状況に応じて市内系列施設にて配置換えを行うなどの調整を行います。

#### ② 経験者・新卒共にバランスの取れた職員の配置

創業より約30年児童館・学童保育所を含む保育関連事業専一に運営をしており、過去10年間において、業界No.1の採用力と定着率を実現しております。その採用力を活かして、経験者と新卒をバランスよく採用・配置をします。また、活気のある施設運営をしていく中で新卒の若くて新しい力は必須であると考えております。経験不足などの点は入社前研修や関係法人等の運営施設での実技等の機会を多く設けることで補い、入社後にはスムーズに業務に従事できる環境を用意します。

#### ③ 積極的な地域雇用の推進

当法人では自治体ごとに地域に詳しく災害時・緊急時にもすぐに対応できるよう、市内在住の職員を一定比率、雇用を維持しています。そのため非常勤職員においては、積極的に地場での採用を進めていきたいと考えております。地域に詳しいことで防犯対策となったり、事業終了間際や終了後のトラブルでも柔軟に対応できたりするほか、災害時にも迅速に人が集められ、子育て事情や経験を共有することで保護者の安心感につながります。

#### ④ 良質な短時間勤務職員の確保・活用

施設運営においては午後のピークタイムや三季休業日・障害児加配などにおける非常勤職員等の配置が欠かせません。ただ中途採用者については、今までの経験と知識から、かえって新しい環境に慣れるまで時間がかかることが多々あります。そのため法人の理念や方針を学ぶ研修、系列施設での実地研修等を実施し、職員全員が同じ想い、方針で臨めるような体制とします。また、既存職員からの紹介も増えており、通常の新規中途採用に比べ良質な人材が多いため、積極的に活用しております。

職員が選ぶ  
働きやすい法人  
業界大手法人の中で  
満足度

第 1 位

※東京都公表の第三者評価に基づく調査

職員の定着率  
1施設当たり退職率

約 10%

（10年の実績より）

## 職員定着のための取組み

### ① スーパーバイザー(SV)の派遣

・SVが定期的に巡回することで中だるみを防止し、質の維持を図るとともに指導・助言を行うことで運営の改善・向上へとつなげています。

### ② 事務局・系列施設からのバックアップ体制

職員の欠員など緊急時には、本部直轄の保育士や近隣系列施設からの応援が可能です。

### ③ 年度途中における人員の派遣

産休・育休等の職員が出た場合や、おまつり・運動会など人手が必要な行事実施時などにも予備有資格者の派遣が可能です。

### ④ マニュアル・諸規定の共有化

法人の長年の知識と経験を反映したマニュアル・諸規定などを活用して、より質の高いサービスの提供が可能です。

### ⑤ 長期勤務者の表彰

当法人では長期勤務者や企業に貢献した職員に対して表彰式を行い、モチベーションの維持・向上につなげています。

### ⑥ 産業カウンセラーによるメンタルケア

熱意ある職員が多いからこそ、メンタルケアや心理面でのサポートを取り入れています。



## 第三者評価機関の批評

### 第三者評価機関の総評

Figure 1 consists of three parts: a table of chemical composition, a bar chart of feed composition, and a pie chart of feed composition.

**Table 1: Chemical composition of feed and feed after treatment**

項目	飼料	飼料 (処理後)
粗蛋白質 (%)	18.5	19.2
粗脂肪 (%)	5.5	5.8
粗繊維 (%)	2.5	2.8
灰分 (%)	10.5	10.8
水分 (%)	72.5	71.2

**Figure 2: Bar chart of feed composition**

The bar chart shows the composition of the feed in terms of percentage. The x-axis represents the percentage of each component, and the y-axis represents the component name. The components are: 粗蛋白質 (18.5%), 粗脂肪 (5.5%), 粗繊維 (2.5%), 灰分 (10.5%), and 水分 (72.5%).

**Figure 3: Pie chart of feed composition**

The pie chart shows the composition of the feed in terms of percentage. The chart is divided into five segments representing the components: 粗蛋白質 (18.5%), 粗脂肪 (5.5%), 粗繊維 (2.5%), 灰分 (10.5%), and 水分 (72.5%).

### 第三卷評價機關の批評

Figure 1 consists of a table and a pie chart. The table lists the 10 most abundant species and their counts. The pie chart shows the distribution of species and individuals.

物种名称	物种数	个体数
1. 鳊	1	1000
2. 草鱼	1	800
3. 青鱼	1	600
4. 鲢	1	500
5. 鳙	1	400
6. 鲫鱼	1	300
7. 鲤鱼	1	200
8. 中华倒刺鲃	1	100
9. 长颌鲴	1	100
10. 鳊	1	100

Figure 1-1000 最优势种物种数与个体数比较图

Figure 1-1000 最优势种物种数与个体数比较图

### 第三者評価機関の役割

**第三组评价结果对比图**

评价项目	评价结果
1. 评价项目	评价结果
2. 评价项目	评价结果
3. 评价项目	评价结果
4. 评价项目	评价结果
5. 评价项目	评价结果
6. 评价项目	评价结果
7. 评价项目	评价结果
8. 评价项目	评价结果
9. 评价项目	评价结果
10. 评价项目	评价结果

**图例**

- 第一组
- 第二组

**图例**

- 第一组
- 第二组

**图例**

- 第一组
- 第二组

第三者評価機関の選

**Figure 1: Comparison of the number of people who have been vaccinated against COVID-19 in the United States and the United Kingdom.**

**Table 1: Vaccination Data (as of March 1, 2021)**

Country	Number of people vaccinated	Percentage of population vaccinated
United States	1,000,000	0.3%
United Kingdom	1,500,000	0.5%

**Figure 2: Line graph showing the percentage of the population vaccinated over time (March 1, 2021).**

The graph shows the percentage of the population vaccinated in the United States (red line) and the United Kingdom (blue line) over time. The x-axis represents the date (March 1, 2021) and the y-axis represents the percentage of the population vaccinated (0% to 1%). The United Kingdom has a higher percentage of the population vaccinated (0.5%) compared to the United States (0.3%).

### 第三者評価機関の選

[illegible]

### 第三卷 評価機関の職責

圖 5 各學段發展階段之評鑑

圖 5 展示了各學段發展階段之評鑑結果。圖中包含一個評鑑標準表，列出了五個學段（第一學段至第五學段）的各項指標及其對應的評鑑標準。右側的雷達圖則顯示了每個學段在這些指標上的得分情況，得分範圍從 0 到 5 分。

學段	第一學段	第二學段	第三學段	第四學段	第五學段
基本學能	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0
生活適應	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0
社會與自然	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0
學習與探究	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0
健康與安全	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0
品德與習慣	1.5	2.5	3.5	4.5	5.0

面専門機関による  
を受審した

## 等

において

26

## 認証された福祉評価専門的評価機関による第三者評価

### 各児童館にて総合評価 **S** 達成

国分寺市 ★★★★ しんまち児童館	国分寺市 ★★★★ にしまち児童館	目黒区 ★★★★ こどもの森児童館	狛江市 ★★★★ こまっこ児童館
	戸田市 ★★★★ 戸田児童センターフリスローズ	守谷市 ★★★★ 南守谷児童センター ミ・ナーテ	

※Sが最上級評価となります。

※指定管理者に対する第三者評価は、**公の施設としての管理運営水準の一層の向上を図るための第三者による客観的な評価**です



#### 自治体別

### 第三者評価の利用者調査において

利用者満足度 **100%** の園が多数

平成26年度には、第三者評価で1つ星を獲得した保育園は92園、**すべてがオールA/適正の承認、もしくは利用者満足度90%以上の高評価を獲得しました。**

特に利用者調査においては全園に到達し、満点、適宜等すべてにおいて満点で満足、もしくは満点の回答であった「満足度100%」に達した園は多数です。

#### 満足度100%をいただいた園

中倉区 ★★★★ まなびの森保育園鶴とぎ	浦和区 ★★★★ 浜谷もりのこ保育園神南	港区 ★★★★ プチ・ナーサリー 田町	港区 ★★★★ まなびの森保育園麻布
品川区 ★★★★ まなびの森保育園大崎広小路	品川区 ★★★★ まなびの森保育園品川シーサイド	足立区 ★★★★ まなびの森保育園関原	足立区 ★★★★ まなびの森保育園竹ノ塚
文京区 ★★★★ まなびの森保育園三河島	文京区 ★★★★ まなびの森保育園茗荷谷	豊田谷区 ★★★★ 用賀プチ・クレイシェ	高野区 ★★★★ 京成金町 プチ・クレイシェ
江東区 ★★★★ プチ・ナーサリー 西大島	大田区 ★★★★ 池上プチ・クレイシェ	豊久留市 ★★★★ Nicol 東久留米	豊久留市 ★★★★ 東久留米 プチ・クレイシェ
小金井市 ★★★★ 小金井プチ・クレイシェ	日野市 ★★★★ 日野プチ・クレイシェ	調布市 ★★★★ まなびの森保育園中河原	三鷹市 ★★★★ 三鷹プチ・クレイシェ
八王子市 ★★★★ 堀之内プチ・クレイシェ	調布市 ★★★★ 府中北プチ・クレイシェ	国分寺市 ★★★★ にしこくワンダーランド保育園	国分寺市 ★★★★ 国分寺プチ・クレイシェ
武蔵野市 ★★★★ 武蔵野プチ・クレイシェ	野田市 ★★★★ 清水保育園	町田市 ★★★★ 町田プチ・クレイシェ	町田市 ★★★★ 町田もりのこ保育園
町田市 ★★★★ まなびの森保育園関南平	町田市 ★★★★ 宮前もりのこ保育園	町田市 ★★★★ まなびの森保育園小杉	町田市 ★★★★ まなびの森保育園武蔵中原
	葛飾区 ★★★★ 納岡こども園	葛飾区 ★★★★ 日志こども園	



## (7) 効率・効果的運営への取組み状況

＊施設利用の促進方策・創意工夫

### 課題

- 年度途中に1施設から3施設に地区で振り分けられる
- 横断歩道も無く交通量のある道路を渡っての登所する

当法人がこれまで築き上げてきた運営実績を基に、国分寺市の方針に沿った「より効率的で質の高い運営」を実現します。新しい第二第三学童は第八小学校の正門を出て道路を渡って登所、年度途に開所します。そんな不安も同一法人による一体運営であれば見守り体制を万全にできます。



### 他社には真似できない安心保証で解決！！

#### 同一法人の一体運営なら3施設でも「知っている先生」がいる安心

12月から居住地でバラバラに振分けられて第二第三西町学童に子どもたちは移ります。今まで一緒だったお友だちや職員と12月からはバラバラになってします。同一法人による一体運営で「知っている先生」がいてお友だちとも部屋は別々だけど一緒に遊ぶことができる安心感を作ることができます。

#### 保護者の「年度途中でまた一から説明」という不満・負担をゼロに

12月の移行時に「また一から子どもの事を説明しなくてはいけないの？」という保護者が抱く不安を「変わらない顔」で完全に払拭します。

#### 我先に登所する子どもたちを職員全体で見守る体制

今までは走って学童まで来ていた子どもたちも、第二第三学童への登所は道路を渡っての登所になります。細い道路ですが交通量もある両方向の道です。我先に登所する子どもたちを下校の時間は職員が校門に立って子どもたちへの声掛けと誘導をすることで事故を起こさず登所させます。

### 「児童館デー」の実施

- ・学童保育所を卒所しても、子どもたちの放課後は続きます。当法人では「**児童館デー**」を通じ、学童と児童館の職員が協力して子どもたちを見守る体制を整えています。顔なじみのスタッフがいる環境は、多感な時期の子どもたちにとって大きな安心材料となります。

- ・児童館は、乳幼児から中高生までが集う**小さな社会**です。核家族化が進む現代において、学童期からこうした異年齢・多世代との交流の場にスムーズに接続することは、豊かな人格形成への大きな一歩となります。

- ・令和7年度から始まっている「**ランドセル来館**」においても、この信頼関係が土台となります。学童卒所が「終わり」ではなく、新しいステージの「始まり」となるよう、職員一丸となって家族と地域をつなぐ架け橋となります。

### 保護者とのコミュニケーション

学童保育所の質は、保護者との信頼関係に直結します。当法人は子どもたちの成長はもちろん、**日々の課題や些細な変化も「ありのまま」に共有**することを徹底します。

良い面も課題も包み隠さずお伝えする誠実な対話こそが、安心感の土台となります。安全管理を基盤としつつ、家庭と二人三脚で子どもたちの歩みを見守る、地域に根差したパートナーシップを築きます。



## ■育成における創意工夫



### 放課後子どもプランへの参加

第八小学校で行われている放課後子どもプランの方々とはすでに連携しております。そのために12月開所の第二第三西町学童保育所も学校敷地外の学童保育所ですが、**今まで通り**、職員が引率して**遊びの場**（校庭解放）・**学びの場**（カレンダー作り等）・**体験の場**（木工等）・**プラン室という4つのイベントに参加**します。また職員は、プラン委員と協力して参加児童の見守りにも協力し情報共有を図って利用していきます。

### 他施設で好評だったプログラムの水平展開

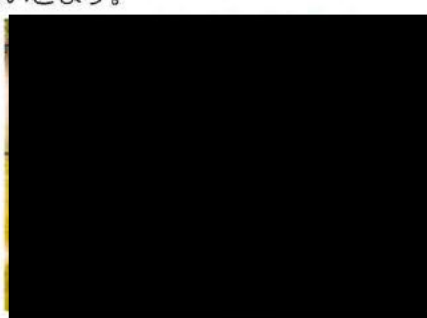
**他児童館・学童保育所で実践し、好評だったプログラムの内容を互いに共有し・水平展開**していくことで運営レベルの底上げを図ります。当法人は地域や規模の異なる児童館を8施設運営しており、それらの施設で人気の高かったイベントを水平展開することで、各施設の強みを系列施設全てで活用することができます。さらに、当法人が蓄積してきた育成スキルや受容的なコーチングのアプローチ、先駆的な健全育成プログラムを取り入れていきます。



室内レクリエーション  
巨大風船バレーボール



プレーパークでの所外保育



外部講師によるスポーツ体験

### 業務効率の最大化

上記の取組みを組み合わせ、**利用者満足度を高めながらも運営・企画等業務の合理化**をはかることで、施設単体で運営する場合にかかるコストおよび時間を削減し、ムダ・ムラ・ムリのない効率・効果的な運営を実現しております。

#### ① 自発性・社会性の育つ環境作り ～異年齢児の交流を進める～

様々な年齢の子どもが利用する場のため、生活の場として、また**異学年（異年齢）交流の場**として集団での遊びや子ども同士の関わり合いを大切に、子どもたちの健全な育成を図っていきます。具体的には、異年齢で交流するスポーツ活動やぬりえコンテストなどの多種多様なイベント、**子どもスタッフなどのボランティア活動**を通して相互に学びあい、育ちあえる機会を作ります。他にも異年齢での班編成などを日々の活動に取り入れることで、自然と相互に学び合い、育ちあえる機会を作ります。

#### 【異年齢児が関わることで獲得できる経験やスキル】

##### 主に1・2年生

- ・年上の子に対して憧れを抱き、目標にしたり行動を真似しようとする。
- ・大きくなりたい気持ちを持ち続け、進級時には自分がしてもらったように、年下の子に接してあげられるようになる。
- ・自立が早くなる。自立心・自律心が育つ。

## 主に3年生以上

- ・年上の子としての自覚が芽生える。
- ・年下の子に対して、思いやりある行動をとることで、自信につながる。
- ・遊びや生活スキルを教え、伝承していく。教えることで遊びに広がりが出るようになり、遊びが発展する。

### ② 社会につながる人間力を育む活動 ～多彩なプログラムの導入～

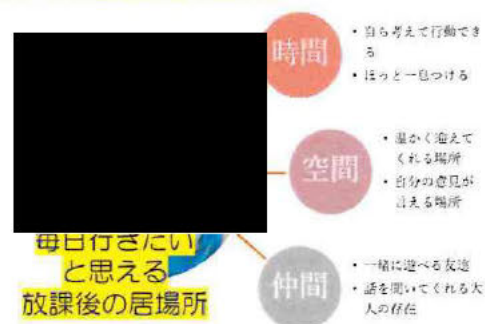
未来の社会で羽ばたけるよう、子どもに豊かな人間性を育みます。当法人の運営施設では、子どもたちの思考・行動特性などの後天的な人格形成に良い影響を与え、**自分の生きたい人生を切り開いていくためのベースとなる力を体得**できるようなプログラム活動を実施いたします。玩具や遊具だけに頼らず、より子どもたちが主体的に遊びを発展させられるように伝承遊びや体力増進プログラム、当法人が蓄積している様々な遊びのテクニックで子どもたちが毎日通いたくなる楽しい放課後を支援していきます。

【当法人運営施設で実施しているイベントプログラムの一例】



### ③ 居場所（サードプレイス）としての役割 ～毎日行きたい場所にする～

学校でも家庭でもない**第三の居場所**として、子どもが自主的に毎日来たいと思える楽しい放課後を目指します。  
子どもの遊びに必要な要素である三間と言われる**“時間”**  
**“空間”****“仲間”**が失われつつある現状において、学童保育所の果たす役割は非常に重要と考えます。  
私たちは、子どもが自ら選択して毎日行きたいと思える放課後の居場所を提供し、自主性や社会性の向上を図り、健やかな心と体を養い、豊かな人間性を育みます。



### ④ 自己肯定感や自主性を育むコーチング ～主体的な子どもを育てる～

子どもたちをただ見守るだけではなく、積極的に子どもに関わりまします。しかし初めから何かを教えたり、指示したりはせず、子どもが自ら気づくよう促し、**子どもの主体性と考える力**を引き出します。そうして苦手なことに挑戦するときは寄り添い励まし、勇気づけることで、**子どものチャレンジ意欲と自己肯定感を高めま**  
**す**。もちろん子どもの話は受容的な態度で聴き、一方的にこちらの意見を押し付けません。また、わかりやすい言葉を選び、同じことを聞かれても繰り返し伝えていきます。



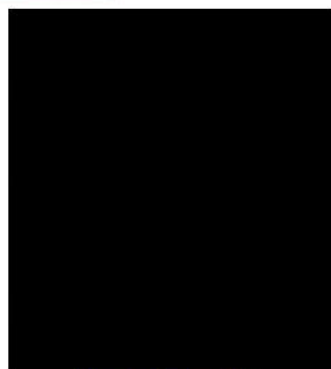


## ⑤ 子どもの意見の尊重 ～平等公正な施設運営～

「こども基本法」「子どもの権利条約」等に則り、子どもの声を聴き、子どもと共に決めていく施設運営を行っております。系列施設内に**こどもご意見箱**という意見を言える仕組みを取り入れており、年間100件以上の意見が寄せられています。時代の流行を押さえた提案や業務改善に役立つ意見も多く、運営のアップデートに役立てています。また、助けを求められなくて困っている子どもがいた場合には、こちらから関わりを持ち時間をかけて支援することで、安心してSOSを発信できるよう努めています。

### ビーステーブル（話し合いの場）の設置

ケンカが起きた際には、必要に応じて職員が仲介し、話し合いによる解決を図ります。その話し合いがスムーズに進むよう事務室にビーステーブルを設置しています。



ビーステーブル

## ⑥ 多様性を認め合う関係作り ～ダイバーシティ教育の推進～

当法人の既存施設には様々な障害を持った子や外国籍の子も多く在籍しており、個々に応じた豊富な対応実績があります。そのため、障害のある子も、様々な宗教信仰の子も外国籍の子も、**個性のひとつととらえて社会の中で一緒に共生**していくことを子どもたちに伝え、コミュニティの中に「多様性を認め合うこと」を浸透させていきます。きっかけづくりとして、「外国の人と話してみよう」や、「ダウン症について知ろう」（絵本を紹介）ほか、以下のような取組みを実施しております。

- ・弊社の系列施設では**外国語を母国語とする職員や外国語が得意な職員を複数直接雇用**しているため、掲示物の表記の工夫や、多言語対応も可能です。
- ・信仰上の理由で行事に参加できない子もいるため、名称や内容を工夫することでみんなが参加できる行事の企画運営を行います。
- ・宗教上の食文化の違いに考慮しておやつを持ち込みに変更するなどの対応も行っております

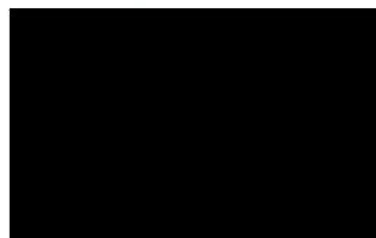
## ⑦ 子どもたちの主体的な活動とイベントへの参画

### ～“こどもスタッフ” “こども会議” などの取り組み～

子どもたちは大人の真似をするのが大好きです。そのため学童保育所のイベントの企画運営を行ったり、自主的に清掃などのボランティア活動を行う**“こどもスタッフ”**活動を通して、主体性や社会性が身に付くような仕組みを導入しております。保護者からも「学童に楽しんで通えている。」「家でも進んでお手伝いをしてくれるようになった。」と大変喜ばれております。

また、毎日の降所前に行われる「帰りの会」や**“こども会議”**では、**子どもたちが自ら考え司会進行を行う**など、学童保育所の活動に主体的に参加しています。

ボランティア活動のような主体的な奉仕活動を通して今までとは違った視点を持つことで、人間的に一回り大きく成長し、将来の生き方や社会のために自分ができることを考えたりするなど、学び・気づきにつながる活動となっております。



こどもスタッフによるイベント



職員と一緒にこども会議の司会進行に挑戦

西町学童保育所  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて

「施設運営」評価 **S** 達成

II 施設運営	S	3	S	3	【法令や仕様書を満たしていない点】
1施設運営業務 その1	\$	3.3	\$	3.7	
2施設運営業務 その2	\$	3.7	\$	4.0	
3人員体制・研修	\$	3.3	\$	3.7	
4事業・イベント	\$	3.7	\$	4.0	
5他機関との連携	\$	3.3	\$	4.0	

【中項目の総評】  
学童で、学校の家庭科室を利用できるようになりました。学童の部屋と二か所に別れるためにトランシーバーを導入し情報をリアルタイムで共有できるよう改善しました。児童館マニュアルや清掃マニュアル・トイレ清掃マニュアルが作成され、現場に提示し活用しています。法人本部主催の研修・施設での研修、市が主催する研修の3つから研修計画を立案しています。法人本部の研修は、勤務経験によりスキルアップがはかれるように計画されています。コロナ禍で多くの事業が中止に追い込まれましたが、今年度は合同行事も再開、自主事業「しめ縄飾りを作ろう」は、地域の方に協力頂き開催しています。国分寺市「放課後子どもプラン」の事業と連携したり学校と相互に児童の情報を共有したり、子ども達の育ちを広い視点で支援しています。

第三者評価を受審した**全施設にて**  
当該項目の評価  
**S 達成**  
(Sが最上級評価となります)

※4点満点

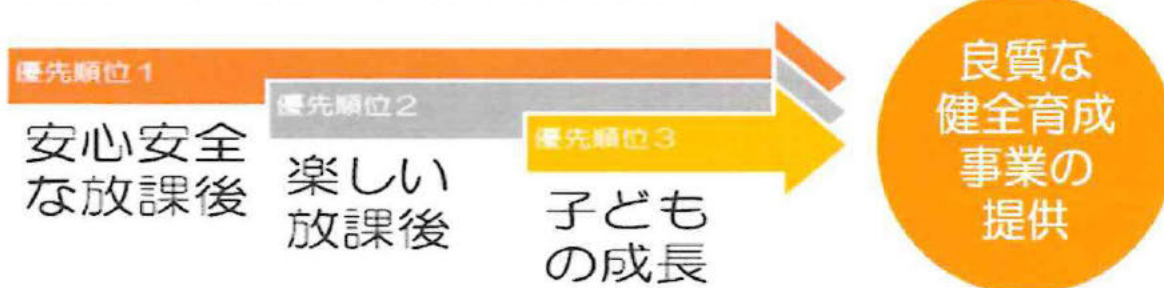


## ■施設利用の促進方策

### 効果的運営を実現する3つの提供価値

児童の健全育成における3つの提供価値と優先順位は

- ① **安心安全な放課後** ② **楽しい放課後** ③ **子どもの成長**の順で考えております。「放課後児童クラブ運営指針」に基づき、子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を保障し、安全に過ごせる場といたします。また、**子どもの発達過程や家庭環境などを考慮**して育成を行い、育成の質の向上、施設の機能の充実に努めます。



### 利用者主体のフレキシブルな運営

- ① **利用者の声を集める**  
利用者アンケートや**こどもご意見箱**、職員に直接届いた生の声をしっかり記録として保管しています。
- ② **実現可能な具体策を練り上げる**  
集めた意見・要望は、朝礼や職員会議にて全職員で共有します。すぐに実行できそうなものは迅速に企画に反映します。実現が難しいものは、企画ミーティングなどの際に活用するなど潜在ニーズを探る材料とします。
- ③ **利用者と共に作り上げる**  
企画段階から子どもたちに参画してもらうことで、子どもの自主性・社会性・創造力を引き出すとともに、結果として利用促進につなげていきます。

### 潜在ニーズに応えるスピード感ある運営改革

- ① **良い取組みを迅速に導入するアジャイル型運営**  
まずやってみる、上手くいかなければすぐにやめる、上手くいけばさらにブラッシュアップする、といった民間事業者ならではの**フットワークの軽さを最大限活用した運営改革**を行っています。
- ② **好感触なイベントは定例イベント化する**  
高評価を頂いたイベントは単発で終わらせず、継続して実施することで、更に質の良いイベントへとブラッシュアップしていきます。

#### 具体的なイベント事例

- ・夏休み等長期休暇期間中の配食サービス
- ・ごっこ遊びを発展させた仕事体験プログラム
- ・〇〇タイム
- ・レトルトの日                      など



## ■ 本社のバックアップ体制

施設職員のワークライフバランス向上のため、上質な職員の確保に加えて、職責に対する不安やプレッシャーへのケア、結婚・出産等のライフイベント後にも働き続けられる雇用環境作りにも力を入れています。職員の健康状態への配慮、不安や悩みへの相談などを行うことで安定・継続した雇用を実現、また、福利厚生や産休・育休制度も充実しており、多くの職員が制度を利用し職場復帰を果たしております。

### 育休・産休が取得しやすい環境

職員が働きやすい、楽しい、成長していけると考える職場であることが、良い運営を実施していく上で大切であると考えています。職員の定着化を図るため、産休・育休制度を取りやすい環境を整備しており、多くの職員が取得後、職場復帰を果たしています。さらに復帰後は子育てと仕事の両立を図るため、時短制度を設ける、子の看病における急な休みへの対応等、産休・育休取得から復職までをスムーズにすることで職員のワーク・ライフ・バランスを推進しております。

### 有給休暇取得促進や時間外労働時間の削減

職員が有給休暇を取る際には、グループ内の系列施設から応援を要請したり、法人本部で抱えている予備の有資格者が代わりに出勤したり等できるため、積極的な有休消化が可能となっております。また、数多くいる経験ある職員がしっかりと後輩を指導し、時間を効率的に使って残業を極力なくします。また、大きなグループメリットとして、行事等への準備でかかってしまう余計な作業を削る為の膨大なノウハウが蓄積されており、節目で共有することで大幅な業務の効率化に成功しております。

### 全社員が利用できる福利厚生

退職金制度や時短勤務制度、スポーツクラブ優待、東京ディズニーランド優待等の福祉厚生制度を導入しております。また、入社後3年経てば希望者全員が海外研修に参加可能、栄養士は年1回高級料亭や一流レストランでの勉強を兼ねた食事会など楽しさと勉強を兼ねた取組みも多数行っております。それだけでなく、福利厚生として系列園の認証保育所で職員の子どもを優先的に受け入れ、利用料も半額になるという優待制度があり、その職員が職場復帰しやすい環境を整えるなど産休・育休取得から復職までをスムーズにすることで、職員のワーク・ライフ・バランスを推進し、職員が長く働いていける職場づくりを行っています。

職員の定着率  
1施設当たり退職率  
約 **7~8%**

施設長の  
産休・育休  
取得率  
**100%**

予備の有資格者  
**20~30** 名  
の活躍で有休が  
取得しやすい

海外研修の  
研修費用を  
**法人が  
全額負担！**



## 分野におけるスーパーバイザーの派遣・サポート体制

施設長経験が10年以上あるスーパーバイザーが定期的に学童保育所を巡回し、質の維持向上を図るとともに、指導・助言を行うことで運営の改善につなげています。また職員の悩み相談等、心理的なケアを行うことが、職員の定着に非常に効果的です。



## 『確実な継続運営を可能にする』ための3つの要素

### ①強い採用力

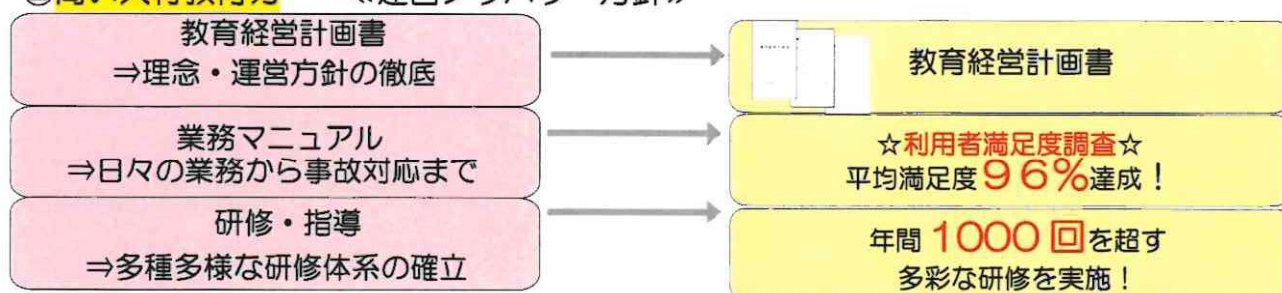
### ②高い人材育成力

### ③強い財務力

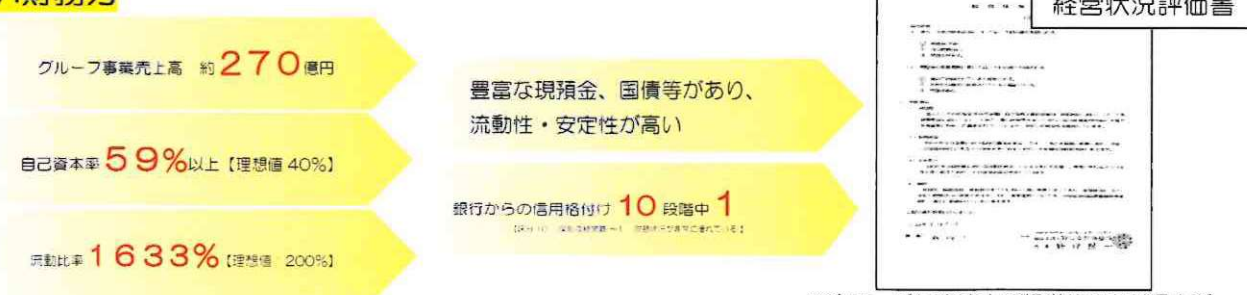
#### ①強い採用力



#### ②高い人材教育力 《運営ノウハウ・方針》



#### ③強い財務力



※次ページに当法人の経営状況を税理士が評価した客観的資料を添付します。

## 3つの要素を重視した運営を実行した結果 当法人運営施設の利用者満足度調査結果





## (8) 受託への熱意・意欲

◆当法人は、国分寺市がこれまで大切にしてきた「子ども一人ひとりを尊重し、地域全体で育ちを支える学童保育」の考え方に深く共感し、市の施策や方針を現場で着実に実行することを使命として事業運営を行ってまいりました。本事業への応募にあたっては、単なる事業受託ではなく、国分寺市の子育て施策を支える一因としての役割を担うという強い責任感と意欲を持っております。

◆国分寺市においては、学校・学童保育所・保護者・地域が相互に連携しながら子どもの育ちを支えることが重要であると考えられており、当法人もこの考えを十分に理解した上で運営を行ってきました。日々の保育・育成支援においては、行政の方針や学校現場の実情を踏まえ、柔軟かつ丁寧な対応を積み重ねることで、子どもや保護者が安心して利用できる環境づくりに努めています。

◆第八小学校とのこれまでの運営を通じて培ってきた連携は、当法人の事業運営の基盤となっています。日常的な情報共有や、子どもの様子に関する細やかな連携を継続することで、学校生活と放課後の生活が途切れることない支援体制を築いてきました。こうした関係性は短期間で形成できるものではなく、長年の積み重ねによって構築されてきたものであり、受託開始後も安定した運営を行ううえで大きな強みであると考えています。

◆当法人では国分寺市や学校の考え方を職員間で共有し、現場全体で共通認識を持って対応することを重視しています。個々の職員の判断に委ねるのではなく、組織として方向性を揃えることで、対応の質や考え方にばらつきが生じないように努めています。これにより、子どもや保護者、学校から見ても安心感のある運営につながっていると受け止めています。

◆職員体制については、継続性を大切にし、子どもや学校との関係性が安定して保たれるよう配慮しています。特に今回は12月開所のため、職員と保護者や学校が日々の関りを通じて信頼関係を深め、子どもが安心して過ごせる環境を維持することが、学童保育所の役割であると考えています。そのため、職員一人ひとりが地域や学校に責任を持って関わる姿勢を大切に、長期的な視点での人材育成にも取り組んでいます。

◆本事業の受託にあたっては、これまで第八小学校と築いてきた連携を活かしつつ、第二・第三西町学童保育所においても、国分寺市・学校・保護者・地域と協力しながら、安定的で質の高い学童保育所運営を継続してまいります。市の方針を理解し、現場で着実に実行できる事業者として、責任と誠意をもって取り組む強い熱意と意欲を有しております。



## (9) 事業運営への独創性

\*団体等でしかできない事業提案



**酷暑の中、外遊びができない狭い学童から、  
広くてずっと遊べるにしまち児童館で過ごす**

令和6年度学童保育所アンケートで「三季休業中のにしまち児童館での保育おこなうこと」についてご意見を集めた取った結果 **100%近い保護者が児童館保育を希望**されています

### 児童館保育のメリット

天候に左右されず  
遊ぶことができる

保護者から**100%近い賛同**をもらっている  
児童館保育。雨でも体を動かして遊べます。

地域の高齢者と  
交流が生まれる

地域の多様なリソースを活かし、館内での**多世代流**に参加ができて地域の見守りの方とも交流できます。

卒所後の放課後の  
過ごし方が分かる

卒所した高学年の放課後を直接自分の目で見ることで、4年生以降の過ごし方を高解像度でイメージできます。

### 休館日に施設利用が利用できる

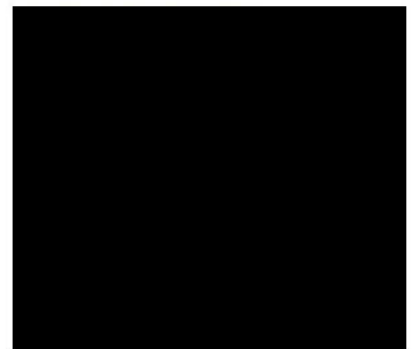
西町学童保育所では長期休業中に職員による手作り昼食のイベントを実施しています。その際には**指定管理者として管理している西町地域センターの調理室を使用**してお昼ご飯を提供しています。現在は職員が調理して提供していますが、今後は地域センターの調理室を使用した子どもたちによるクッキングも取り入れていきたいと考えています。

### 夏の吹き矢体験・年末のしめ縄作り体験

児童館では地域の高齢者の団体との**「しめ縄づくり」**やスポーツ体験として**「スポーツ吹き矢体験」**など、様々な体験ができるイベントを開催しています。地域の見守りの方々とも児童館で顔が見られる場所になっています。

### 乳幼児親子とのふれあい

児童館で実施される乳幼児イベント「ベビーズ」「ベビーマッサージ」や「トコトコキッズ」を見学したり、**時には小学生スタッフ**として乳幼児さんと関わって小さな子への接し方などを体験できます。





## ■西町ワンチーム宣言

現在西町学童保育所ではさまざまな地域の方と関わっていろいろな体験をしています。今後も地域の方や活動団体との関係を継続していき、**西町学童保育所と一体運営**を実施してまいります。

### 顔の見える関係性を維持した人員配置

新設学童を「別学童」とせずエリア全体での保育機能を強化する機会と捉えています。既存の実務を理解した上で職員が新施設の核となる事で、西町学童保育所との緊密な連携が可能となります。**顔の見える関係性が構築されている職員を配置**することで、保護者とのコミュニケーションの質を維持し、地域全体で子どもたちの成長を見守る、途切れのない支援コミュニティを創作します。

### 施設前の道路が危険～注意箇所の見守り～

現在すでに工事に入っている第二第三西町学童保育所ですが建設にあたり工事車両の往来があります。学童に通っている子どもたちには既に行き帰りには十分気を付けるように声掛けをしています。開所後においてはさらに既存の学童との連携が必要になります。**校庭あそびに行く際の誘導は必須**ですし、**怪我対応やトイレの際に道路を渡って学童に戻るには危険が伴います**。そんな時には既存の施設にて**応急手当やトイレができれば**職員も慌てることなく対応可能となります。

### 放課後子どもプランとの連携

第八小学校で行われている放課後子どもプランに参加しています。12月開所の第二第三西町学童保育所は**学校敷地外の学童保育所**ですが、校庭解放やプラン室への利用は**今まで通り**、職員が引率して**遊びの場（校庭解放）に参加**します。また職員は、プラン委員と協力して参加児童の見守りにも協力しています。また、**放課後こどもプランのプラン室の利用も継続**して実施し、職員が参加希望の子どもたちを引率して行き、プラン室の職員とも情報共有を図って利用していきます。

### 地域資源を生かした交流活動

### 地域協力による伝統行事体験

**年末のしめ縄飾り作りを西町学童保育所では恒例行事**として実施しています。学童職員が講師の方からしめ縄の作り方を教わり、葉もいただいています。地域で活動している高齢者団体の西町百寿会の方も一緒にしめ縄教室に参加され、当日の講師も務めてくださっています。

## あやとり名人のあやとり教室

国分寺市内の児童館を回ってあやとりを教えてくれる服部名人が、**西町学童保育所にも月1回来て**くれています。できるあやとりが増えると認定証をもらえるので子どもたちも楽しく参加しています。時にはあやとりだけでなくコマや折り紙も教えてくれる名人は学童でも人気者です。

## 吹矢体験（スポーツ吹き矢）

第八小学校の**登下校の見守りもしている地域の方がスポーツ吹き矢を教えてください**ます。夏休みの児童館保育の期間中にいつもは挨拶だけの地域の方から吹き矢を教わり、ちょっと特別な気分になっている子どもたちと教えてくれる吹き矢の皆さんの笑顔が素敵なイベントです。

## 子どもボランティア推進事業（こどもスタッフ・キッズリーダー）

西町学童保育所においても、子どもたちのボランティア活動として施設周辺の清掃や、玩具や本の片付け等を行うなど、**子どもの自主性・主体性を引き出し地域に貢献する活動**を行っています。令和2年度・令和3年度の東京都児童館等職員研修にて子どもの地域参画推進における取組み事例として取り上げられるなど、非常に高い評価を頂くことができました

こどもスタッフによる地域清掃

## ■保護者へのサポート

### 保護者の負担軽減と食育

#### ①レトルトの日

西町学童保育所において、給食終了してお弁当持参が開始される日等に、ご飯だけ持ってきてもらい、温めたレトルトの具を上からかけてお弁当としています。大き目の容器にご飯だけ持たせれば良いため、**保護者からは負担軽減と好評**で、子どもたちからも温かいお弁当が食べられて好評の企画です。

#### ②ご当地おやつ

現在西町学童保育所で、すでに導入している「ご当地おやつ」を取り入れます。ご当地おやつを取り入れることで、**その地域の事を学習する機会**としていきます

#### ③手作り昼食・手作りおやつ

長期休業中には職員による手作り昼食を実施し、**配達弁当を利用しない保護者にも負担減**になると好評な企画で、西町学童保育所ではすでに実施しています。また月一回の手作りおやつも実施し食育の観点からだけでなく夏には冷たいものを、冬には温かいものを提供し季節を感じられるようにしています。



#### ④グリーンカーテンと収穫

例年学童にあるプランターでゴーヤや豆などを植えてグリーンカーテンを実施しています。子どもたちにも好評で水やりから雑草抜き、実がなってからの収穫まで職員と一緒に育ててきています。第二・第三西町学童でも実施していきます。



#### ⑤補食の提供

保護者の就労時間の多様化に伴い、18時以降まで学童で過ごす児童がいます。長時間在所により、昼食から夕食までの時間が大きく空くケースが多い為、**18時以降まで学童に在所する児童で希望する場合には補食（または軽食）を提供**します。この延長補食については家庭の事情によって必要性が異なること、また夕食はご家族で子どもと一緒に召し上がって頂くことが、子どもにとっても、保護者にとっても大切であるとの考えが基本の為、**夕食に差し支えない量**とします。



##### 【提供方法】

- ・学童施設内で、18:00以降の降所児童に補食を提供
- ・夕食への影響を考慮し、適量・バランスに配慮した軽食
- ・食後の手洗いやごみ処理指導も含めた生活習慣支援の一環として実施

## ■保護者の安心安全

### アレルギー対応に注力している配食サービスの検討



### アレルギー 28 品目に対応した

### 除去食弁当を選択可能

保護者による事前申請に基づき、対象アレルギーの除去を行った弁当を提供します。

保護者が献立を確認したうえで注文できる仕組みを活用し、家庭と連携した対応を図っています。配膳時には、誤配のリスクに十分配慮し、職員によるチェック体制を通じてアレルギー事故の防止を徹底しています。



アレルギー(特定原材料)



アレルギー(特定原材料に準ずるもの)



単なるAEDではなく、

## 小児用AEDの設置を！

子どもの心臓や体は小さく、大人用の高出力は過剰になる可能性があります。小児用の適切な出力により、心筋へのダメージを減らし安全性が向上します。



8割方が取得済！



**AEDだけに頼らない！  
基本となる心肺蘇生を  
身につけさせる**

職員対象に**普通救命講習**を受講することにより、職員のスキルアップを図ります。

## ■子育て相談事業

約12年間運営を続けてきたなかで保護者の皆様からご相談を受ける機会が数多くありました。核家族化が定着した現代において、日常の些細な相談をする場所は少なく、深刻な状態になってから発覚することもあります。子どもの幸せを支えるためには、まず保護者への支援が必要である、そんな想いで子育て相談事業に携わっております。

### 相談事業に関する具体的取組み

- ・立ち話程度のものから事務室での悩み相談、子ども家庭支援センターとの連携が必要な案件まで幅広く対応します。**※開館時間内随時**
- ・相談された内容は、次回の相談時に役立てる他、相談技術を高めるためのケース会議や相談内容全般の傾向を知るための資料として記録をつけます。ただし、プライバシーには十分配慮します。

### 相談を受けるうえで順守すべき5つのポイント

相談事業は、**高い専門性を必要とし、特定個人情報を取り扱うこともあるセンシティブな業務**でもあるため、下記の項目を遵守しております。

#### 受容

- ・相談者の感情や態度をありのまま受容します。

#### 相互信頼

- ・受容を通し、相互信頼の関係を築きます。

#### 個別性

- ・個々の相談の独自性を無視するような画一的対応はとりません。

#### 自己決定

- ・相談者が主体的に問題解決できるよう情報や意見を提供します。

#### 秘密保持

- ・知り得た情報はその秘密を保持します。

年間相談件数

**1000** 件以上

※自治体の家庭相談人の相談を除く



## (10) 施設管理の安全性への配慮

＊有資格者の常駐・施設管理の専門性のある団体等

### ■多様な資格を持つ職員の配置

各施設の管理者はすべて資格を持った者を置き、施設の安全な運営に努めます。

① **施設長は防火管理者の資格を取得、施設管理の安全性を高めます。**

常勤職員だけでなく非常勤職員も消防署による AED の使用方法の講習会に参加し、いざという時に迅速に対応できるようにします。

② 学童保育所の常勤者は基本的に有資格者とし、保育士、幼稚園教員免許、小中高教員免許、児童指導員・放課後児童支援員を配置します。

**にしまち児童館・西町学童保育所の放課後児童支援員資格保有者は 9 名です。**

③ **当法人にはグループ全体で約 100 名の看護師が在籍しており、本社のある所に看護師が在籍しているため、日常的な電話相談はもちろん、本社と西町学童保育所は車で約 5 分ほどの距離とかなり近いので、すぐに関わることができることもできます。また、看護師がいる施設も多数運営しております。**

④ **法人グループ全体で 3,000 名以上の職員が在籍しているため、信頼ある職員を異動させることができます。**

法人の運営理念や保育方針をしっかりと理解した職員を配置することによって配置時すぐに質の高いサービスを提供することが可能です。

#### 多様な資格をもつ多数の職員

児童厚生員：2500 人 保育士：1800 人  
幼稚園教諭：1500 人 栄養士：200 人  
看護師：100 人 小中学校教諭：200 人  
児童福祉施設長経験者：250 人※

(複数資格保有者は別々にカウントしています)

※令和 7 年 4 月現在

### ■日常的な安全管理について

職員が開館前・閉館後に、安全管理チェックシートを用いて施設内を巡回し、設備の目視点検を行い変化や不具合を早期発見します。開館時間帯は巡回しながら下記項目を重点的に確認します。異変を感じた場合はすぐに他職員に情報共有し、チームで対応に当たります。

#### 施設内の安全確認

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| ・ドア・窓・調度品の危険防止措置              | ・備品や工具等の管理           |
| ・階段や廊下の滑り防止措置                 | ・洗剤や薬品等の管理           |
| ・玩具・遊具の破損状況等の点検               | ・柱・棚等の危険な出っ張り・カドへの対処 |
| ・危険が予想される箇所へのサイン表示            | ・地震などの際の転倒防止措置       |
| ・AEDの確認（電池残量のチェック・パットの使用期限確認） |                      |





- ③ 保護者との対応も含め、施設での対応が難しい件については、本部運営担当も積極的にかかわり課題解決に努めます。
- ④ 事故後の関係各者への報告・連絡・謝罪等全体像を確実に把握し、事故原因の特定、課題の抽出等の根本解決に関わり、事件の収束・事故の再発防止に努めます。

約30年間  
重大事故 0 件

西町学童保育所  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて  
「日常業における危機管理」評価 S 達成

V 危機管理	S 3.5	S 3.7	【法令や仕様書を満たしていない点】
①日常業務における危機管理	S 3.7	S 4.0	
③危機管理対策	S 3.3	S 3.7	
④危機管理対応	S 3.3	S 3.7	
⑤個人情報保護	S 3.3	S 3.3	

【中項目の解説】  
換気・消毒・ソーシャルディスタンス等の感染症対策を適切に実施しています。児童館利用登録は、毎年行うことになっており、災害時には、施設の電話番号をキーとして災害伝言板（WE8171）に状況を書き込み保護者と連絡する体制が構築されています。様々な危機を想定したマニュアルを作成し、フローチャートを事務室に掲示しています。特に小児救急対応マニュアルは、詳細に記載されており他施設の参考になります。学童では、小児警察署指導のもと、防犯訓練を実施しています。個人情報の取扱いについては、個人情報保護・情報セキュリティハンドブック（国分寺市）を活用し、常勤は、セルフチェックを年1回実施しています。パート・アルバイトは、業務の中で都度注意喚起をしています。実施等の記録があるとより良いでしょう。

第三者評価を  
受審した全施設にて  
当該項目の評価  
S 達成  
(S が最上級評価となります)

※4点満点



現場を知るからこそ、生まれる安全管理

安全性を重視した帽子

溺死防止機器の導入（安心プールセンサー）

頭部を守る  
衝撃吸収設計



こどもの安心安全の為に  
メーカーと共同開発！



怪我の多くを占める外遊び時のリスクを少しでも軽減するため、当法人とメーカーが頭部を守りつつ蒸れ・暑さを感じない帽子を共同開発。それまではクッションがついているため蒸れ・暑さを感じるが、その欠点を拭うものとなっています。頭部の怪我リスクを大幅に下げ、重大事故防止に役立ってます。

死亡事故で二番目に多いプールでの溺死のリスクを軽減するため、当法人とメーカーがプールセンサーを共同開発。顔の水の浸かりだけでなく体や顔の角度・動きといったあらゆるパターンを網羅したセンサーを備えて溺死を防ぐ物となっています。また、スマートフォンと連動しており、児童に何かしらの危険な行動や状態を検知したら、アラート画面に切り替わりブッシュ通知や連想したサウンド及びバイブレーション機能、警告サイレンによってアラート状態を通知します。



## ■児童の安全管理における取組み

当法人は、数多くの児童福祉施設（保育園・児童館・学童保育所）の設計を手掛けているため、安全面の配慮への強いこだわりと様々な対応事例があります。保育で培った専門性を児童館・学童保育所の運営にも活用いたします。

### 系列施設で取り入れている安全対策例《一部抜粋》



こどもが指を挟まないような独自の安全構造の採用



強化ガラスや飛散防止フィルムを用いた安全な窓やガラス



飛散防止仕様の照明器具



怪我を防ぐために、家具や壁などの角は丸みをもたせた作り



転落防止などに配慮したフェンスや柵など



防犯性の高いナンバー錠を玄関に設置



## 系列施設で取り入れている安全対策例《一部抜粋》



学校 110 番と防災監視盤を導入。異常が検知されるとブザーが鳴るため、事務室の職員がすぐに現場に駆けつけることが可能です。



玄関に防犯カメラを設置  
閉館時の機械警備の導入



食の安全性へのこだわり

**窒息事故が心配される**

**食材の使用禁止**

**放射能対策！**

放射能検査結果が問題ないと確認して食材を購入しています。

食中毒対策に外部専門機関による  
**衛生管理生菌検査実施！**

**全施設で  
減農薬・無農薬米使用**

**パンのイーストフード  
・ 乳化剤不使用**

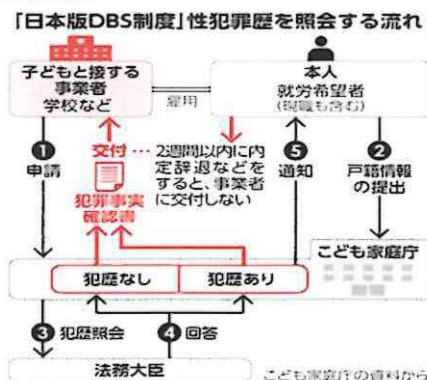
学童保育所はこども達が心身両面で大きく成長する長い期間を過ごす場所です。その為、私たちは栄養面、衛生面、安全面において安心・安全なおやつを提供し、おやつを通してこどもの心の成長面も支える責務があることを心しています。

新規開設の施設などには、経験のある栄養士が巡回し指導を行っています  
また年に数回「栄養士会」を法人全体で行い、情報共有と知識向上に繋げています

## 日本版DBS制度の活用

子どもに関わる職業に就く人の性犯罪歴などを確認する制度です。性犯罪などの前歴者が教育・保育・福祉などの現場で再び子どもと接することを防ぎ、保護者が安心して子どもを預けられる環境をつくれます。

また、入社後に弊社スーパーバイザーや系列施設長による面談を兼ねた継続的なスクリーニングを行っています。その中で、職員の不適切な行動の有無を確認する仕組みがあり、小児性愛や虐待などに関する事象を未然に防ぎ、排除する仕組みとして運用しています。



## ■定期的な安全管理について

### 職員間の情報共有と定期的なコミュニケーション

全ての職員が普段から情報交換や意見交換を行える環境を整えます。原則として毎日定時にミーティングを行い、自施設や他施設のヒヤリハット事例等に関する情報や対応策を職員全員で共有してから業務にあたります。

### 安全管理マニュアルの整備

利用者・子どもの安全を第一とし、安全管理マニュアル等に従い、以下の点を重視した運営を行います。



安全管理マニュアル

### ヒヤリハットと利用者の声の反映

施設で起きた未遂ケースはすぐに全職員に共有し、注意喚起と改善を進めます。

### 本部スーパーバイザーによる巡回

本部スーパーバイザーが施設を巡回し、助言指導を行い、運営の品質向上に努めております。巡回時には定期的に面談やキャリアデザインミーティングを実施し、必要に応じてメンタルケアを行います。

### 毎月の避難訓練を実施

子どもと職員の保全が第一に優先されて安全かつ迅速に避難できるよう各担当を事前に決め、定期的に訓練を実施します。

下記訓練を基本としますが、状況等により実施回数等を増やすなどして万全の備えをします。

**通常避難訓練＝毎月1回以上** **総合避難訓練＝年1回以上**を基本とします。



## ■ 日常の衛生管理について

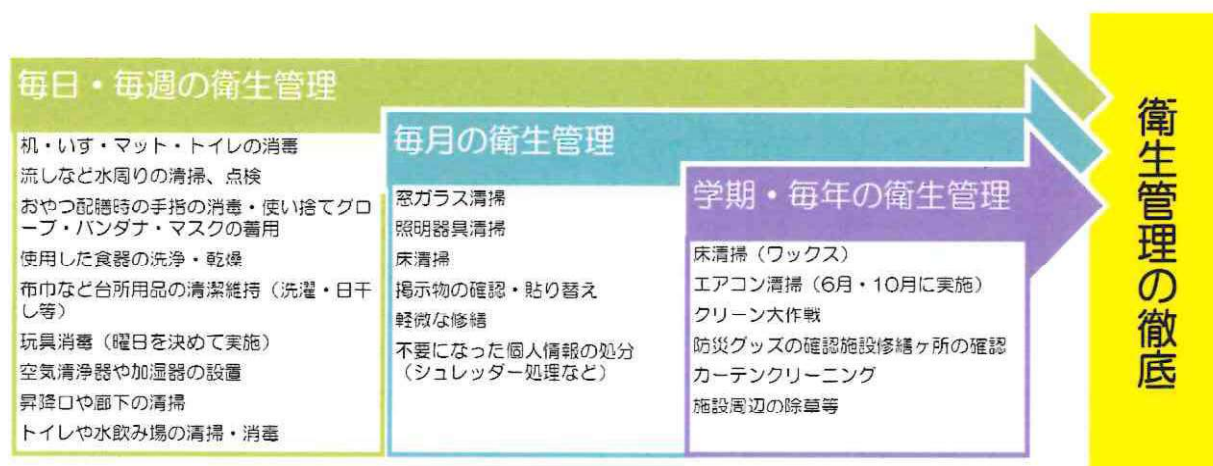
日頃から環境整備に努め、常に施設全体を健全な衛生状態に保ちます。子どもたちが日々生活する環境を清潔にするために、下記取組みを実行することで快適に活動できる場所を維持します。

### 定期的な衛生管理計画

毎日行う清掃と定期的に行う清掃に分け、清掃や点検のやり残しがないよう、計画的に実行することで無理・無駄のない効果的な衛生管理を実現します。

玩具や遊具は曜日を決め、定期的に消毒・洗浄をして十分な衛生を保ちます。

玩具は受付にて貸し出し、使用し返却されるごとに汚損・破損・紛失等がないか確認を行い、翌日の午前中の子どもたちの登所前に消毒を行います。



### 子どもへの衛生指導

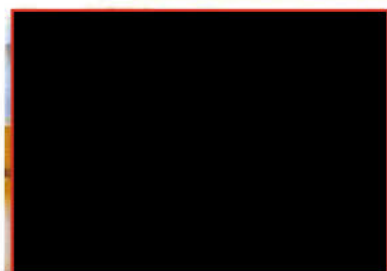
活動の節目や、喫食の前後等に衛生指導を行います。一人ひとりの自主性を大切にするために、基本的には見守り、必要に応じて助言・援助を行います。職員は子どもたちの手本となり、衛生面での基本的な生活習慣を体得できるよう子ども集団の中に入り働きかけることもあります。

また、高学年のこどもボランティアに衛生指導を行ってもらうことで成長のきっかけとするなど、状況に応じて様々な試みを行っております。

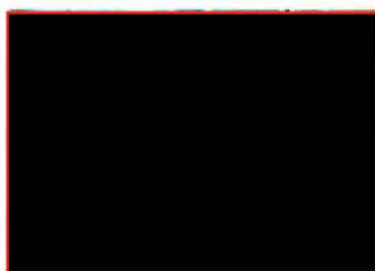
#### 具体例

- ・手洗い・うがい・手指消毒の励行
- ・おやつのごみの片付け・分別の指導
- ・上履き着用・玩具の整理整頓の習慣づけ
- ・雨具（傘・合羽）の管理方法の指導
- ・移動ポケット（ハンカチ・ティッシュ）の携帯の声かけ
- ・マスクの携帯・着用の声掛けと正しい付け方の指導
- ・こどもボランティア活動として、環境整備活動へ参加

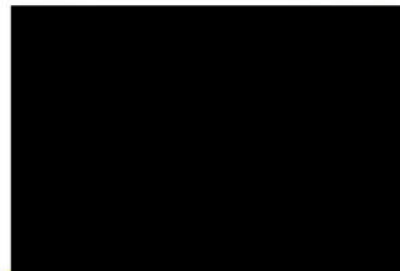
## こどもボランティアによる環境整備活動の取組み



夕方に環境整備の時間を設定し、子どもたちと一緒に整理整頓を行います。



ボランティア活動を通して子どもたち自らが主体的に取り組むことにより、綺麗に使おうという意識が芽生えていきます。



活動の節目には子どもたち同士で手指の消毒を促すなど、生活スキルとして定着しています。

## 環境整備

私たちは**環境整備**という活動を、単なる清掃の域を超えた、「**自らの考えを整え、気づきを養うための重要な取組み**」として特に力を入れています。職員の意識の緩みは、衛生面だけでなく、安全面への不備につながり、結果として怪我や苦情につながります。そのため、日頃から意識的に環境整備を行うことで、単なる清掃の徹底だけでなく、危険箇所の早期発見や施設・設備の不備に関しても早期発見ができると考えます。

### 【清掃以外の重点項目】

#### 環境学習

・環境への配慮やSDGsへの取組みなど、市の方針に留意しながら子どもたちへの環境学習を実施します。

#### 備品の管理・点検

・備品は定期的に数量や破損・汚損の確認を行い、長く活用することで過剰な費用がかからないように管理します。

#### ルールの明確化

・物品の置き場所や使用方法などのルールについて、明確化・可視化し、子どもたちが自主的に管理できるように留意します。

#### 子どもたちへの指導

・持ち物の管理方法や紛失時の対応について手本を交えて伝え、子どもたちが自己管理できるように指導します。



常に整理整頓することで安全を確保し、子どもたちがのびのびと健やかに成長できる環境を整備します。

### 【他施設職員による毎月の環境整備点検】

環境整備を全職員で徹底するために、全ての施設職員に向けて**環境整備研修**を実施しています。また、法人の運営する系列施設職員やスーパーバイザーを派遣して、毎月1回**定期的に見学・点検**するなど、安全でより良い施設環境を維持し続けられる仕組みを作り上げています。

## ■感染症予防対策への取組み

感染症対応マニュアルに則り、手洗い・うがい・消毒といった感染症予防対策を行います。感染症の流行が疑われる場合には、下記の対応をとり、感染拡大を予防します。



## ① 受け入れ時の対応

- ・視診・健康チェック…体調の確認。必要に応じて検温。
- ・手洗い・消毒…手洗い、アルコール消毒後に入室する。
- ・荷物の保管…同じロッカースペースに荷物を置かない。

## ② 玩具・遊具の消毒

- ・玩具や遊具は使用後こまめにアルコール消毒を行う。

# ■熱中症時における対応

昨今の猛暑への対応は子どもたちの命を守る為に重要な課題です。次のような症状が見られた場合、すぐに熱中症を疑い下記に則って対応を開始します。

### 1. 児童の体調不良を確認する

- ・顔が赤い・ぼーっとしている
- ・汗が異常に多い、または出ていない
- ・頭痛・めまい・吐き気・腹痛・倦怠感などの訴え

いずれか一つでも  
確認された場合

### 2. 応急対応をすぐに開始する

- ・直ちに児童を涼しい場所へ移動させる。
- ・衣服を緩めて風通しを良くし、体温を下げる。
- ・水分補給を促す（自力で飲める場合のみ）。
- ・首・脇・足の付け根を冷却（保冷剤・濡れタオルなど使用）。
- ・複数の職員で連携し、1人は児童のケア、1人は記録・保護者対応を担当する。

児童の症状に応じて下記の表の対応に入る。

【軽度】	【中等度】	【重度】
<input type="checkbox"/> 顔が赤い／軽い頭痛・だるさ 意識ははっきりしていて、水が飲める状態	<input type="checkbox"/> 頭痛・吐き気・ふらつき自力で水分が取れない／ぐったりしている／汗が極端に多いまたは出ていない	<input type="checkbox"/> 意識がもうろうとしている、または反応が鈍い／いらいれん・意識消失・呼吸が浅いなどの重篤な症状
<input type="checkbox"/> 室内で安静にさせ、冷却と水分補給を継続する。	<input type="checkbox"/> 涼しい場所で安静にさせつつ、直ちに保護者に連絡しお迎えを要請する。	<input type="checkbox"/> 直ちに119番へ救急通報を行う。
<input type="checkbox"/> 15～30分ほど経過を観察し、症状が改善傾向にあるか確認する。	<input type="checkbox"/> 自力で水分補給が難しい場合は、無理に飲ませず冷却のみ行う。	<input type="checkbox"/> 同時に保護者へ緊急連絡を行い、搬送先や症状を報告する。
<input type="checkbox"/> 必ず保護者に連絡し、状況説明と今後の対応（お迎えなど）を相談する。	<input type="checkbox"/> 必要に応じて医療機関への受診を促す。	<input type="checkbox"/> 意識確認・呼吸確認を継続し、必要に応じて心肺蘇生等を実施する準備を行う。
<input type="checkbox"/> 職員は定期的に児童の様子を見守りながら記録をつける。	<input type="checkbox"/> 状況に応じて施設長が判断し、救急要請（119番通報）を検討する。	<input type="checkbox"/> 冷却は救急隊到着まで継続。対応経過をすべて記録する。

### 3. 記録・報告対応

対応後は、下記を適切に記録・報告する：

- ・記録表への詳細な記録（時間・症状・処置内容・職員名など）

保護者への文書または口頭による報告

## (11) 利用者への対応状況（接遇・苦情対応）

\*利用者への対応マニュアル・社員教育独自マニュアルの整備（利用者へ平等利用は確保できているか）

### ■職員育成における各種マニュアルの整備



#### 教育経営計画書 ⇒ 理念・運営方針の徹底

当法人では「教育経営計画書」を作成し、法人の理念や運営方針を理解し、実践の場に活用できるよう、入社前の内定者・新規入社研修等で説明するとともに、入社後も昼礼・終礼時等に読み合わせを行い、全職員に徹底して落とし込みます。また1年目・2年目といった階層別研修でも内容の確認を行い、各施設でも読み合わせをするなど、継続して共有の徹底を行っております。

運営理念や子どもや保護者に対する方針はもちろんのこと、「組織に対して」「運営に対して」「職員に対して」「仕事における基本的考え方」など、施設を運営していく上で、一社会人として仕事をしていく上で欠かすことの出来ない全ての考え方や心構えについて網羅しております。

さらに、こまかな業務内容についてのマニュアルを全職員に配布し、施設責任者が指導することでしっかりと身につけていきます。



教育経営計画書



#### 平等利用を確保するためのマニュアル一覧

- ・国分寺市学童業務マニュアル
- ・放課後児童クラブ運営指針
- ・児童館ガイドライン
- ・法人作成マニュアル（接遇・苦情対応など）

#### 職員の接遇能力の向上

入社前に、社会人としての基礎知識を学ぶ入社研修を実施、入社後にも ANA 講師による接遇マナー研修を実施するなど、接遇に関する研修を複数実施することで、指導員である前に社会人として立派な人材を育てるため、各種研修を行っています。

#### 対話を重視した指導育成

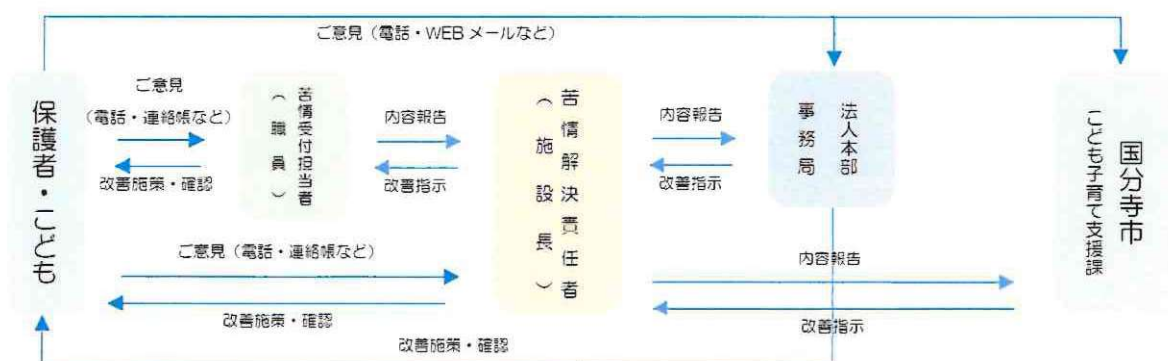
接遇に関する研修のみならず、現場ではその場その場に応じた臨機応変な対応も求められます。そのため、施設内 OJT による指導や職場を離れた off-JT、個別ケース事例検討会の実施といった取り組みを行っています。また、子どもとの対話は大人との対話と違ったコミュニケーションスキルが求められますので、児童期の発達過程や児童心理を考慮し、子どもに寄り添った対話法を指導していきます。さらに、保護者対応については実際の苦情を事例に事例検討勉強会を実施し、現場責任者や先輩指導員とのロールプレイング研修等実践的な研修を、職責や経験年数に応じて効果的に実施することで、業務の中で最も大切な気づく力と伝える力（コミュニケーション能力）を磨いていきます。



## ■苦情対応について

苦情・ご意見・ご要望を頂いた際は、私たちの気づかないこと、改善すべきことという認識のもと、より良い運営とサービスの提供を目指して、またクレームが大きなものにならないように、**時間を置かず、受けたらすぐに対応**します。既存事業での経験を活かして、頂いた苦情・ご意見・ご要望の適切な解決に努めます。施設に寄せられた様々な課題の解決に、全職員と本社が一丸となって取り組み、一層の運営の質の向上やサービスの向上に努めます。

初期対応の留意事項として、クレームの拡大、**二次クレームを防止**するため下記フローに沿って、**迅速な初動対応**を行います。



### 苦情処理後の対応

苦情・クレームはその場で処理して終了ではなく、その後施設内で会議等を設け、改善案を検討し、発生から結果までのプロセスを苦情報告書として情報共有することにより、再発を防止し、より良い運営に役立てます。法人の運営全体に関わるものなどは、プライバシーを配慮した上で HP 上にて内容を公表します。

### 不満が顕在化する前の意見・要望をくみ取り

「子どもがお世話になっているからなかなか苦情が言えない」これが保護者の本音です。当法人ではこうしたなかなか表に出てきにくい**保護者の声を左記図のように様々な手法で苦情をいち早く汲み取ります**。施設運営の見直し・改善に役立てていきます。また、以後同様のご意見を頂かないように系列施設内でも情報共有し、改善に向けて法人全体で取り組んでいきます。

※1 **WEB メールも公開し、24 時間ご意見を受付け**ます。

※2 苦情・ご意見・ご要望の受付窓口について保護者に周知し、玄関脇などに連絡先を掲示します。施設に直接言い難いことなどを事務局職員が直接対応します。

### ☆利用者満足度調査☆

【要望に対し素早く  
対応してくれた】

平均満足度

**96.5%**

達成！



利用者からの意見  
苦情受付ツール

## ■保護者アンケートの実施

施設運営の見直し・改善に役立てていきます。その意見を運営に反映、結果を保護者に公表することで更なる施設運営の見直しに活用しております。アンケート利用者の満足度を把握するためにアンケートを実施します。アンケート結果に基づき、管理業務や事業等の改善に活かすとともに、速やかに国分寺市に提出します。また、アンケートは期間を決めて計画的に実施し、無記名とするなど出来るだけ回答への抵抗をなくし、率直な意見と高い回収率を得られるような創意工夫をしております。

「利用者満足度調査」  
にて全施設の内  
1 / 3 強の施設で  
**満足度**  
**100%** 達成  
(平均利用者 満足度 **95%** 達成)

※第三者評価とは公正・中立な外部評価専門機関による客観的な分析と利用者調査から福祉施設を評価したもの

西町学童保育所  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて  
「利用者サービスの向上」評価 **S** 達成

第三者評価を  
受審した**全施設にて**  
当該項目の評価  
**S** 達成  
(Sが最上級評価となります)

項目	評価	スコア	評価	スコア	【法令や仕様書を満たしていない点】
① 利用者サービスの向上	S	3.5	S	3.5	なし
② 子どもの対応	S	3.3	S	4.0	
③ 子どもの安全安心	S	3.7	S	4.0	
④ 利用者の声の把握・感情対応	S	3.3	S	3.7	
⑤ 情報共有	S	3.7	S	4.0	

【中項目の概評】  
本施設は、複合施設のため乳幼児から高齢者まで幅広い年代の利用者がいますが、それぞれに親しみと礼節をもった言葉遣いや挨拶で対応しています。聴覚障がいをお持ちの団体さんの定期的な利用にはご不便がないよう適切に対応しています。児童館・学童ともに子ども達の性格や様子をよく把握し、声かけをしています。児童館では、工作が自由にできるように空き箱や牛乳パックを常に用意したり、子ども達から要望の多いカードゲーム、卓球大会やおばけ屋敷等の事業を実施したりと、子ども達の自発的な遊びの要望を十分反映させています。また成人した元利用者がボランティアとして参加し子ども達の遊びを支援しています。市内には直営の児童館もあり、合同企画事業もあります。マニュアル等の検討委員会もあり連携を密にしています。

※4点満点



## (12) 社員等の育成状況

※研修の実施状況等

### ■職員の指導育成

職員育成における理念、育成方針

「もっと自分を磨きたい」 その自己研鑽への意識を尊重する。

「先生」として仕事に向き合う姿勢を教える。

当法人は知識と同時に、**仕事に対する取り組み方・姿勢の教育**に重点を置いております。「先生」と呼ばれる仕事につく人は、**自ら学ぶという意識が非常に大切**であることをしっかりと伝えていきます。知識・技術を身につけるよりも、考え方・仕事に向き合う姿勢・自己研鑽への意識を尊重し、定着させることで、職員の資質向上を図ります。

職員が選ぶ  
働きやすい法人  
業界大手法人の中で  
満足度

第 1 位

※東京都公表の第三者  
評価に基づく調査

実施する研修についての考え方

「仲間」とともに学び切磋琢磨することで、  
成長を実感し喜びあえる機会を提供する。

職位に応じた階層別の研修や、経験年数に応じた研修に参加し、法人内の同じ立場の支援員・同じ年代の支援員同士が情報を共有したり、つながりを作ったりすることで、研修内容の定着とともに、**職員の意識向上**を図ります。

新卒者対象宿泊研修

新しい知識・技術・情報を得るための研修（外部研修）費用を法人が全額負担する。

法人側から研修を設定するだけでなく、職員が受けたい研修があれば、その費用を法人が全額負担し、職員の自己啓発を最大限サポートしております（**常勤・非常勤問わず**）。

研修後は報告会やレポートにより、**情報を共有化し、実践**によって**知識の定着**を図ります。その後、現場での実践、利用者などの評価をもとに改善を図り、施設の運営力向上に役立てます。

西町学童保育所

認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて

「人員体制・研修」評価 **S** 達成

II 施設運営	S	3.6	S	3.8	【法令や仕様書を満たしていない点】
事業者					なし
評価機関					
①施設運営業務 その1	S	3.7	S	3.7	
②施設運営業務 その2	S	3.7	S	3.7	
③人員体制・研修	S	3.7	S	3.7	
④事業・イベント	S	3.7	S	3.7	
⑤他機関との連携	S	3.3	S	3.7	

【中項目の総評】朝礼、終礼を毎日実施し、申し送りノートと電話受領簿を情報共有ツールとしています。電話受領簿は館長の押印で対応の有無を確認できます。ご意見箱やおやつリクエストポスト、職員の顔触れにより子どもの声を収集し、運営に反映しています。学童・児童館ともに全員参加の事業費を一定額確保した後、子どもの意見や様子から新たな事業や遊びを生み出す支援をしています。子どもの権利を保障し、豊かな遊びと学びを創出している取組みは、他施設の参考になります。施設長は、各職員のビジョンを聞き取り職務上の成果を協議する「成長ミーティング」実施し、職員の質の向上を図っています。かなぐるまの会（園分寺第4小学校の親父の会第5の会）やおはなしのくにビッツ（読み聞かせボランティアグループ）等、地域のボランティアグループと連携しています。

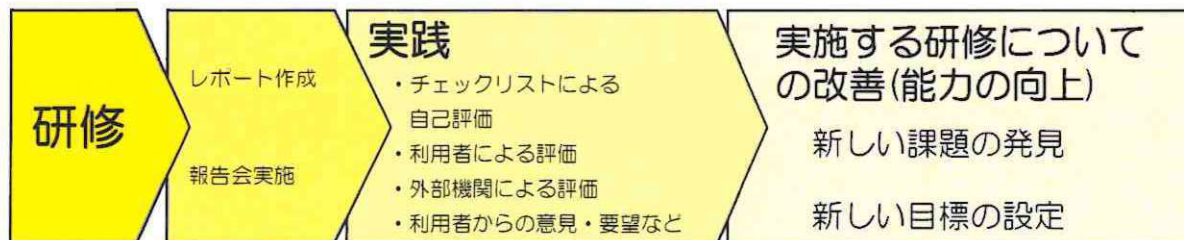
第三者評価を  
受審した全施設にて  
当該項目の評価  
**S** 達成  
(Sが最上級評価となります)

※4点満点



## 年間研修計画の策定 ⇒ 多種多様な研修体系の確立

当法人には教育・研修部門があり、経営陣ならびに運営本部や**現場のニーズの要望を集約した年間研修計画**を作成しております。前年度の反省も活かし、前年度末までにはブラッシュアップした研修計画をまとめます。また、職員が研修を受ける際には、グループ内の系列施設から応援を要請したり、法人本部で抱えている予備の有資格者が代わりに出勤したり等が可能なため、積極的な研修の受講が可能となっております。



### 研修内容・特徴

- ・入社時研修、新卒、2年目、若手、主任・リーダー等の職位に合わせた研修
- ・接遇マナー研修、環境整備研修、コミュニケーションスキル研修等の基礎研修
- ・アレルギー研修、応急救護研修、個人情報保護研修、虐待防止研修等の分野別研修
- ・法人本部スーパーバイザーが施設に出向いて直接指導する「**巡回指導研修**」
- ・放課後児童支援員研修、児童厚生員研修等の資格取得研修
- ・施設長・リーダーの人材管理、マネジメント能力向上のための「**施設長大学校**」
- ・**外部講師を招いた特別講義**の実施
- ・他施設での勤務や、他施設職員との情報交換を行う人事交流制度「マナビ」
- ・施設長による施設内勉強会・OJT研修で「教育経営計画書」の内容を深く理解
- ・職員が、**100種類以上の豊富な講座の中から選べる、受けたときに受講できる研修システム**（※オンデマンド・オンライン研修）を導入
- ・中途入社の方勤職員への研修（「教育経営計画書」を用いた基本的考え方の研修）

※状況に応じて内容は変更することがあります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
法人研修 (施設に合わせた研修)	新卒施設研修	施設長研修	施設長研修	施設長研修		施設長研修	施設長研修	施設長研修	施設長研修	施設長研修	施設長研修	施設長研修
	主任・リーダー研修	主任・リーダー研修	主任・リーダー研修	主任・リーダー研修								
			若手職員研修						若手職員研修			
				若手職員研修					若手職員研修			
			施設入社研修					中途入社研修				中途入社研修
									若手若手研修	若手若手研修	若手若手研修	若手若手研修
法人研修 (就業現場に合わせた研修)	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校	施設長大学校
	メンター研修	メンター研修	メンター研修		メンター研修	メンター研修	メンター研修					メンター研修
自主研修 (法人主催)	環境整備研修	環境整備研修	環境整備研修	環境整備研修				環境整備研修				
	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修	オンデマンド オンライン研修
	講師による講義	講師による講義	講師による講義	講師による講義	講師による講義	講師による講義	講師による講義					
	保育士研修	保育士研修	保育士研修	保育士研修	保育士研修	保育士研修	保育士研修	保育士研修				
施設内研修 (施設長主催)		施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修
		施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修
それ以外の研修		施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修
		施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修	施設内研修

年間 **1,000** 回を超す  
多彩な研修を実施！

会社から提供する研修以外にも研修費用を  
**会社が全額負担し、**  
希望する研修に参加することが可能



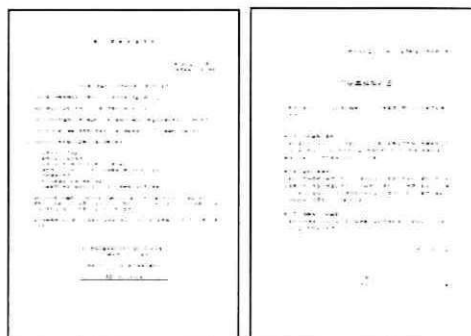
## (13) 個人情報保護対策状況（情報の管理体制）

### ■個人情報の管理について

インターネットの普及による個人情報の利用機会の拡大と、それに伴うリスクによるトラブルの可能性が飛躍的に高まっていることを認識し、個人情報の管理・取り扱いについては毎年研修に参加するなど知識のアップデートに鋭意努めております。

#### 規定の整備

- ・個人情報保護に関する方針を館内に掲示し、利用者へ対応を周知します。
- ・個人情報保護規定の整備：職員への周知として、上記方針のほか、規定を整備することで個人情報保護に対する認識を高めます。



#### 具体的な個人情報保護に関する取組み

個人情報保護方針 守秘義務契約書

施設における個人情報保護対策については、下記の通り①**人的安全管理措置**、②**物理的安全管理措置**、③**技術的安全管理措置**の3つの観点を中心に、適切な管理に努めてまいります。

#### ① 人的安全管理措置

- ・施設責任者を管理責任者とし、常勤職員を取扱い担当者とします。従業員の雇用または個人情報の預託を伴う委託契約時には、**守秘義務契約を締結**するとともに、一部業務を再委託する場合においても、再委託先との間で守秘義務契約を実施し、個人情報保護に努めてまいります。さらに、従業員に対して、**定期的に個人情報保護に関する教育を実施**します。
- ・業務中の名簿・児童票などが**机上に放置されていないか**、職員同士の会話（朝礼・昼礼）、送迎時や電話対応時の**口頭情報の取り扱いにも厳重に対応**しています。

#### ② 物理的安全管理措置

- ・個人情報の入った書類・PC等は、**鍵のかかる箇所に保管するなどして厳重に管理**し、保管期限が過ぎたもの、必要なくなったものは、施設でシュレッダーにかけ処分します。
- ・日常における相談などを受けた際は、個人のノート等ではなく、相談記録ノートに記入し、施設で保管します。
- ・個人情報の記載されている書類については原則持ち出し禁止、必要な際は施設責任者が統括管理責任者に許可を得て持ち出すようにします。但し持ち出しは当日のみとします。
- ・外部からの不正なアクセス等の危険に対して、適切かつ合理的なレベルの安全対策を実施します。
- ・**個人情報のデータを管理するPCはインターネット等外部との接続はしません。**

### ③ 技術的安全管理措置

- ・写真・動画を取る際は使用目的を明確にし、保護者の同意をもらう事とします。
- ・SNS・HPなどへの掲載の際は**複数名での確認**を行い、**個人が特定されることのないよう十分配慮**します。
- ・USBメモリ等の記録媒体はパスワードをかけられるものを使用します。
- ・使用した際には、その日のうちに**データをPCに移行し、記録媒体から消去**します。

### 個人情報漏えいした場合

万一、個人情報の紛失や漏えい等の事案が発生した場合には、速やかに本部内で事実確認を行い、国分寺市への報告、保護者への説明、再発防止策の実施までを一連の対応として迅速かつ誠実にを行います。対応内容は必ず記録として残し、組織内で共有することで、同様の事案を繰り返さない体制づくりに活かします。これらの取り組みを通じて、個人情報を特定の職員や一部の判断に委ねることなく、組織として管理・運用する仕組みを確立し、利用者・保護者・地域・国分寺市から信頼される施設運営を実現します。

#### 西町学童保育所

認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて

「個人情報保護」評価 **S** 達成

第三者評価を  
受審した**全施設にて**  
当該項目の評価  
**S 達成**

(Sが最上級評価となります)

V 危機管理	S 3.5	S 3.7	【法令や様子を満たしていない点】
	指定管理者	評価機関	なし
①日常業務における危機管理	S 3.7	S 4.0	
②緊急時に備えた準備	S 3.7	S 3.7	
③危機管理対策	S 3.3	S 3.7	
④危機管理対応	S 3	S 3.7	
⑤個人情報保護	S 3.3	S 3	

【中項目の解説】  
換気・消毒・ソーシャルディスタンス等の感染症対策を適切に実施しています。児童館利用登録簿は、毎年行うことになっており、災害時には、施設の電話番号をキーとして災害伝言板（WEB171）に状況を書き込み保護者と連携する体制が構築されています。様々な危機を想定したマニュアルを作成し、フローチャートを事務室に掲示しています。特に小児救急対応マニュアルは、詳細に記載されており他施設の参考になります。学童では、小金井警察署指導のもと、防犯訓練を実施しています。個人情報の取扱いについては、個人情報保護・情報セキュリティハンドブック（国分寺市）を活用し、常勤は、セルフチェックを年1回実施しています。パート・アルバイトは、業務の中で都度注意喚起をしています。実施等の記録があるとより良いでしょう。

※4点満点



## (14) 自主事業などの提案

\*施設の設置目的に沿って団体が独自に企画し、自己の財源で行う事業

※自主事業収支計算書(書式任意)を提出してください。 ← 別紙記載



### ニーズ直結の朝型支援

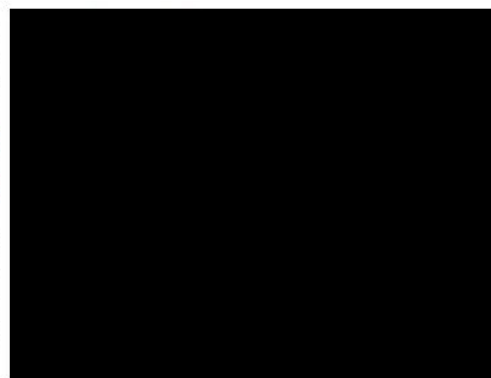
#### 7時30分開所の実現

令和6年度のアンケート調査で浮き彫りとなった「**現状の8時開所への不満**」を解消するため、長期休業中の早朝ニーズに特化した体制を構築します。保護者の皆様の出勤時間に即応します。現在**15人近くの児童が朝7時50分には施設前にいる**ため学校内の西町学童保育所を開所することで道路を渡る心配もなく、仕事と育児の両立を阻む地域課題を直接的かつ強力に解決します。

### ■ 1人～2人の学童より

お友だちがいっぱい来る児童館の方が楽しい！！

西町学童保育所で、**少人数しか登所しない土曜日**の保育をにしまち児童館で一日保育を実施しています。令和6年度のアンケート調査においても**9割り近い保護者から支持**をいただいております、「**児童館との緊密な連携による土曜保育**」を継続・発展させます。異年齢児との活発な交流や、児童館ならではの広々とした充実した環境をで過ごすことで、子どもの好奇心を育むとともに、安心して子どもを預けられる保護者との厚い信頼関係を両立させます。



### ■ 前日注文より当日朝7時まで注文可能な

#### 配食サービス

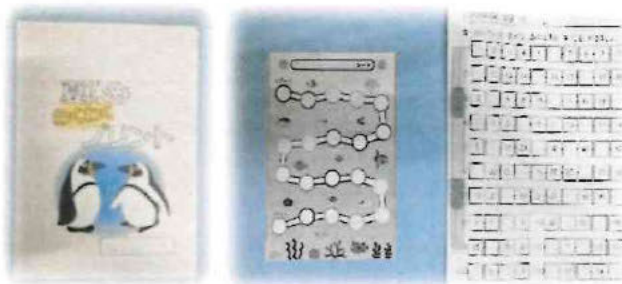
当日の朝7時まで対応可能なオンライン発注システムで、尚且つ**キャッシュレス決済**で、保護者の負担を軽減します。保護者からも朝に発注できると好評です。子どもも食べやすいメニューになっていてお**弁当代を徴収することがない**ので保護者と職員の負担もありません。



## ■体験型学習イベントの拡充

近年、家庭の経済状況により生じているこどもの学校外でのスポーツや文化・芸術活動などの「体験機会」の格差の実態や、物価高騰によるこどもの体験活動への影響等が明らかになり、複数のメディアにも取り上げられています。当法人では、こどもたちに多様な体験機会を提供するために、様々なイベントを実施・企画検討しております。

### 一人ひとりの「できた!」を増やす「成長応援プリント」



こども一人ひとりにファイルを用意し、取り組んだプリントを保管します。100枚達成ごとにレベルアップした教材を提供することで、学習への意欲と関心を高めていくプログラムとなっております。

### 育てる喜びが探求心になる環境学習プログラム



フードロス：食べ残しを減らそう。  
（おやつは残さず食べよう）。  
廃棄物削減：むだ遣いをやめよう。  
ゴミは分別しよう。  
トレーサビリティ：どこで、だれによって  
作られたのか調べてみよう。

## 体験型学習でこども達の体験格差を解消！



## ■JUMP-JAMプロジェクト

**JUMP-JAM**は、日本の子どもたちの運動状況を考慮して開発されたスポーツと自由な遊びを合体させた新しい運動遊びプログラムです。

千葉工業大学創造工学部体育教室 引原有輝 教授監修のもと、児童健全育成推進財団とナイキがスポーツと自由な遊びを融合させた運動遊びプログラムを共同開発※し、東京都内の学童保育所及び児童館で実施しています。**当法人運営の都内系列学童保育所・児童館において、JUMP-JAMプロジェクトを導入**しております。



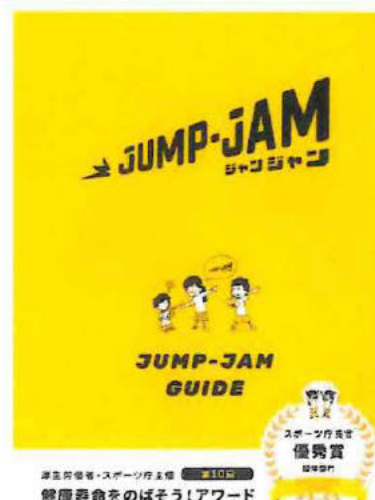
**JUMP-JAM**  
ジャンジャン

スポーツでもない。遊びでもない。  
子どもの可能性を引き出す  
運動遊びプログラム  
ジャンジャン  
**JUMP-JAM**

**JUMP-JAM のスゴいところ**

- CONNECTIONS つながりをつくる
- CONFIDENCE 自信を養う
- CHOICE 選択肢を与える
- CELEBRATION 意図的にほめる
- CONTRIBUTION 貢献できる機会をつくる
- CLEAR & CONCISE 明確で簡潔に説明する

JUMP-JAMについて プログラム内容 登録児童館一覧 ゲームの紹介 パートナー 最新情報 FAQ お問い合わせ



※上記はパンフレットより引用

※厚生労働省・スポーツ庁主催「第10回健康寿命をのばそう!アワード」生活習慣病予防分野  
スポーツ庁長官優秀賞を受賞しています。

## (15) 障害者の雇用状況

\*事業所（団体全体）における障害者雇用率を明記の上、当該施設における障害者雇用の考え方を記載

### ■障害者雇用の状況

法人グループ全体での障害者の雇用率 **2.4%** （令和7年度11月現在）

#### 障がい者雇用に対する基本方針

##### 【趣 旨】

1. 身体障害者雇用について、身体障害者雇用促進法の趣旨に則り、働く意志と能力のある身体障害者に就労の途を開くため、次のとおり基本方針を定める。

##### 【身体障害者を対象とした選考の実施】

2. 働く意志と能力のある身体障害者に就労の途を開くため、身体障害者を対象とした選考を次により実施する。
  - (1)対象者  
対象者は、身体障害者雇用促進法第2条に定める身体障害者とする。なお、各年度の採用職種・人員等は、採用計画に基づいて行う。
  - (2)受験資格  
市内に居住し、自力で通勤が可能でかつ自力で職務遂行が可能なものとする。なお、年齢等他の必要な要件は、職種ごとに別に定める。

##### 【適職の拡大】

3. 適職の拡大を図るため、各職場での理解と協力のもとに、職務内容等の検討を行い、障害者個々の特性にあった職務・職場の確保に努める。

##### 【職場環境の改善】

4. 障害を有する職員の勤務しやすい職場環境を確保するため、必要に応じ施設・設備等の改善に努める。

##### 【職員への啓発】

5. 障害を有する職員を正しく理解し、積極的に援助・協力していく職場環境をつくるため、あらゆる機会を利用し、職員に対し啓発を進める。また、職員は身体障害者雇用の趣旨を正しく理解し、積極的に職場への受け入れに協力するとともに、障害を有する職員の自立への努力に対し、援助・協力を努める。

##### 【外郭団体等への協力要請】

6. この基本方針に準じて、外部団体等関係機関についても身体障害者雇用促進に協力を要請する。



## (16) 高齢者の雇用状況

\*事業所（団体全体）における高齢者(65歳以上)雇用率を明記の上、当該施設における高齢者雇用の考え方を記載

### ■ 高齢者雇用の状況

法人全体での高齢者の雇用率

**6.6%** （令和7年度の実績）

**200名 6.6%**

**（令和7年度の実績）**

#### 高齢者雇用に対する基本方針

##### 【趣 旨】

1. 高齢者雇用に関しては、高齢者雇用安定法の改正を受け、65歳未満の希望者の雇用継続に努めるとともに働く意志と能力のある高齢者に就労の途を開くため、次のとおり基本方針を定める。

##### 【雇用における考え方】

2. 働く意志と能力のある高齢者に就労の途を開くため、60歳で定年を迎えた後も、就業規則に則り希望者の65歳までの継続雇用を図る。  
体力的な部分では若年層に及ばなくても知識・経験において優れている人材も多数いるため、引き続き60歳以上の採用についても行っていく。

##### 【適職の拡大】

3. 適職の拡大を図るため、各職場での理解と協力のもとに、職務内容等の検討を行い、高齢者個々の特性にあった職務・職場の確保に努める。

##### 【職場環境の整備】

4. 勤務しやすい職場環境を確保するため、必要に応じ施設・設備等の改善に努める。

##### 【職員への啓発】

5. 社会を支える全員参加型社会の実現が求められていることを考慮し、健康で働く意思・意欲のある高齢者を積極的に雇用していく職場環境をつくるため、あらゆる機会を利用し、職員に対し啓発を進める。また、職員は高齢者雇用安定法の趣旨を正しく理解し、積極的に職場への受け入れに協力するとともに、援助・協力を努める。

#### 採用を計画的に進めるための具体的な取り組み

##### ① 健康を維持する為のサポート体制

福利厚生の一環としてスポーツクラブとの提携をしており、健康増進及び維持に対するサポート体制を整えています。

##### ② 本部のスーパーバイザーによる定期的な面談の実施

直接話を聞くことによるメンタルケアに力を入れています。離職の原因として最も多いと言われているのが、人間関係や悩みを相談できる相手がいないことが挙げられます。**防止策として最も重要なことは、職場の環境設定・人間関係だと考えられます。**職員の人間関係やモチベーションを向上・維持していくためにはまずは何よりもコミュニケーションが大切です。各施設で職員旅行や勤務後の交流会、施設長による個人面談等を行い、日々コミュニケーションを促進していきます。また、法人内に指導員・施設長経験のある、スーパーバイザーが複数所属しており、定期的に巡回することや、職員と面談することで、悩み事や不満を受け止め解消しています。

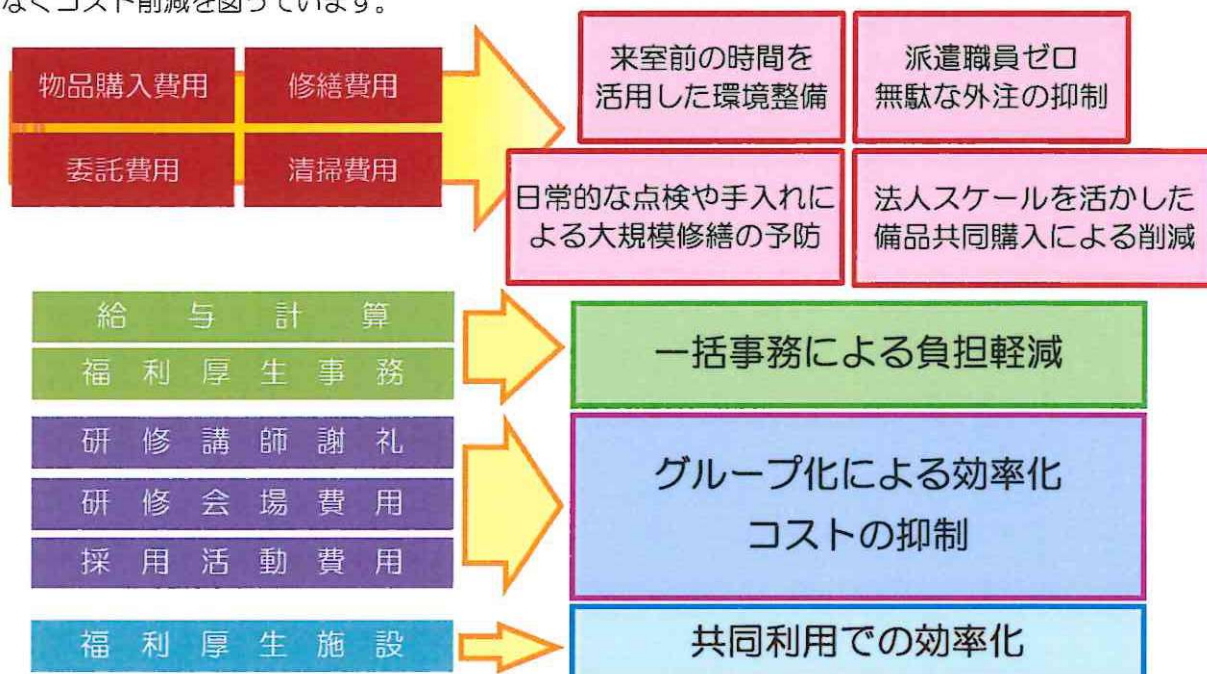


## (17) 管理運営に必要な提案金額

＊詳細の金額については別紙収支計算書に記載し、ここには金額のもととなる考え方やポイントを記載

### ■経費の縮減方法について

業務にかかる費用を効果的に縮減し、必要な部分に効率よく配分することにより、運営の質を落とすことなくコスト削減を図っています。



**当法人のスケールメリットを活かした  
経費の縮減が可能です！！**

### ■経費増加予防について（環境整備実行計画の策定）

当法人では、「施設が傷んでから治す・また作り変える」ではなく、「痛む前に直して出来る限り長期間使用する」ために、環境整備実行計画の中に、維持管理に関する項目を追加していくことで、予防保全的な取り組みを導入していきます。



#### 月単位で実施

- ・窓ガラス清掃・照明器具清掃
- ・床清掃・掲示物の確認・貼り替え
- ・軽微な修繕
- ・不要になった個人情報の処分（シュレッダー処理など）

#### 学期単位で実施

- ・エアコン清掃
- ・クリーン大作戦
- ・防災グッズの確認

#### 年単位で実施

- ・施設修繕ヶ所の確認
- ・施設周辺の除草等



## (18) 環境への配慮

※事業所における省エネルギー、省資源、廃棄物削減、グリーン購入の推進等への取り組み状況

### ■当法人で実施している具体的な取り組み状況

第二次国分寺市総合ビジョン等、その他法令に則り、環境に配慮した施設・事業運営に努めます。

#### 省エネルギーに関する取り組み

##### ① 環境学習への取り組み 《SDGs12 つくる責任 つかう責任》

子どもたちと、“生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう”という目標のもと、環境について学んでいます。

##### 具体的な学びと取り組み

- ・フードロス…食べ残しを減らそう（おやつは残さず食べよう）。
- ・廃棄物削減…むだ遣いをやめよう。ゴミは分別しよう。
- ・野菜の栽培…プランターで野菜を育ててみよう。
- ・トレーサビリティ…どこで、だれによって作られたのか調べてみよう。



##### ② 自然（エコ）エネルギーの推進

保育園では園舎にソーラーパネルを設置し、太陽光発電を行うことで、積極的にエコエネルギーの活用を推進しております。また、子どもたちが発電した電力を確認できるような位置にメーターを取り付けてあり、保育のなかの環境教育としても取り組んでいます。

##### ③ 消費電力の軽減

施設巡回時に、使用していない部屋の照明OFF、夏場・冬場のエアコンの稼働状況確認・温度の調節など、こまめに確認し節電に取り組んでおります。

#### 省資源に関する取り組み

##### ① 勤怠管理・入出金管理・日誌・業務報告等の電子化による紙の削減

日常における、施設⇄本社間の情報伝達や給与明細など、今まで紙ベースで処理していた業務を電子化することで、かなりの量の紙の削減を実現しました。さらに現在紙ベースの書類についても、使用できるものは裏紙に使用するなど、資源を大切にしている試みを行っております。

##### ② リサイクル工作

おやつ空き容器や段ボール、利用者の方から寄付で頂いたものを素材としたリサイクル工作を行っています。材料となる洋服等は、生地・ボタン・レース・スパンコールなどに解体して工作の材料にするのですが、子どもたちが解体の作業を手伝ってくれることもあります。素材から物を作る行程を、物を材へと戻す行程の中で学んでいます。



#### 廃棄物削減に関する取り組み

##### ① ゴミを小さく〜ふくろおり〜

学童保育所において、日々のおやつ提供の際にできるゴミを削減する取組として、包装紙を小さくして身近な生活の中で環境問題への取組としています。

##### ② 遊具・玩具の修繕

一輪車やパズル玩具など、子どもに人気のある遊具・玩具は稼働率が高く、パーツが劣化・破損・紛失することが度々あります。再購入した際、古い玩具は廃棄せずパーツとして保管しておくことで、過剰な出費を抑え、廃棄物削減にもつながります。児童館の「おもちゃ病院」も活用しています。



## グリーン購入に関する取組み

環境保全のため、コピー用紙等にグリーン商品を使用するなど、環境に配慮した商品を積極的に使用します。また、**国分寺市グリーン購入基本方針及び国分寺市グリーン購入ガイドラインに基づき事務消耗品等の購入にも配慮**しています。引続き職員会議でも全体に周知し、意識を高めると共に、日々改善に努めてまいります。

## 遊びで学ぶSDGs

既に西町学童保育所において、普段の身のまわりで使っているものや、食べ物などか SDGs 等について考えることのできる遊びやゲームを取り入れ、一人一人が環境について考える機会を作っています。新しい第二第三学童保育所において同様の遊びを取り入れていきます。



## (19) 地域雇用の状況

\*当該施設における市内在住者の雇用について、現状及びこれからの計画

### ■市民の雇用について

当法人の代表は国分寺市の市民であり、国分寺に当法人を設立し、市内に複数の保育所を設置運営してまいりました。また、長年にわたり地域に密着した子育て支援を行ってまいりました。そして**国分寺の地元企業**として、地域貢献のため積極的な国分寺市民の雇用を進めております。西町学童保育所およびにしまち児童館においても、弊社運営の他施設と同様積極的な地域雇用を進めてまいりたいと思います。

### 市民雇用の状況

西町学童保育所及び第二第三西町学童保育所の職員に求める資質、資格の有無、仕事の性質上体力的な部分やその人の持つ知識や特技を考慮した上で、10～70代までの幅広い人材の雇用を行ってまいります。さらに、地域貢献の観点から今後も引き続き積極的に国分寺市民を採用していき、数値目標としては

**当該施設において70%以上の雇用**

をめざしていきたいと考えております。

令和7年度実績

市民雇用約 **111**人



## (20) 災害時の対応

＊地震や火災等の災害が発生した場合の対応

### ■緊急事態への対応

当法人では、以前から緊急事態（地震や台風による大規模災害等）が発生した際、職員及び児童の安全確保に努めながら「**支援の継続・早期再開**」を目的として、**BCP（業務継続計画）を策定**しております。一般企業とは異なり、児童の命を預かる仕事であるため、勤務時間中はもちろん、勤務時間外に警戒宣言の発令・地震の発生が起こった場合でも可能な限り応援に向かい、自身の身を守るとともに、児童の安全確保に努めることを基本方針としています。

#### 業務継続計画におけるポイント

##### ① 『リスクアセスメント』

地域の自然災害(地震や洪水等)のリスクを評価し、事業に対する影響とその発生確率を明確化。

##### ② 『緊急連絡手段の確立』 及び 『保護者への情報提供』

- ・災害時にも適切な人員が対応できるよう、職員の連絡先を集め、適切な場所に保管し、緊急時の連絡体制を確立し、職員との円滑な連絡を確保。
- ・職員の連絡先情報は定期的に更新し、最新の情報を反映。
- ・災害時や緊急事態の際には保護者への情報提供が不可欠であるため、連絡方法や情報提供の内容を明確にし、円滑なコミュニケーションを図る。

##### ③ 『施設・設備の安全確保』 及び 『代替施設の確保』

- ・事業が行われる施設や設備の点検、保守、修繕を定期的に行い、安全性を確保する。
- ・緊急時の避難経路と避難場所を明確にし、スタッフと児童に周知徹底させる。
- ・事業場所が利用できない場合に備え、代替施設を確保する計画を立てます。当法人には**国分寺市内に保育所があるため、市と相談の上、万が一の際にはその施設で支援を継続**します。

##### ④ 『ライフラインの確保』 及び 『通信手段の確立』

- ・必要な物資や**備蓄品（食料、医薬品、応急処置キットなど）**に加えて、感染予防対策として段ボール仕切り版、配布用消毒シートなど、また停電対策として非常電源（ゼネレーター）、防寒防暑用品などを用意します。実際、東日本大震災においても役に立ちましたので、今後も必需品であると考えます。
- ・メール配信による連絡システム「らくらく連絡網」の導入。災害時に施設に電話しても繋がらない場合でも速やかにメールで子どもの安否を保護者にお知らせすることができます。
- ・**施設と保護者との連絡手段として当法人独自のネット掲示板を使用。**震度5以上の地震等の災害時におけるお預かりしている子ども及び職員の安否確認ツールとしてネット掲示板を備え、電話やらくらく連絡網が機能しない場合でも児童の安全を知らせることができました。**実際、東日本大震災時において電話・メールが繋がらない状況でもネットは繋がったので、今後も効果的であると考えます。**
- ・すべての通信インフラ(電話、メール、ネット等)が機能しないような状況の場合には、移動場所を玄関先等のわかり易い場所に掲示するといった、最終的にはアナログな方法が効果的であり、保護者にも周知しご理解頂いております



## ⑤ 『職員の人員確保』

- ・職員の代替案やバックアップ体制を検討し、児童の安全確保や事業の運営をスムーズに行えるようにする。当法人では、**電車で1時間圏内の系列施設に1,000名を超える職員がいるため、緊急時にも対応が可能です。**

## ⑥ 『緊急時の対応策と訓練』 及び 『業務継続計画の定期的な見直し』

- ・災害や事故に対する緊急時の対応策を策定し、職員に対して定期的な訓練を行う。
- ・応急手当や救急処置、避難の方法などの緊急対応策を徹底する。
- ・状況やリスクは変化する可能性があるため、業務継続計画を定期的に見直し、必要に応じて改善・更新を行う。

以上の業務継続計画を作成し、**定期的な訓練や練習を通じてスタッフに周知徹底させることで、事業の継続性と児童の安全を確保できるようにしています。**



## 法人所有の園バスを防災・支援のライフラインに活用

当法人本社から西町学童保育所まで**車で5分程**に位置しており、万が一大規模な災害が発生した際にも、迅速かつ確かな初動対応が可能です。また、**当法人が所有する園バスを活用**することで、人員や必要な物資、備蓄品などを大量かつ迅速に搬送する体制を整えております。



**約5分で移動可能！**



## 3つの準備

当法人では緊急対応体制として3つの準備が「もしも」の際に必要と考え備えてまいります。

### ① 備蓄品

学校内にある備蓄品を基本的には活用しますが、アレルギーと特殊な配慮が必要な児童に対する備蓄品については施設で用意します。

### ② 通信

災害時には、電話・メール等が不通になります。その中でも保護者等と連絡が取れる様々な手段・方法を確保します。

### ③ 医療

当法人には200名近い看護婦が勤務しています。災害時には地域の要請に応じて看護婦を派遣する体制を整えています。

備蓄品

通信

医療



## ■火災発生時における対応

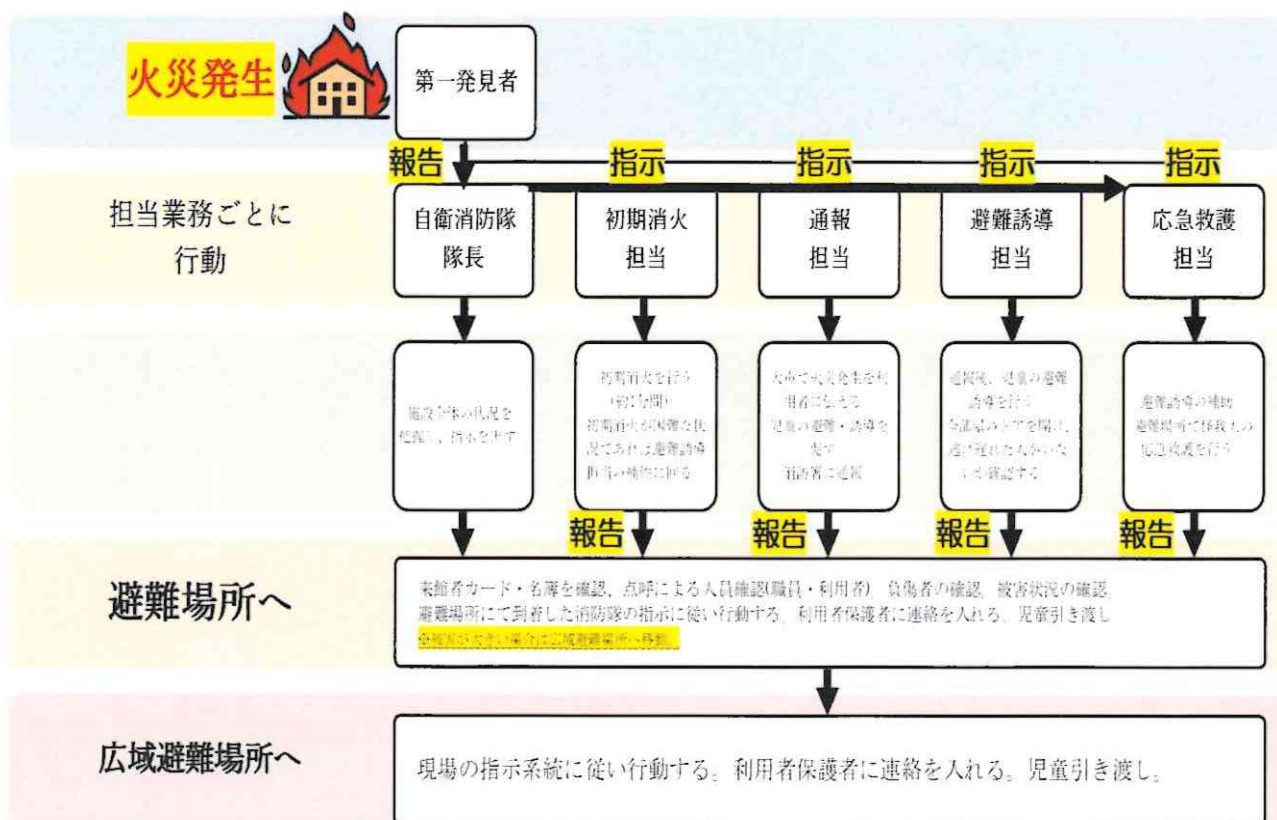
火災発生時は、対応マニュアルに従い、事前に決められた各担当職員がそれぞれ迅速に消火・避難・通報にあたります。緊急時にも落ち着いて対応できるように日頃からの訓練を実践的に実施していきます。

下記は火災対応フローチャートになります。

## 災害時 《火災》 対応フローチャート

作成：株式会社こどもの森

1. 安全確保・生命維持最優先
2. あわてず冷静に判断 適切な対応を行う
3. 正確に状況を聞き取り、迅速な連絡を行う



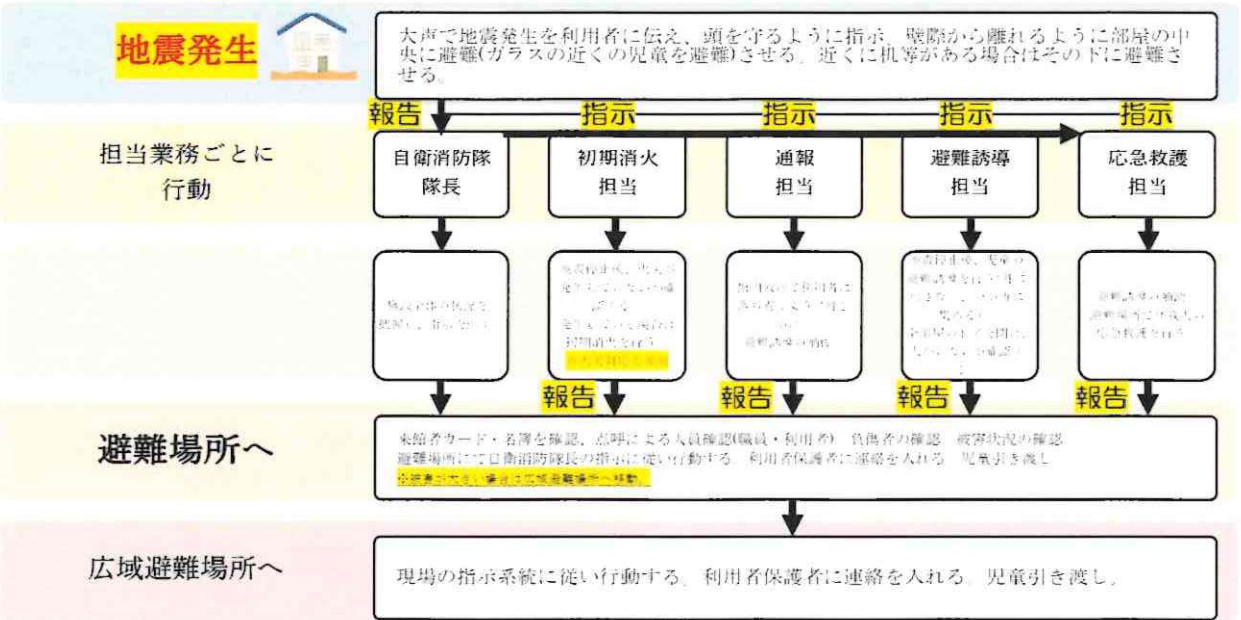
## ■地震発生時・風水害時における対応

地震への対応については、それぞれ震度ごとの対応を定めてマニュアル化し、それに従い、児童の身の安全を最優先に落ち着いて行動します。風水害への対応は、避難勧告が出るなど切迫した危険性がある場合を除いて原則施設に留まります。詳細は、下記のフローチャートをご確認ください。

# 災害時 《地震》 対応フローチャート

作成：株式会社こどもの森

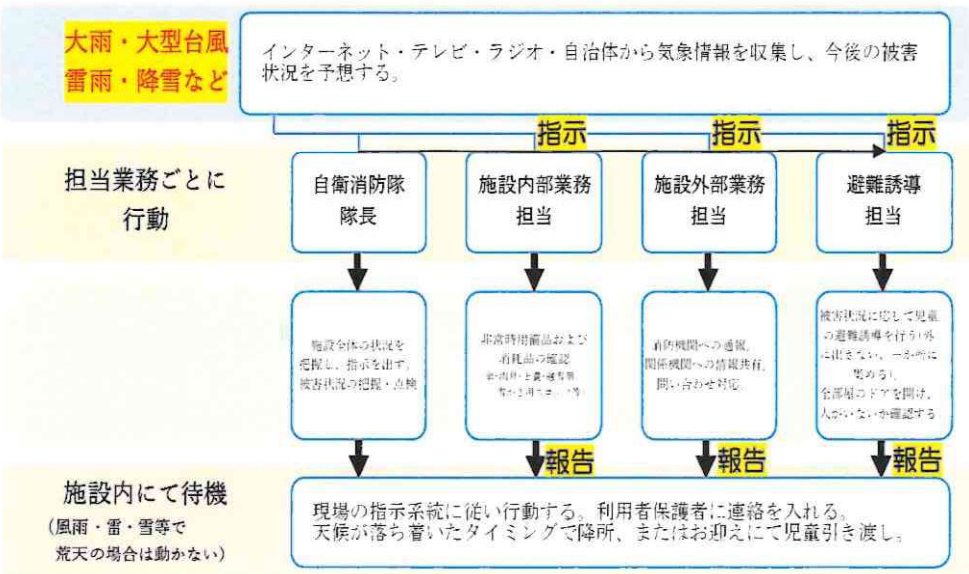
1. 安全確保・生命維持最優先
2. あわてず冷静に判断 適切な対処を行う
3. 正確に状況を聞き取り、迅速な連絡を行う



# 災害時 《風水害》 対応フローチャート

作成：株式会社こどもの森

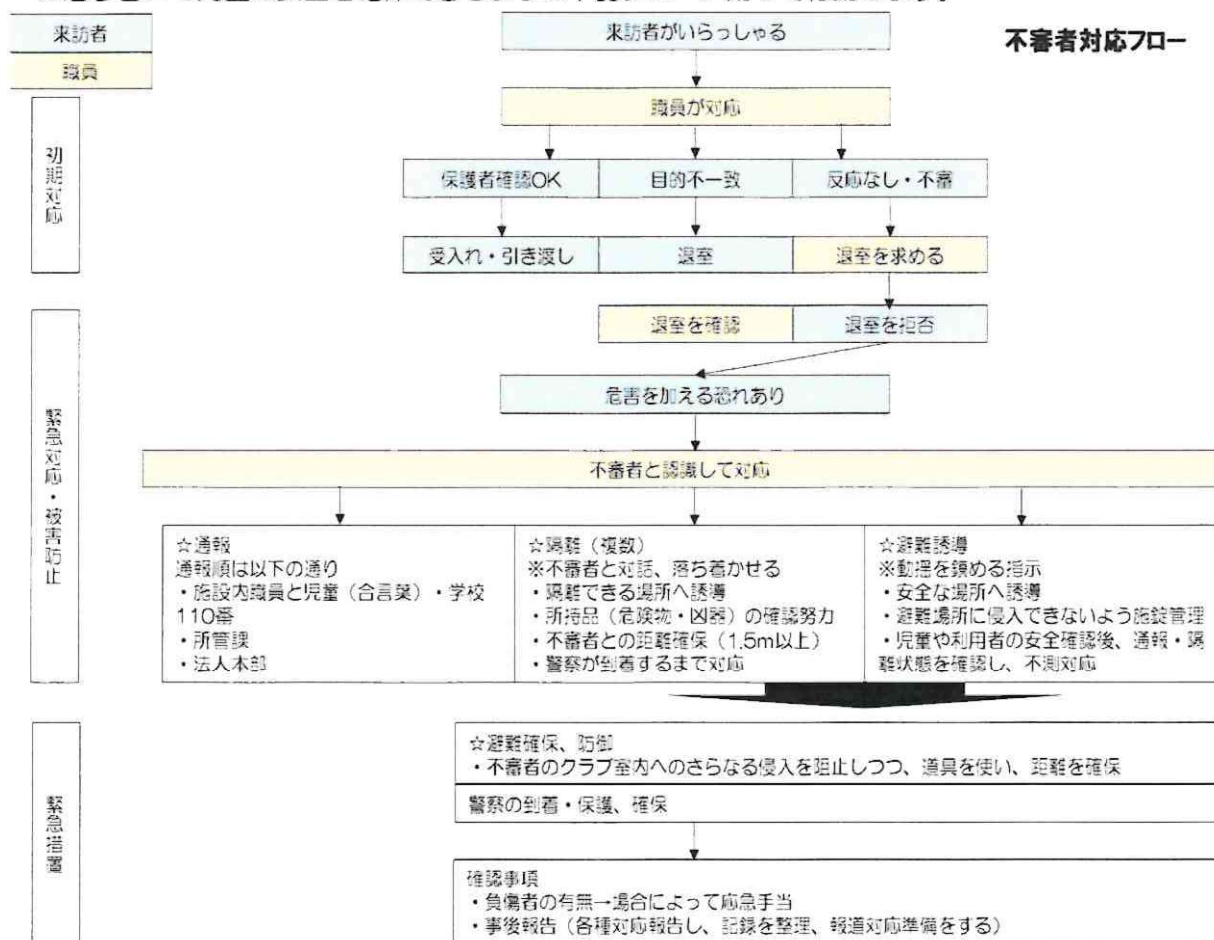
1. 安全確保・生命維持最優先
2. あわてず冷静に判断 適切な対処を行う
3. 正確に状況を聞き取り、迅速な連絡を行う





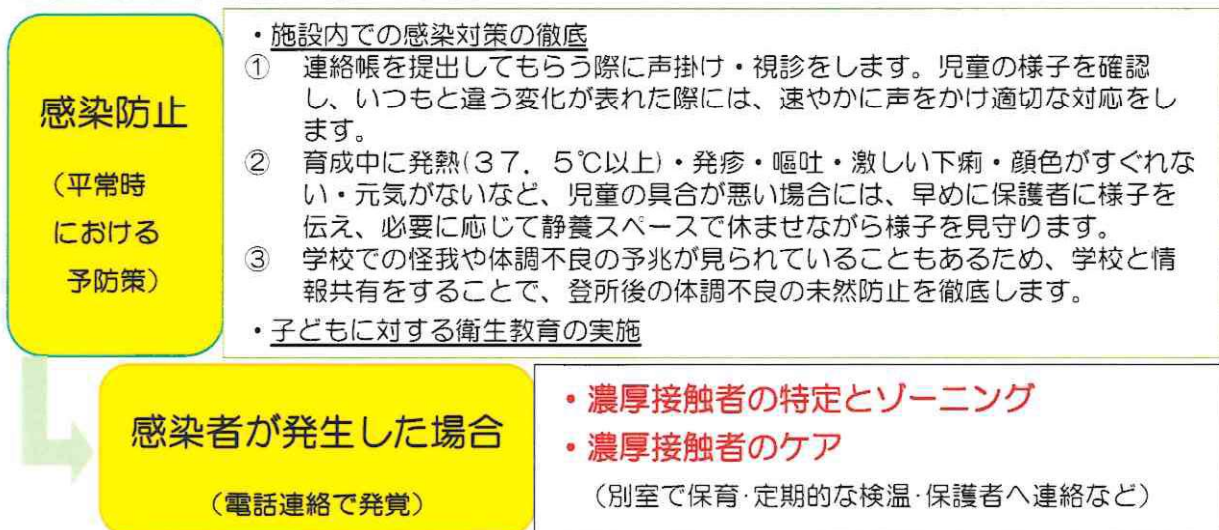
## ■不審者出没時における対応

子どもたちを不審者から守るには、職員と地域や警察等関係機関との連携が必要です。いざというときに落ち着いて児童の安全を確保できるように下記フローに則って行動します。



## ■感染症流行時における対応

ウイルス感染を予防し、万が一感染者が出た場合においても、職員・利用者から感染を拡大させないように新しい生活様式を実践してまいります。



## (21) 学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組みについて

### ■学校や地域との連携

子どもたちの切れ目のない支援を行っていくためには、学校との連携は欠かせません。また、障害児の利用している放課後等デイサービス、療育施設などとも幅広く交流・連携を図っております。

#### 小学校および特別支援学校等との連携

子どもたちのトラブルは学校での出来事と関係していることが多いため、第八小学校と学童保育所の職員間の共通認識と相互理解が重要となります。12月開設の施設で西町学童保育所と一体運営を行い、校長先生・副校長先生や担任の先生と情報共有し、相互協力訂正を築いていきます。

#### 【具体的な取組み】

##### ① 既にコミュニケーションが取れている第八小学校の先生と更に強固な連携を構築します

今までの西町学童保育所の運営の中で第八小学校の校長先生・副校長先生と、しっかりとコミュニケーションを取れる関係は既に築けています。各担任の先生方とも顔が見える関係を構築できていますので今後も子どもたちの情報の共有に努めていきます。

##### ② 小学校の毎月の行事予定の確認

年度初めに年間計画を学校からいただくだけでなく、毎月の行事予定の確認を行っています。新年度の生活時程表及び年間行事計画を確認し、さらに毎月の行事予定の新しく学童保育所に入所する1年生の下校・登所の安全確認も含めて、改めて下校時刻の確認等、情報共有を図ります。

##### ③ 気になる児童、特に配慮が必要な児童に対する情報共有、対応策の検討・調整

日頃から個々の子どもの様子や指導内容に関して情報共有及び情報交換を行います。その中で行動特性が気になる児童はもちろん、急な他害行為や気になる言動、いじめの兆候などに気づいた場合は、すぐに学校と情報を共有し、深刻な事態に至らないよう対応策を検討し、共通認識を持って対応にあたります。

- ・一人ひとりの成長過程に応じた個別活動においても、各自の個性を尊重し、違いを感じながら独自の力が発揮できるよう援助していきます。
- ・育成支援の必要度は、子どもの習熟度によって異なるため、地域ボランティア等の協力を得ながら、一人ひとりの個性・特性に寄り添った対応を心がけます。
- ・夏休み明けは、可能な範囲で子どもたちの成長や問題行動などを共有する機会を作ります。



学習支援ボランティア  
による個別支援活動



#### ④ 台風・大雪・インフルエンザ等による休校・学年/学級閉鎖・授業時間変更への対応

台風・大雪・インフルエンザ等による休校・学級閉鎖・授業時間の変更などがあった場合には情報をいち早く収集します。特に日頃から気象情報や感染症情報などの情報も収集し、急な変更に対応できるよう、学校とも密に連携して職員を配置します。

#### ⑤ 小学校の公開授業や運動会への参加

学校公開や運動会など**主要な学校行事には積極的に参加**し、普段児童館や学童保育所ではあまり見ることのできない子どもたちの様子を見ることで今後の指導に活かすとともに、**先生方との関係性の強化**を図ります。



#### ⑥ 送迎バススタッフとの顔合わせ

学校施設でのミニコンサートに参加

障害児のほとんどが送迎バスで登所するため、バスの時刻表を確認して**西町学童保育所は学校から離れたクレヨン公園まで**迎えに行きます。その際に運転手さんや送迎スタッフさんからバスの時刻表を受け取るだけでなく、児童の様子を聞いたり困った時の対応方法について情報共有することで、スムーズな送迎と良好な人間関係を構築します。

#### ⑦ 高学年障害児における成長過程に応じた個別配慮

6年生まで利用できる障害児は、身体面での成長が著しく、肥満になりやすい傾向があったり、思春期に入ることによって性別による配慮が必要になったりと様々な配慮が求められます。支援にあたる職員は、児童の成長をしっかりと理解したうえで支援するために、学校や保護者との連携を密にとり、個別配慮を心がけます。

### 放課後等デイサービスや療育施設

障害児の多くは放課後等デイサービスを利用しており、学童まで送迎スタッフの方が来ることも多いため、送迎時に顔あわせを行い、必要に応じて情報共有の機会を設けます。年に数回、療育の進捗状況を確認したり、情報交換を行うための支援者会議も実施していきます。

### 放課後子どもプランへの参加

第八小学校で行われている放課後子どもプランに参加しています。12月開所の第二第三西町学童保育所は**学校敷地外の学童保**ですが、校庭開放やプラン室への利用は**今まで通り**、職員が引率して**遊びの場（校庭解放）に参加**します。また職員は、プラン委員と協力して参加児童の見守りにも協力しています。また、**放課後こどもプランのプラン室の利用も継続**して実施し、職員が参加希望の子どもたちを引率して行き、プラン室の職員とも情報共有を図って利用しています。

## ■保護者との関わり方における具体的な取組み

学童保育所では、子どもたち一人ひとりの生活の様子を観察しながら心身の健康状態を把握し、日々の様子を保護者に伝えています。具体的には、定期的に子どもの活動の中での遊びや友達関係、生活の様子と日々の成長や発達課題に対してお伝えし、保護者からは家庭や学校での生活の状況などを伺う機会を設けます。当法人では保護者や学校からの多面的な情報収集と協力で、切れ目のない質の高いサポートを実現するために、下記の具体的な取組みを実施しております。



## 入所時における取組み

### ① 施設見学

- ・希望があれば、入所前に施設見学を行います。
- ・職員が、施設内を案内しながら施設の特徴や保育の流れについて説明します。
- ・利用に不安を抱えているご家庭には、お子様と一緒に来てもらうことで、申請前に施設に慣れてもらい安心して利用できるよう配慮します。

### ② 児童票の確認

- ・病歴、アレルギー、家庭環境等これまでの生育歴を詳しく記入して頂き、職員全員で情報を共有します。
- ・児童票では汲み取れない情報に関しては、個別に面談を実施し、情報の把握に努めます。

### ③ 個人面談

- ・児童票からは汲み取れない情報（特に保育園・幼稚園での様子、重篤なアレルギーを持つ児童の対応、障害がある児童への配慮事項など）や、保護者の子育て観・ご要望をヒアリングします。
- ・保護者からの疑問には出来る限りその場で回答し、保護者の不安解消に努めます。



### ④ 入所時説明会

- ・一日の流れや年間行事予定、年間活動方針などを説明します。
- ・子どもは家と学童保育所の行き帰りを子どものみで登所・降所するようになるため、利用前に練習しておいて欲しいことや、緊急時の対応・連絡体制についてしっかりと説明していきます。



## 日常におけるコミュニケーション

### ① 日々の来室・帰宅状況の確認

入退館システムを使用して、出欠予定を共有します。予定の時間に来室しない場合や、帰宅時間の認識にずれが生じた場合は、必ず保護者に連絡を取り、共通認識のもとで対応にあたります。

### ② 送迎時のコミュニケーション

直接お迎えに来る保護者には、一日の様子を細かく伝え、保護者にも安心して利用してもらえよう積極的にコミュニケーションを図っています。現在運営している西町学童保育所の保護者の方からは「子どもの様子を伝えてくれるので、相談がしやすくなって嬉しい」というお声もいただいております。

### ③ おたより

- ・毎月1回おたよりを発行し、子どもたちの活動状況や予定、連絡事項等を家庭に発信します。
- ・行事の予定や日々の様子、成長が見られるエピソード、子育て家庭に役に立つ情報を提供しております。

### ④ 定期面談の実施

夏休み明け～10月頃に個人面談を実施し、長期休業中の成長の様子や2学期に入ってからの変化などを共有します。また、保護者の要望に応じて随時面談を行い、特に配慮が必要な児童や障害のある児童については定期的に面談を設けるなど、見通しを持って支援にあたります。

### ⑤ 保護者会の開催

- ・学童保育所の活動を保護者に伝えて理解をして頂く機会として、また保護者の要望を伺う機会として、年2回保護者会を開催します。
- ・学童保育所職員の紹介や、普段の活動の様子を動画で流したり、今後の活動の予定をお伝えしております。
- ・保護者会終了後に、父母会で交流する時間を設けるなど、参加して頂いた保護者同士の交流を深める機会にもなるようにしています。



## 子育て相談の実施

気軽に相談できる場所としてお迎え時等に子育ての悩み相談を受け付けています。

必要に応じて連絡帳での回答や、個人面談を設定します。相談はその場で処理して終了ではなく、報告会を実施し、より良い提案ができないかを検討することで今後のアドバイスに役立てます。また、プライバシーを配慮した上で専門機関に相談し、アドバイスを受けたり、関係機関につなげていくこともあります。

### 保護者から寄せられた相談事例

- ・子どもの友人関係について（けんか後の対応について・友人の少なさへの心配 など）
- ・子育て観や躾について
- ・子どもの発達の悩み
- ・宿題への取り組み状況について
- ・生活リズムや生活習慣に関わる事
- ・不審者情報や感染症等について
- ・塾や習い事について
- ・障害児の生活スキルの習熟度や進路について
- ・いじめや不登校について
- ・家庭や家族関係に関わる事
- ・健康に関する不安 など

## いじめに関する相談対応と予防策について

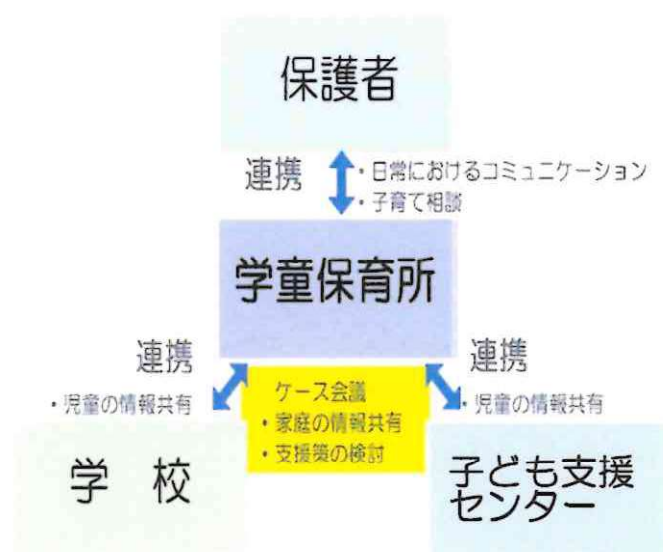
子育て相談において、いじめを心配する保護者の相談件数が増えています。いじめの兆候が見られた場合は、学童保育所全体で解決すべき問題として全職員共通認識のもとで対応にあたります。具体的には、いじめはケンカとは全く別のものであることを子どもたちにしっかりと認識してもらうために、加害児童の主張をしっかりと聴き取り、受容しつつも、毅然とした態度で接します。

また、学校での人間関係をそのまま学童保育所でも引きずるケースが多いため、学校の担任の先生や家庭とも情報交換しながら連携して対応にあたります。

## 虐待や家庭の問題の早期発見・対応について

子育てに悩んでいる保護者の相談の中には、ネグレクトや心理的虐待、教育虐待につながる可能性があるものも寄せられます。

職員は保護者の状況をできるだけしっかりと把握したうえで、必要に応じて学校や子ども家庭支センターと情報共有を図るなど、迅速に連携していくことで、問題の早期発見・早期解決を図ります。



## ■地域コミュニティの拠点となる施設とするための取組み

子どもや高齢者など、生活エリアがせまく居住地生活の比重が高い地域住民にとって、居場所となりうるコミュニティ拠点は非常に重要であると考えております。国分寺市の目標である「持続可能なまちづくり」をめざすにあたり、しんまち児童館を中心に様々な施設・団体と連携しながら地域の活性化及び多世代交流に取り組んでまいります。また、市内に保育園を運営しており、地域のコミュニティの構築への役割を担っております。

また、当法人は地元企業であることから複数の市内事業者と契約しており、市内事業者への支払いは5年間で4億円、国分寺市への納税額も多く、財政面においても地域及び国分寺市の活性化に取り組んでおります。

当法人代表が  
**国分寺  
市民**

市内だけで  
**15施設**  
以上運営

国分寺市民  
約**100名**  
雇用

市内事業者に  
**4億円**  
以上支払い  
※5年間で

法人本部  
**国分寺  
市内**

「国分寺市総合ビジョン」の実行計画に記載されているまちづくりの基本理念に則り、指定管理者として、様々な社会資源に施設を利用いただき、地域の活性化に取り組んでまいります。具体的な取組みは以下の通りです。



### 西町学童保育所の地域との連携における取組み

既に西町学童保育所ではさまざまな地域の方と連携した取組みを実施しています。今後も**一体運営を行うことでさらなる連携**への取組みが実施できます。

#### ① 地域資源を生かした交流活動



#### ② 地域協力による伝統行事体験

**年末のしめ縄飾り作りを西町学童保育所では恒例行事**として実施しています。学童職員が地域の講師の方からしめ縄の作り方を教わり、薫もいただいています。地域で活動している高齢者団体の西町百寿会の方も一緒にしめ縄教室に参加され、当日の講師も務めてくださっています。

#### ③ あやとり名人のあやとり教室

国分寺市内の児童館を回ってあやとりを教えてくれる服部名人が、**西町学童保育所にも月1回来て**くれています。できるあやとりが増えると認定証をもらえるので子どもたちも楽しく参加しています。時にはあやとりだけでなくコマや折り紙も教えてくれる名人は学童でも人気者です。

#### ④ 吹矢体験

第八小学校の**登下校の見守りもしている地域の方がスポーツ吹き矢を教えてくださいます**。夏休みの児童館保育の期間中にいつもは挨拶だけの地域の方から吹き矢を教わり、ちょっと特別な気分になっている子どもたちと教えてくれる吹き矢の皆さんの笑顔が素敵なイベントです。



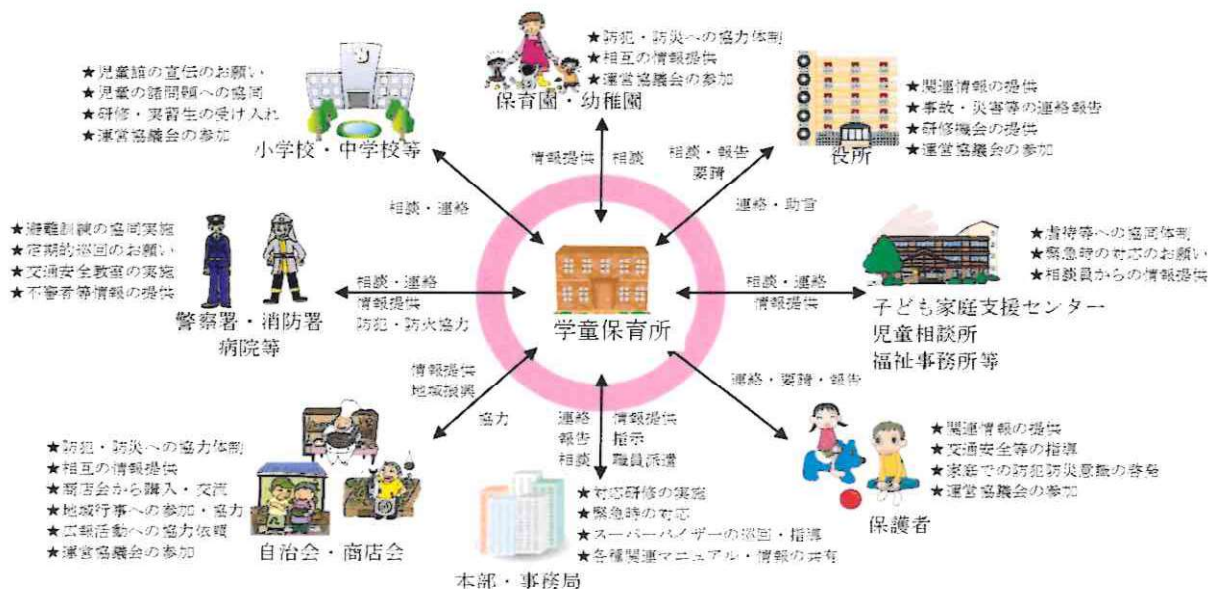
## ボランティア活動の受け入れについて

地域には、様々な特技を持った方や特色ある活動を行っている団体が複数活動しており、その豊富な経験を活かしたボランティア活動を展開してもらっております。しかしながら昨今は児童福祉施設における子どもの性被害防止の観点より、**ボランティアの受け入れには施設責任者が相互理解のためのオリエンテーション・振り返りを実施し、リスクマネジメントの観点から私的交流の禁止や来年度から施行予定の子ども性暴力防止法に則り小児性愛のスクリーニングなどができる管理体制を構築しております。**

また、プログラムに関しても、あくまでも利用者（子どもたち）にとって魅力的な内容となるようボランティアと調整し、構成していきます。

## 地域交流における取組み

子どもたちを犯罪や事故から守り、社会全体で子育てを支えるためには、地域の方々と協力して、地域力を育てていく必要と考えています。こどもたちが仲良くなれば親同士の交流も始まり、**積極的に自治会・商店と連携し、地域行事（地元のお祭りやイベント）に参加**すれば地域で世代間の交流のきっかけも出来ます。地域の子育てや遊びに関する情報が集まる貴市の児童福祉施設として、**こどもから高齢者までの世代間交流と地域の絆を育むきっかけを作りだす施設になることを目指します。**下記チャートには主な学校・地域との連携・交流、市の関係機関との連携の全体像を表します。

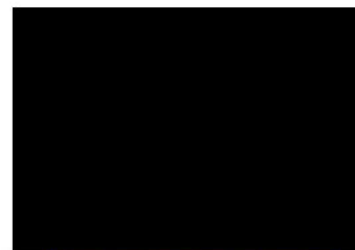


## ■各関係機関との連携

指定管理事業者であるという自覚をもち、国分寺市が主催する会議へ出席し情報共有を図るとともに、必要に応じて適宜報告・連絡・相談を密に行います。連絡体制につきましては、日頃から電話連絡や直接伺うことで密にコミュニケーションを図り、運営に反映致します。

### 消防署

近隣の戸倉出張所職員とは避難訓練等で連携を図ります。また、年1回以上は模擬消火器等を使用した消火訓練、AEDを使用した救命救急訓練を実施します。



消防署のイベントに参加

### 警察署

小金井警察署とは防犯訓練等で連携を図ります。また、近隣での不審者発生時には、状況に応じて巡回警備を依頼し、定期的に施設近辺の巡回をお願いします。



AED 訓練

### 民生児童委員・主任児童委員

地域の民生児童委員さんとは定期的にお会いする機会を作り、情報交換をすることで地域の子育て支援に貢献します。

### 子ども家庭センター

子ども家庭センターとも必要に応じて情報を共有します。

具体的な取組みは以下の通りです。

- ・ 支援を受けている家庭や養育不安を抱える保護者がいる場合には、児童館・学童での情報を共有し、現場からも支援を行います。
- ・ 複数の支援団体に関わるような困難な案件では、必要に応じてケース会議に出席するなど、協力して対応策を検討します。

### 病院・近隣のクリニック

運営中の怪我や体調不良の際に対応してもらえる近隣の病院・診療所の連絡先や行き方、加えてタクシーを使用する場合を想定してタクシー会社の連絡先を調べておきます。学童児のかかりつけ医などは、利用する頻度も多いため、年に一度はあいさつに伺うなどして良い関係性を継続してきます。

### 放課後子どもプラン および その他の関係団体

第八小学校の放課後子どもプラン（放課後子ども教室）のスタッフさんとは、日々の運営で協力体制を組み定期的な情報共有を行います。

また、子どもたちの通う学習塾やスポーツ団体ともできる限り連絡しあえる体制を構築することで、**降所後における責任分岐点のグレーゾーンを最大限小さくするなど、積極的に児童の安全を確保します。**

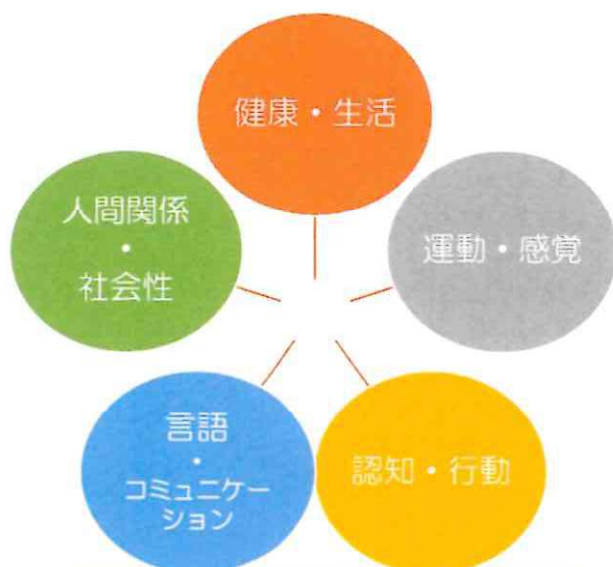


## (22) 配慮を要する児童への対応について

\*配慮を要する児童（障害のある児童等）への対応方針及び体制（職員配置，研修体制等）が適当であるかなど

### ■障害児保育における対応方針

当法人は障害児保育における専門家として、**児童発達支援施設を23施設、放課後デイサービスを1施設運営、多くの発達支援専門職員が在籍**しております。障害を持ったお子さんが、本当に「生き活きと生活」できるよう「一人ひとりが大切に」され、「豊かな発達を保障する」ための環境を整えることが大切と考え、健常児と同じように受け入れをするとともに、**感覚統合の促進など「専門知識」に基づいた障害児対応**を心がけます。



### 障害児支援における5領域

**豊富な受け入れ実績**  
**250**名以上の障害のあるお子様を学童保育所にてお預かりした経験があり、高学年障害児の対応や、保護者との良好な関係作りにおいても豊富な経験による具体的なノウハウがあります。



## 保育内容への配慮

### ① 子どもの障害の特性を深くつかむと同時に、その子の考え方や習慣もしっかりと理解する

表出している障害特性はもちろん、潜在的な部分についても面接・生育史・家庭訪問等で、全体的に深くつかむことが第一歩です。

これまでの障害児の受け入れ実績、施設で培ったノウハウを最大限に活かし、今後も入所が可能と判断された障害児一人一人に合ったサポートを行っていきます。

#### 具体的なサポート事例

- ・生活カードを使ったソーシャルスキルトレーニング
- ・運動遊具を使った活動
- ・偏食や排せつに関する指導
- ・危険を予測した事前の声かけ
- ・問題行動の代わりとなる行動やコミュニケーションを教える
- ・目標を達成可能なスモールステップにするための3分の1目標の設定 など

### ② 感覚統合が促進されるような遊びや活動を取り入れる

障害児は感覚統合（日常生活で感じる様々な刺激や感覚情報をうまく処理し、統合する能力のこと）がうまくいっていないため、感覚情報を効果的に処理することができず、騒がしい場所で集中力が低下してしまったり、光や音に対して過敏に反応してしまいます。そのため、ボールの投げ合いっこやトランポリン、ブランコ遊びなど体を動かす遊びや、積み木を積み上げる、簡単なパズルを組み立てるなど、感覚統合を促進するような遊びを活動に取り入れております。

同じ遊びを満足するまで繰り返しながら、楽しく感覚統合を高める。

### ③ 日常の子どもの様子をよく観察し、その子の好きな活動を見つける

一人一人の意欲や興味を引き出しながら、活動内容を決定します。担当職員の支援のもとで継続して活動が続けることで、達成感や自己肯定感を育てていくことが大切です。

### ④ 信頼関係の出来上がった職員を仲立ちとし、他職員との信頼関係を構築していく

特定の職員が常に担当したほうがより良い放課後生活を送れますが、担当職員不在時や、その子の自立を進めるためにも、できるだけ複数の職員で支援していくことも大切です。

好きな遊びの様子を複数の職員で情報共有

### ⑤ まわりの子どもたちに連帯感・助け合いの精神が育つよう、障害の特性を理解してもらうための活動を展開し、相互の発達の促進を図る

帰りの会などの時間に教材等を用いて、障害の種類や特性、子どもたちにもできる具体的な配慮について分かりやすく説明します。

職員は、子どもたちが“障害の有無に関わらず、皆に平等の権利があり、共に生活する仲間である”という意識を持てるよう働きかけます。



## 基本的視点

- ① 子どもが**安心できる居場所**を作り、一人ひとりの状況や特性に合った取組みを行う。
- ② 子どもの将来展望に立ち、**一人ひとりに見合った自立を促す援助**を心がける。
- ③ まわりの子どもたちとの関わりを通して、様々な活動意欲が育まれるよう支援する。
- ④ 遊びや活動の中で小さな成功体験を積み重ねることで、達成感やまわりの子どもたちとの一体感を感じられるよう支援し、**活動を通じて自己肯定感が育まれるよう支援**する。
- ⑤ こだわりが強く、他の児童とうまく関われないときは、職員と一緒に遊びに参加するなどして、**子ども同士がうまく関われるよう誘導役を務める**。
- ⑥ **支援児の個性を理解してもらえよう、職員が周囲の子どもたちに働きかける**。子ども同士でもサポートし合える関係作りを目指す。

## 具体策

- ・バリアフリー化(エレベーターの設置・スロープの設置・誰でもトイレの設置)
- ・加配職員の配置 ・個人別日誌の作成 ・バス停までの送迎
- ・児童館の基本方針を掲示 ・ハンドサインのリスト作成
- ・理解しやすい表現で活動内容を掲示(ソーシャルスキルの可視化)
- ・障害への基本的理解を深めるための障害児研修の実施

## 障害児保育に関する研修

継続的に障害に関する理解と知識を深めていくため、内・外部で障害児研修を実施し知識・技能・意識の向上を図ります。さらに療育センターで10年以上専門職として勤務していた職員を複数名直接雇用しており、その障害児保育における豊富な知識や経験を活かして、施設の巡回及び職員への指導を行っております。



障害児支援専門職員  
による指導

## 内部研修

- ・法人主催による関連研修の実施、講師の招聘など
- ・実際に障害児保育に関わる職員によるOJTや施設内での情報交換研修
- ・個別ケース事例検討会の実施

## 外部研修

- ・自治体主催の研修への参加
- ・障害児保育で有名な保育園への見学の実施や療育センター等  
外部機関主催による関連研修への参加

法人主催の  
障害児保育研修

## 障害児研修についての考え方

研修後はレポートの作成・報告会の実施により、情報を共有化し、知識の定着を図ります。その後、現場での実践を重ね、記録した情報をもとに改善を図ることで、支援方法の改善・向上に役立てます。

例：意思疎通が難しい子には、視覚的にわかりやすい生活カードなどを作成する。

わかりやすい言葉で伝える。その他、施設使用面で困難なことがあれば介助する。

国籍、文化、宗教の違いなどで遊びが阻害されることがないように配慮するなど。

## ダイバーシティ教育～多様性を認め合う関係作り～

障害のある子ども、様々な宗教信仰の子ども外国籍の子ども、個性のひとつととらえて、社会の中で一緒に共生していくことを子どもたちに教えます。コミュニティの中に「多様性を認め合うこと」を浸透させていきます。

当法人は「多様性を認め合うこと」を児童の意識に浸透させるため、「外国の子を通して世界を知るプログラム」や「障害への理解を深める活動」等を実施しております。

- ・当法人の既存施設には様々な障害を持った子どもや外国籍の子どもも多く在籍しており、個々に応じた豊富な対応実績があります。
- ・弊社の系列施設では外国語を母国語とする職員や外国語が得意な職員を複数直接雇用しているため、掲示物の表記の工夫や、多言語対応も可能です。
- ・信仰上の理由で行事に参加できない子どもがいるため、名称や内容を工夫することでみんなが参加できる行事の企画運営を行います。
- ・宗教上の食文化の違いに考慮しておやつを持ち込みに変更するなどの対応も行っております。

## ■アレルギーへの対応方針

アレルギー対応は、学童保育所の運営において重要な要素の一つととらえております。当法人は100施設を超える認可保育園を運営しており、そこに在籍している200人近い栄養士による栄養士会を組織しております。その栄養士会が以下の対策を立て、執り行っております。

基本アレルギー対策としては、①栄養士による事前チェック、②保護者にメニューの段階でチェック、③複数の職員による提供時のチェックのトリプルのチェック体制で対策しています。まず入所時面接にてアレルギー調査票と面談でアレルゲンと症状の程度、注意点を把握し、メニューの段階で保護者に確認をして頂くと共に、リスト化して施設内で管理します。子どもの命に関わることなので、誤食がないように、施設的全職員が情報を共有し対応できるようにします。

その他、医師の指示書に基づいて最大限個別に対応します。

### 保管時

- ・**大きな目印**をつけたり、**かごを分ける**など、誤食を予防すべく保管方法も工夫する。

### 提供時

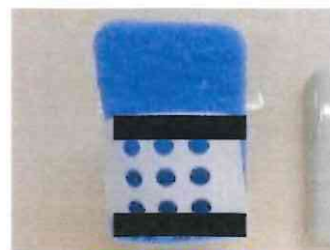
- ・食事の座席や食器、トレイなど、**個人専用のものを用意し、視覚的に誰からも違いがわかるように配慮**する。
- ・皿の色分け・食べる場所を分けるなど、**視覚で判断できる**ようにしています。



個別のトレイ皿・食具



- ・おかわりは誤食を防ぐため個別に対応し、必ず目視で確認をしてから提供します。
- ・手作りおやつの際は、除去対応しなくてもよいレシピを採用したり、見た目を他の子どものおやつと異ならないようにする等の配慮をします。



専用のスポンジ

## 献立作成時における配慮について

- ① 大切な成長期に毎日取り入れる栄養源として、安心してバランスの良いメニューを提供します。
- ② アレルギー除去食を希望する方にも対応し、おやつの提供、クッキング等の取り組み等を通して、みんなで楽しみながら自立した生活習慣を獲得できるよう支援します。
- ③ 同じようなメニューに偏らないよう、味や食感のバランスを考えて組み合わせます。
- ④ おやつは補食の意味合いもあるため、おにぎりや蒸しパンといった腹持ちの良い物も用意します。
- ⑤ 糖分・油分の過剰摂取を避けるため、麩菓子・芋けんぴ・茎わかめ・するめなど自然素材そのものを使用した素朴なお菓子も多く取り入れます。
- ⑥ 系列施設において子どもたちが食べたいおやつを投票するリクエストおやつを導入しております。  
※おやつの提供は、栄養士や看護師とも連携し提供します。手作りおやつのアドバイスや衛生指導を実施し、食の安全につなげます。

## おやつ購入時・保管時における配慮について

- ① アレルギー表示や賞味期限をしっかりと確認し、購入後のトラブルを未然に防ぎます。
- ② 食育の一環として、子どもと一緒に作るおやつクッキングや、食に関する絵本の読み聞かせなど、食育のイベントも企画しています。
- ③ ネットスーパーやおやつの配送業者等を活用し、店舗で購入、選別、運搬等にかかる時間を削減し、手作りおやつの企画立案や食育イベントに使用する制作物作成の時間に活用します。
- ④ コンビニエンスストアのホットスナックを事前に予約し、出来立てを届けてもらいます。
- ⑤ 購入日で保管するケースを分ける。購入日をケースに貼っておきます。
- ⑥ 開封したおやつはおかわりで提供するか、開封済みケースに入れ、数日中に使い切ります。

## 提供時の工夫と配慮について



- ① アレルギーのある児童を受け入れる際は、注意事項を全職員で把握できるようにします。除去食材があるアレルギーにも対応します。
- ② アレルギー対応で除去食提供が必要な場合は、医師の診断書や指示書をご提出いただきます。
- ③ 提供の前に、必ず複数名の職員で、賞味（消費）期限のチェック、アレルギー児に提供するおやつのチェックをチェックリストを使用して行い、おやつを提供します。
- ④ 手作りおやつの際は、除去食材に関わらない作業を設定し、友達と楽しめる環境が保てるよう配慮します。
- ⑤ 児童に好き嫌いとおアレルギー・宗教上の除去食は異なることを伝え、相互に理解できるよう促します。
- ⑥ 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、食物アレルギー事故防止の徹底を図ります。

## 食中毒防止対策

食中毒を引き起こす原因となる細菌は温度や湿度などの条件によって増殖するため、保管方法に注意するとともに、外部から持ち込まれる細菌・ウイルスによる食中毒予防のため、下記取り組みを実施します。

### 【児童への生活技術指導】

・児童が日々の生活の中で衛生管理技術を身につけられるよう、正しい手洗いの仕方を手洗い場に提示しておく、ハンカチの携帯を促すなど日常的に指導していきます。

設備 の管理	<p>○社援施設第65号のもと「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づく管理。</p> <p>○衛生マニュアルに基づいた使用・管理＝塩化ベンザルコニウム・熱湯による殺菌消毒や害虫駆除。</p> <p>○食器等は環境ホルモンの疑いのあるポリカーボネード製品の排除。</p>	
食品・食材 の管理	<p>○購入したおやつを職員2名以上で検品。賞味期限の確認。</p> <p>○おやつ準備時にも賞味期限の確認の確認。</p> <p>○生鮮食品は常温で放置せず、必ず冷蔵庫で保管。</p> <p>○開封したおやつは、賞味期限に関わらずおかわり等で使い切る。</p> <p>○食材は、当日仕入れる。系列保育園と同じ衛生管理の指針を順守。</p> <p>○品質管理・下処理・調理方法・調理場所・廃棄場所について、マニュアルの遵守。</p> <p>○良質な食材の厳選。遺伝子組み替え食品の排除。減農薬・無農薬野菜の積極的使用。地場産の野菜の極力使用。輸入果物の使用禁止。</p>	
食中毒予防 管理	<p>○社援施設97号に基づき0-157・サルモネラ菌等の知識と管理の徹底。食中毒シーズン前の一斉点検実施。</p> <p>○食肉の非加熱をさけた中心温度計導入。</p> <p>○調理後1時間以内の提供。</p> <p>○非加熱提供可能リストの作成。</p> <p>○使用水の点検。</p>	
職員の 衛生・意識	 <p>衛生管理チェックシート</p>	 <p>総合衛生検査結果</p>



## エピペン（アナフィラキシー補助治療剤）の取り扱いについて

万が一、アレルギーのある児童に、激しい急性のアレルギー反応（アナフィラキシー）が見られた場合のために、当法人ではエピペントレーニング終了者が多数在籍しています。現在西町学童保育所ではエピペン所持児童が登録しています。その為、職員は該当児童の登録時にエピペンの所持の有無を確認し、適切に対応することができます。新しく入社した職員には、DVDによるエピペン使用方法の説明、緊急時にも落ち着いて対応できるようエピペントレーナーを使用した模擬訓練を開催するなど、職員を講師として施設内勉強会を実施しております。



エピペン

### ※東京消防庁消防総監「救命技能認定証」の取得

全園で救命講習を受講させるなど、安全を守る意識を常に高くもたせています。

西町プラザ・にしまち児童館  
認証された福祉評価専門機関による第三者評価にて  
「子どもへの対応」評価 **S** 達成

第三者評価を  
受審した全施設にて  
当該項目の評価  
**S** 達成  
(Sが最上級評価となります)

児童利用サービスの向上	S	3.5	S	3.9	【法令や仕様書を満たしていない点】
1. 接遇対応	S	3.7	S	4.0	なし
2. 子どもへの対応	S	3.7	S	4.0	
3. 子どもへの安全安心	S	3.7	S	3.7	
4. 利用者の声の把握・感情対応	S	3.7	S	3.7	
5. 情報共有	S	3.7	S	4.0	

【中項目の解説】  
プラザは、複合施設のため乳幼児から高齢者まで幅広い年代の利用者がいますが、それぞれに親しみと礼節をもった言葉遣いや振舞いで対応しています。聴覚障がいをお持ちの団体さんの定期的な利用にはご不便がないよう適切に対応しています。児童館・学童ともに子ども達の性格や様子をよく把握し、声かけをしています。児童館では、工作が自由にできるように空き箱や牛乳パックを常に用意したり、子ども達から要望の多いカードゲーム、卓球大会やおばけ屋敷等の事業を実施したりと、子ども達の自発的な遊びの要望を十分反映させています。また成人した元利用者がボランティアとして参加し子ども達の遊びを支援しています。

※4点満点

## ■児童虐待について

児童館では、保護者や子どもの日常の視診や活動中のしぐさや言動から虐待が発見できる重要な場です。児童虐待は、子どもの心身の発達及び人格の形成に重大な影響を与えるため、子どもの変化・兆候を見逃さず、子どもの人権を守ると同時に、職員が「様々な状況における子どもの育てづらさ」をしっかりと理解し、何でも話せる良好な関係づくりを心掛け、保護者の子育てを支援していきます。

### 虐待の防止と早期発見

虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、関係機関と協力して子どもの生命の危険、心身障害の発生防止を図るため、下記発見ポイントの一例に挙げた子どもの心身の状態や家族の態度に十分に注意して観察や情報の収集に努めます。

#### 子ども

- ・ 発育障害や栄養障害
- ・ 不自然な傷・皮下出血・骨折・火傷などの所見
- ・ 怯えた表情・暗い表情
- ・ 極端に落ち着かない等
- ・ 言葉の遅れなど発達の遅れ
- ・ 拒食・過食など食事上の問題
- ・ 着衣の乱れや食事を与えない等のネグレクト
- ・ 自分より弱い子どもや小動物をいじめる

## 保護者

- ・子どもへの対応が冷たい
- ・家族のこと、子どもの状態の説明がよくできない
- ・必要な健康診断や予防接種を受けていない
- ・子どもの発達に問題があったり、病気になったりしても認めない
- ・保護者自身の精神疾患やDVなどの悩み・社会的ルールが守れない。連絡が取れない

## 関係機関との連携

子ども家庭センター並びに小平児童相談所、民生児童委員等関係機関と連携をはかり、解決に至るまでの継続的な支援に協力します（通告・調査協力・情報の提供・相談など）。

虐待の再発防止のため、措置解除後も注意深く観察します。日本は保護者のいない児童や被虐待児など、家庭的養護を必要とするこどものための社会的養育の認知が進んでいないと言われていきます。私たちは子どもに関わる職業人として、虐待の予防と被虐待児のための支援にも積極的に取り組んでいきます。

## 虐待等要保護児童への対応について

当法人は30年以上の運営の中で、虐待の可能性のある児童の対応については**100件以上の事例を経験**しており、児童相談所とのやり取りや、保護者の方との関係作りにおいても豊富な実績があり、様々な事例に合わせた適切な対応が取れております。



# 2

## 収支計算書

## 収支計算書

指定管理期間	令和8年12月1日～令和11年3月31日
指定管理費 収入総合計額（円）	116,940,000
指定管理費 支出総合計額（円）	116,940,000

指定管理費 市提示の上限額（円）	117,550,000
------------------	-------------

令和 8年 12月 1日 から 令和 9年 3月 31日まで

（単位：円）

科 目	金 額	小 計	合 計
1. 収入の部			
指定管理費	17,490,000	17,490,000	
利用料収入(利用料金制の場合)			
収入計			17,490,000
2. 支出の部			
人件費		12,740,000	
給与	11,340,000		
法定福利費	1,300,000		
福利厚生費	100,000		
事務費（需用費）		3,250,000	
消耗品費	240,000		
食料費	570,000		
通信運搬費	120,000		
採用・研修費	2,000,000		
光熱水費	320,000		
管理費		1,170,000	
保守管理費等	210,000		
保険料	40,000		
一般管理費	400,000		
租税公課	470,000		
雑費	50,000		
維持修繕費	10,000	10,000	
備品購入費	320,000	320,000	
支出計			17,490,000

- ・科目は、必要に応じて適宜追加・削除してください。
- ・一般管理費、租税公課は別に算定根拠を示してください。



## 収支計算書

指定管理期間	令和8年12月1日～令和11年3月31日
指定管理費 収入総合計額（円）	116,940,000
指定管理費 支出総合計額（円）	116,940,000

指定管理費 市提示の上限額（円）	117,550,000
------------------	-------------

令和 9年 4月 1日 から 令和 10年 3月 31日まで

（単位：円）

科 目	金 額	小 計	合 計
1. 収入の部			
指定管理費	48,670,000	48,670,000	
利用料収入(利用料金制の場合)			
収入計			48,670,000
2. 支出の部			
人件費		39,830,000	
給与	35,650,000		
法定福利費	4,080,000		
福利厚生費	100,000		
事務費（需用費）		5,100,000	
消耗品費	760,000		
食料費	1,770,000		
通信運搬費	380,000		
採用・研修費	1,200,000		
光熱水費	990,000		
管理費		3,520,000	
保守管理費等	520,000		
保険料	40,000		
一般管理費	1,400,000		
租税公課	1,400,000		
雑費	160,000		
維持修繕費	10,000	10,000	
備品購入費	210,000	210,000	
支出計			48,670,000

- ・科目は、必要に応じて適宜追加・削除してください。
- ・一般管理費、租税公課は別に算定根拠を示してください。

## 収支計算書

指定管理期間	令和8年12月1日～令和11年3月31日
指定管理費 収入総合計額（円）	116,940,000
指定管理費 支出総合計額（円）	116,940,000

指定管理費 市提示の上限額（円）	117,550,000
------------------	-------------

令和 10年 4月 1日 から 令和 11年 3月 31日まで

（単位：円）

科 目	金 額	小 計	合 計
1. 収入の部			
指定管理費	50,780,000	50,780,000	
利用料収入(利用料金制の場合)			
収入計			50,780,000
2. 支出の部			
人件費		41,640,000	
給与	37,270,000		
法定福利費	4,270,000		
福利厚生費	100,000		
事務費（需用費）		5,270,000	
消耗品費	800,000		
食料費	1,860,000		
通信運搬費	390,000		
採用・研修費	1,200,000		
光熱水費	1,020,000		
管理費		3,640,000	
保守管理費等	540,000		
保険料	40,000		
一般管理費	1,500,000		
租税公課	1,400,000		
雑費	160,000		
維持修繕費	10,000	10,000	
備品購入費	220,000	220,000	
支出計			50,780,000

- ・科目は、必要に応じて適宜追加・削除してください。
- ・一般管理費、租税公課は別に算定根拠を示してください。



## 【一般管理費（本社経費），租税公課の算定根拠】

○租税公課の内訳：法人事業税及び法人税、法人都民税、法人市民税

算定方法

法人税 500,000円 税引前収支差額割合

法人事業税、都民税、市民税 900,000円 従業員割合

○一般管理費の内訳：事務費、委託費、通信費、賃料、水光熱費等

算定方法

	売上		一般経費率		
令和8年度		×		÷	500,000
令和9年度		×		÷	1,400,000
令和10年度		×		÷	1,500,000

## 年間人件費資料

### 常 勤

第二・第三西町学童保育所  
運営管理責任者 (2人)

¥9,640,000

常勤職員 (2人)

¥7,690,000

### 非常勤

非常勤職員 (5～10人)

¥18,320,000

### 社会保険料

¥4,080,000



# 2

## 自主事業収支計算書

## 自主事業収支計算書

自主事業につきましては、全て無料とします。

(一部、工作等の事業で特別な材料が必要なものについては実費徴収)



# 2

## 人員配置計画書

## 人 員 配 置 計 画 書

	従事職務	人数 (A)	(A)の人数内訳				(A)のうち 国分寺市民 の人数※1	(A)のう ち障害者の 人数	(A)のう ち高齢者の 人数	現在雇用状況(令和7年12月1日現在)			
			常勤	非常勤	臨時雇い	その他 (派遣等)				総人数 (B)	(B)のうち 地域雇用 の人数	(B)のう ち障害者 の人数	(B)のう ち高齢者 の人数
1	統括責任者 (学童保育所職員も兼ねる)	1	1										
2	防火管理者 (学童保育所職員も兼ねる)	1	1										
3	第二西町学童職員	9~14	2	5~10			7~13	※2	※2				
4	第三西町学童職員		2										
5	障害児対応職員												
6													
	合計	9~14	4	5~10			7~13			36 ※3	20 ※3	0	2

### 凡例

1. 「従事職務」は、窓口対応、設備管理、警備など主に従事する職務を記載してください。区分しないときは「その他」としてください。
2. 障害者とは、身体障害者手帳、精神障害者手帳、愛の手帳（または他県の同様のもの）所持者を言います。
3. 高齢者とは、65歳以上の者を言います。
4. 再委託先で雇用される者は除いてください。
5. 現在雇用状況は、管理している類似する施設の現況を記入してください。

ただし、現指定管理者は、当該施設の現況を記入してください。

- ※1 今回の施設は駅からもある程度の距離を伴う立地であることから、原則国分寺市民の採用が望ましいと考えております。  
また、当法人自身、本社を市内に置き、複数の施設を設置運営しているため、そこからの異動や市民住民の採用に長けており、7割以上が国分寺市民になるように努めます。
- ※2 構成するうえで法令上の観点からも配置が望ましいと考えますが、小学生を中心とした児童も多く、今までの運営実績から体力的なものも必要とされるため、その個人の状況によって雇用や職種を決定します。実際に当法人では65歳以上の児童館職員や保育士など、多岐にわたりその人材労力を活用しております。
- ※3 法人本部を含めた管理している類似する施設の運営に関わる人数を記載しています。当該施設のみでは総人数26名、地域雇用の人数11名です。